目次

計器盤まわり

J00100101568

1

リヤウインドウデフォッガー(曇り取り)スイッチP. 6-17
ヒーター付ドアミラーP. 7-5
吹き出し口P. 9-2
助手席SRSエアバッグ
P. 5-18, 5-19
カップホルダー
P. 8-7
助手席アッパーボックス
P. 8-6
ヒューズボックス
P. 13-28
オゾンセーフマニュアル
エアコンP. 9-4
グローブボックス
P. 8-6
電源ソケット
P. 8-3
カップホルダー
P. 8-7
シフトレバー(マニュアル車)
P. 7-11
セレクトレバー(オートマチック車)
P. 7-12
トランスファーシフトレバー
P. 7-19
パーキングブレーキP. 7-2
・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。
AAF004215

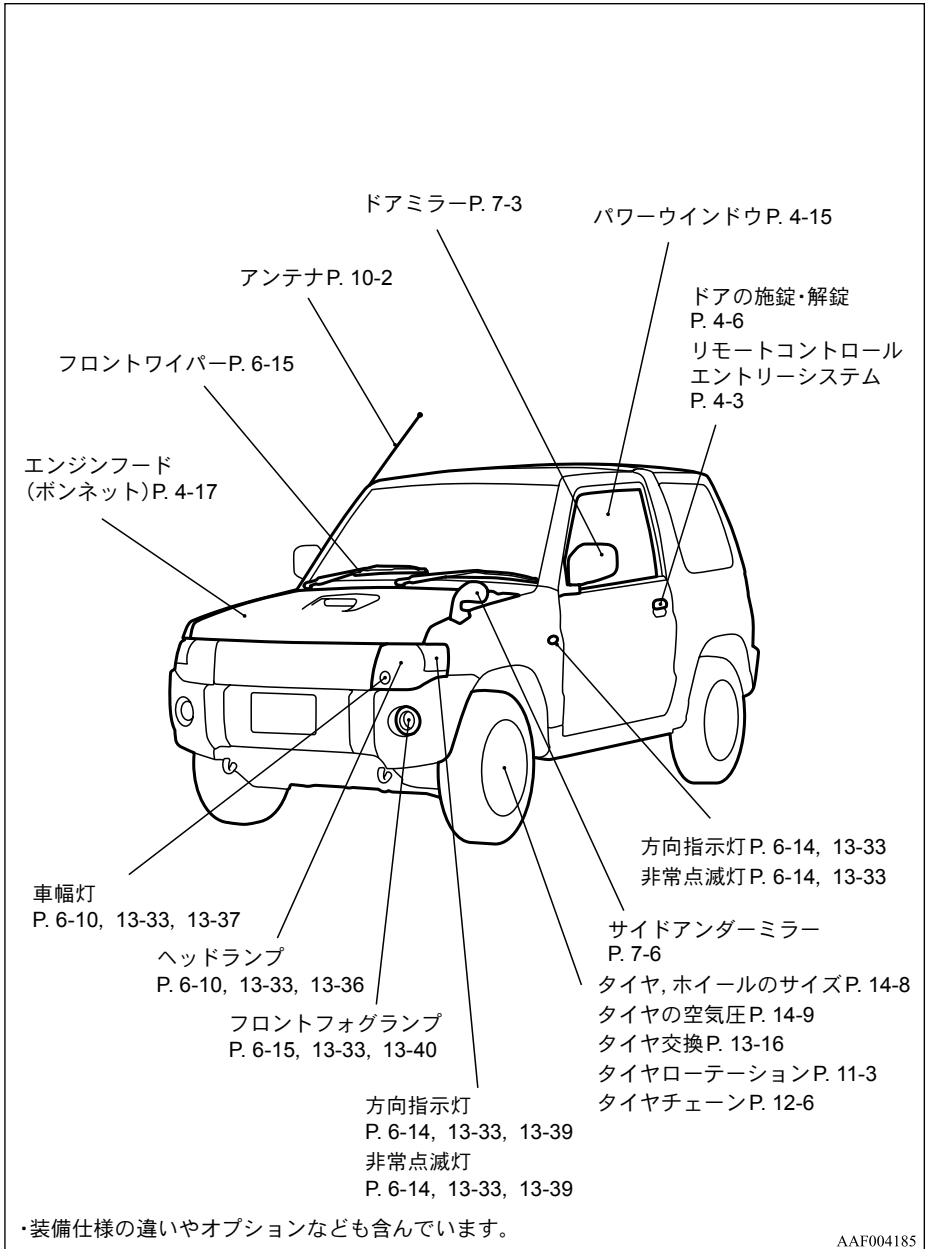
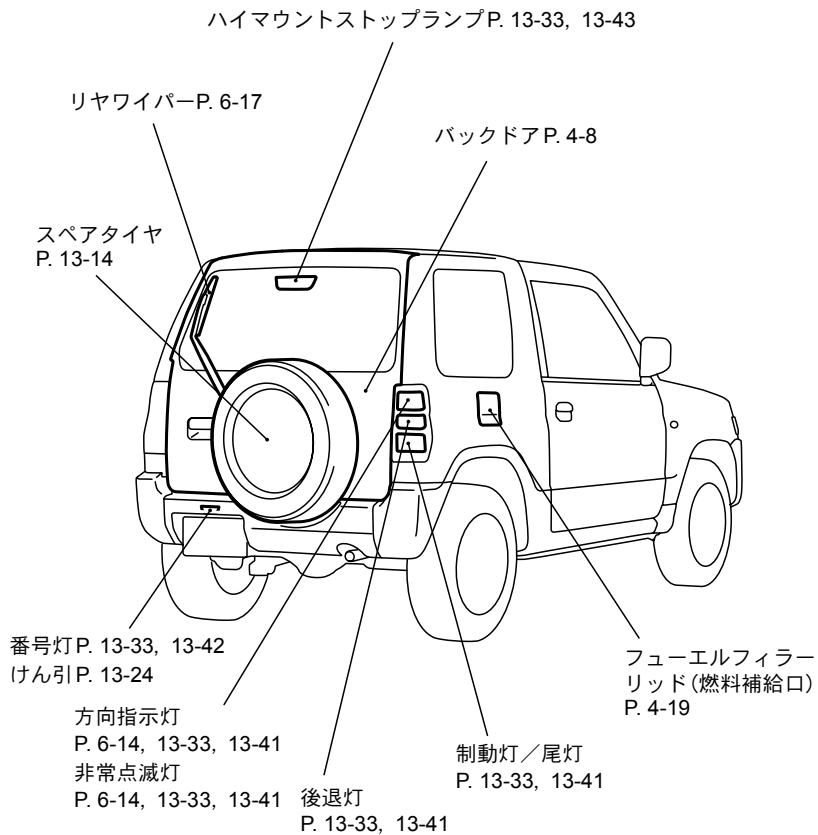
室内

J00100300970

・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

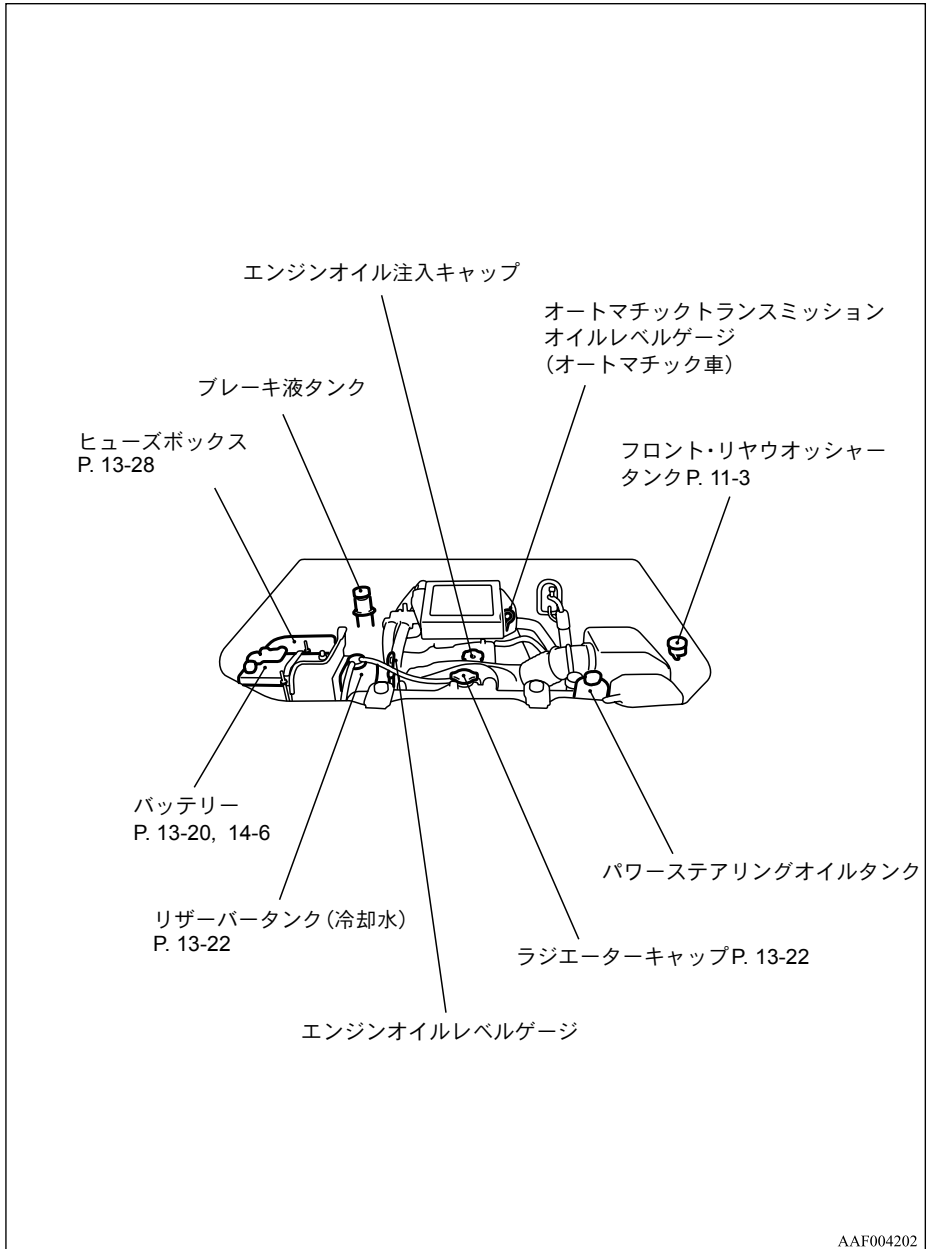
AAF004172

外まわり

J00100401196

・装備仕様の違いやオプションなども含んでいます。

AAF004228

エンジンルーム

J00100501315

安全なドライブのために

お車のご使用前に知っておいていただきたいこと，守っていただきたい「警告」「注意」をまとめて記載しています。
重要ですので，しっかりお読みください。

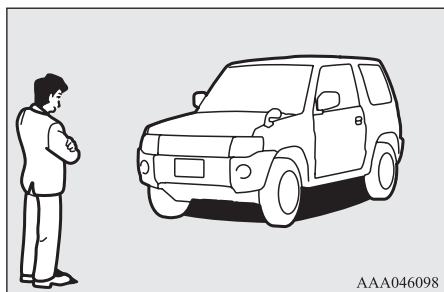
日常点検

J00200100618

点検，整備を忘れずに

● 日常点検整備と定期点検整備は，お客様の責任において実施していただくことが法律で義務付けられています。
事故や故障を未然に防ぐため必ず実施してください。

● 日常点検整備は，長距離を走行するときや，洗車，給油時などにお客様自身で行う点検整備です。

● 日常点検整備の項目および点検のしかたについては，別冊の「メンテナンスノート」に記載してありますので必ずお読みください。

エンジンルームを点検するときは

● エンジン回転中はエンジンルームに手を入れないでください。
手や衣服がドライブベルトなどに巻き込まれるおそれがあります。

● エンジンルーム内の部品には高温になるものがあります。
やけどをするおそれがありますので，各部が十分冷えてから点検してください。

● 排気ガスなどが定められた基準に合うように調整されていますので，アイドリング回転数などのエンジン調整は日産販売会社で行ってください。

ラジエーターやリザーバータンク（冷却水）が熱いときは

● ラジエーターやリザーバータンク（冷却水）が熱いときは，ラジエーターキャップを外さないでください。
蒸気や熱湯が吹き出しやけどをするおそれがあります。

燃料は指定されたものを補給

J00202000565

- 必ず無鉛ガソリンを補給してください。
- 軽油や有鉛ガソリン，粗悪ガソリン，高濃度アルコール混合燃料，日産純正部品以外のガソリン添加剤（含む，水分除去剤）を使用しないでください。
  エンジンや燃料装置などに悪影響をおよぼしたり，排気ガス浄化装置や燃料噴射装置が損傷するおそれがあります。
  →「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

日産販売会社で点検を受けてください

J00202100045

- つぎの場合は車が故障しているおそれがあります。
  そのままにしておくと走行に悪影響をおよぼしたり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  日産販売会社で点検を受けてください。
  - いつもと違う音や臭いや振動がするとき
  - ブレーキ液が不足しているとき
  - 地面に油の漏れたあとが残っているとき

2

出発前は

J00200200954

シートベルトは必ず着用

● 運転する前に必ずシートベルトを着用してください。
→「シートベルト」P. 5-9

● 同乗者にもシートベルトを着用させてください。

AAA003372

燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まない

● 燃料の入った容器やスプレー缶類を車の中に持ち込まないでください。
容器が破裂したり，蒸発ガスに引火し爆発するおそれがあります。

AAA003385

窓越しにエンジンをかけない

● 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。

● 正しい運転姿勢で運転席に座り，エンジンをかける習慣をつけましょう。

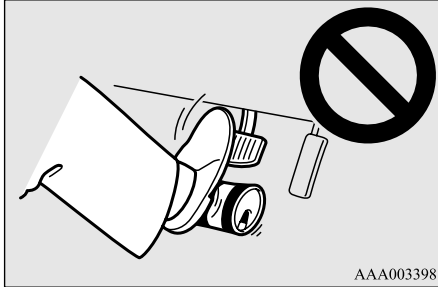
● マニュアル車は，シフトレバーをⓃに入れ，クラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。
オートマチック車は，セレクトレバーがⓅの位置にあることを確認します。
いずれの場合も思わぬ事故を避けるため，ブレーキペダルを右足でしっかり踏んでエンジンをかける習慣をつけてください。
→「エンジンのかけ方」P. 7-8

● マニュアル車はクラッチ・スタートシステムが装着されています。

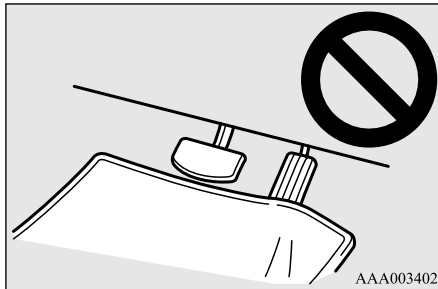
クラッチ・スタートシステムとは…

● 誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

運転席の足元付近を点検

- ブレーキペダルの下に物がころがり込むと，ブレーキ操作ができなくなるおそれがあります。
  出発前に運転席の足元付近を点検してください。

AAA003398

- お客さまのお車専用のフロアカーペットを，床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。
  フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど，重大な傷害につながるおそれがあります。
  →「フロアカーペット」P. 8-10

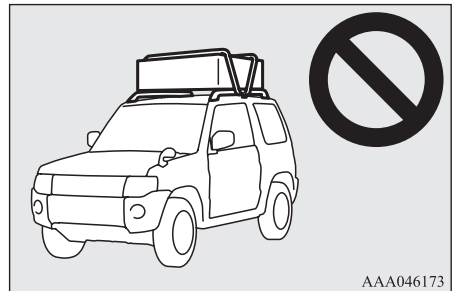
AAA003402

荷物を積むときは

- 荷物はできるだけ低くし，シートの高さ以上に積まないでください。
  後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたとき，荷物が前方に飛び出してケガをするなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また，コーナリングのとき，車の揺れが大きくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 重い荷物は，できるだけ前の方に積んでください。
  後ろの方が重くなるとハンドルが不安定になります。
- 荷物は荷くずれしないようにしっかりと固定してください。

ルーフレールに直接荷物を積まない

J00203100013

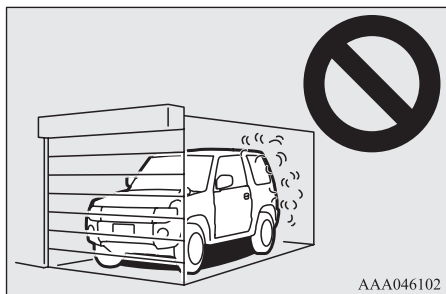
- 荷くずれを起こして思わぬ事故につながるおそれがあります。走行安全上，ルーフレールに直接荷物を積んだり，不用意にロープをかけないでください。
- ルーフに荷物を積むときは，専用のルーフキャリアを使用してください。
  その際は，重心が片寄らないようにバランスよく積んでください。

AAA046173

周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしない

J00203200030

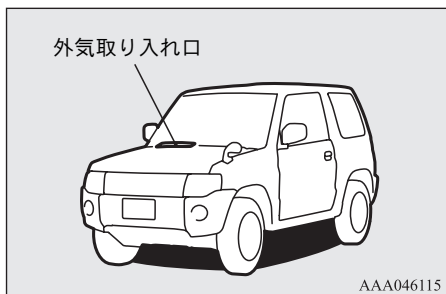
● 周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。
排気ガスが車内や建物内などに充満して，ガス中毒になるおそれがあります。

● やむを得ないときは，換気を十分に行ってください。

AAA046102

フロントガラス前部の雪，落ち葉などは取り除く

J00204700016

● フロントガラス前部の外気取り入れ口に雪，落ち葉などが付いているときは取り除いてください。
そのままにしておくと，車内の換気が十分にできずガラスが曇り，視界が悪くなるおそれがあります。

AAA046115

お子さまを乗せるときは

J00200301037

お子さまはリヤシートに座らせる

● 助手席ではお子さまの動作が気になり運転の妨げになるだけでなく，お子さまが運転装置にふれて，重大な事故につながるおそれがあります。

● やむを得ず助手席にお子さまを乗せるときでも，つぎのことをお守りください。
- 必ずシートベルトを着用する
- シートをできるだけ後方に下げる
- シートに深く腰かけて，背もたれに背中がついた正しい姿勢で座らせる

● お子さまがシートベルトやチャイルドシートを使用せずにインストルメントパネルの前に立っていたり，助手席に正しい姿勢で座っていなかったりすると，SRS エアバッグが膨らむ際，SRSエアバッグにより，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003226

お子さまにもシートベルトを必ず着用させる

● ひざの上にお子さまを抱かないでください。
急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，腕だけでは十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003239

● リヤシートでも必ずシートベルトを着用してください。

2

お子さまにはチャイルドシートを使用する

- シートベルトを着けたとき，肩部のベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまには，体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
  →「チャイルドシート」P. 5-14
  通常のシートベルトでは，衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 6 才未満のお子さまは，チャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
- 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドセーフティシートは絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドセーフティシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて，命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

お子さまの安全のための装備

- お子さまの安全のため，つぎのような装備があります。
  使い方を一度お読みになって，お子さまの安全にお役立てください。

◆ 挟み込み防止機構付パワーウインドウ

- 万一，お子さまが手や首などを挟んだとき，自動的にドアガラスが少し下がります。
  →「挟み込み防止機構」P. 4-17

◆ ロックスイッチ

- ロックスイッチを ON にすると，助手席のパワーウインドウスイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
  →「ロックスイッチ」P. 4-16

ドア，ウインドウ，シートの操作は大人が行う

- 手や顔などを挟まないよう注意して操作してください。
- お子さまが誤って操作しないよう，パワーウインドウにはロックスイッチをお使いください。

窓から手や顔を出させない

● 窓から手や顔を出していると，車外の物などに当たったり，急ブレーキをかけたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA011137

お子さまをシートベルトで遊ばせない

● お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

AGA002982

車から離れるときはキーを抜いてお子さまも一緒に

● お子さまだけを車内に残さないでください。
炎天下での車内は高温となり，熱中症になるおそれがあります。
● キーを差したままにしておくと，お子さまのいたずらにより，パワーウインドウなど電装品の誤った操作，車の発進，火災など，重大な事故につながるおそれがあります。

AAA011225

お子さまを荷室で遊ばせない

● 荷室は人が乗る構造になっておりません。
お子さまを乗せたり，遊ばせたりしないでください。
万一の場合，重大な事故につながるおそれがあります。

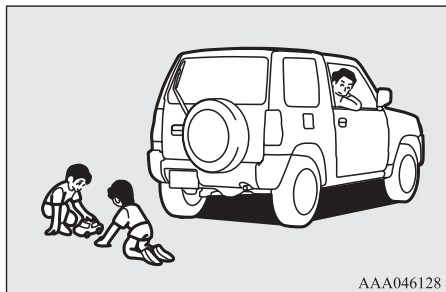
2

走行するときは

J00200400549

発進するときは

- 駐車後や信号待ちなどで停車したあとは，子どもや障害物など，車のまわりの安全を十分確認してから発進してください。
- 車をバックさせるときは目で後方を確認してください。
バックミラーでは確認できない死角があります。

AAA046128

同乗者はシートを倒して寝ころばない

- 走行中，同乗者はシートを倒して寝ころばないでください。
シートを倒して寝ころんでいると，急ブレーキをかけたときや衝突したときなど，身体がシートベルトの下にもぐり込み，重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAA003431

走行中はエンジンを止めない

- 走行中にエンジンを止めると，ブレーキの効きが悪くなったり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

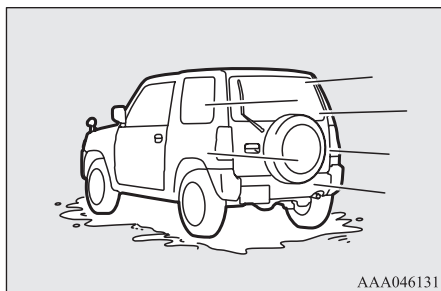
AAA003444

急発進，急加速，急ブレーキ，急ハンドルは避けて

- 急ブレーキや急ハンドルは車両のコントロールができなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
スピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。

雨天時や水たまりを走行するときは

J00202200482

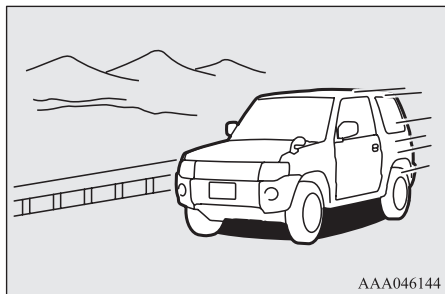
- 雨天時やぬれた道路ではスピードを控えめにし，ハンドルやブレーキ操作を慎重に行い安全運転に心がけてください。
  特に雨の降りはじめは路面が滑りやすいため注意してください。
- 水たまり走行後や洗車後，ブレーキに水がかかると一時的にブレーキの効きが悪くなることがあります。
  ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
- わだちなど水のたまっている場所を高速で走行すると，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。
- タイヤがすり減っていたり，空気圧が適正でないと，スリップしたり，ハイドロプレーニング現象を起こしやすくなります。

AAA046131

ハイドロプレーニング現象とは…

- 水のたまっている道路を高速で走行するとき，あるスピード以上になるとタイヤが路面の水を排除できず，水上を滑走する状態になり，車のコントロールが効かなくなる現象。

下り坂ではエンジンブレーキを併用

J00202300614

- ぬれた道路や凍結した道路での急激なエンジンブレーキは避けてください。
  スリップして重大な事故につながるおそれがあります。
- 長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
  坂の勾配に応じて必ずエンジンブレーキを併用してください。

AAA046144

エンジンブレーキとは…

- 走行中，アクセルペダルから足を離したときにかかるブレーキ力のことで，低速ギヤほどよく効きます。
  オートマチック車はセレクトレバーを❷またはⓁ，マニュアル車はシフトレバーを❸，❷または❶に入れてください。

ベーパロックとは…

- ブレーキ液がブレーキの摩擦熱により過熱されて沸騰することにより気泡が発生し，ブレーキペダルを踏んでも気泡を圧縮するだけでブレーキが効かなくなる現象。

2

フェード現象とは…

● ブレーキパッドまたは，ブレーキライニングの摩擦面が過熱されることにより摩擦力が低下し，ブレーキの効きが悪くなる現象。

ブレーキペダルをフットレストがわりにしない

J00202400019

● ブレーキペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。
ブレーキ部品が早く摩耗したり，ブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。

クラッチペダルに足をのせたまま走行しない

J00202500023

● クラッチペダルに足をのせたまま走行したり，必要以上に長い時間半クラッチ状態を続けないでください。
クラッチが早く摩耗したり，過熱して，思わぬ事故につながるおそれがあります。

スタック（立ち往生）したときは

J00202600011

● スタックしたときは，タイヤを高速で回転させないでください。
タイヤがバースト（破裂）したり，異常過熱により，思わぬ事故につながるおそれがあります。
→「タイヤがスリップして発進できない」P. 13-8

寒冷時にブレーキの効きが悪くなったときは

J00202700139

● 寒冷時や雪道走行ではブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。
ブレーキの効きが悪いときは，前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。

段差などを通過するときは

J00203300060

● 段差などを通過するときは，できるだけゆっくり走行してください。
段差や凹凸のある路面を通過するときの衝撃によりタイヤおよびホイールを損傷するおそれがあります。

走行中に異常に気づいたら

J00200500726

万一，走行中にエンストしたときは

● 走行中にエンストしたときは，運転操作に変化がおきますので，つぎの点に注意して操作してください。
- ブレーキ倍力装置が働かなくなるため，ブレーキの効きが非常に悪くなります。
  通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  ブレーキペダルから足を離し，再び踏み直すと，ブレーキの効きがさらに悪くなります。
- 万一，スピードが落ちないときは，パーキングブレーキを慎重にかけてください。
  このときも，ブレーキペダルは強く踏み続けてください。
- パワーステアリング装置が働かなくなるため，ハンドルが非常に重くなります。

走行中にタイヤがパンクまたはバースト（破裂）したときは

● 走行中にタイヤがパンクまたはバーストすると，車両のコントロールができなくなるおそれがあります。
ハンドルをしっかり持ち，徐々にブレーキをかけてスピードを落としてください。

● つぎのようなときは，パンクやバーストが考えられます。
- ハンドルがとられるとき
- 異常な振動があるとき
- 車両が異常に傾いたとき

警告灯が点灯または点滅したときは

● 警告灯が点灯または点滅したときは，安全な場所に停車し，適切な処置をしてください。
→「警告灯が点灯または点滅したときは！」P. 13-2
点灯または点滅したまま走行すると，思わぬ事故を引き起こしたり，エンジンなどを損傷するおそれがあります。

車体床下に強い衝撃を受けたときは

● 車体床下に強い衝撃を受けたときは，すぐに安全な場所に車を止めて下まわりを点検してください。
ブレーキ液や燃料の漏れ，損傷などがあると，思わぬ事故につながるおそれがあります。
漏れや損傷などが見つかったときは，そのまま使用せず日産販売会社にご連絡ください。

オートマチック車の取り扱い

J00200600381

オートマチック車の特性

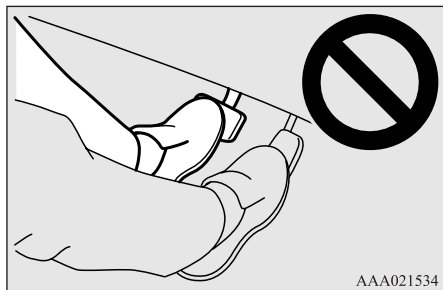
クリープ現象とは…

● セレクトレバーをⓅ, Ⓝ以外に入れると動力がつながった状態となり，アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出すオートマチック車特有の現象。

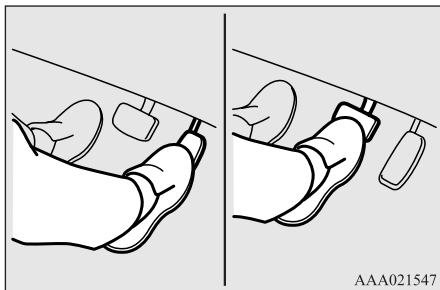
キックダウンとは…

● 走行中にアクセルペダルを深く踏み込むと，自動的に低速ギヤに切り換わり急加速ができます。これをキックダウンといいます。

ブレーキペダルは右足で

● 左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，重大な事故につながるおそれがあります。

エンジンをかける前に

J00201100468

● アクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

● セレクトレバーがⓅの位置にあることを確認してください。

エンジンをかけるときは

J00201200283

- ブレーキペダルを右足で踏んだままエンジンをかけます。
  アクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくいときは，エンジンをかけてから足をブレーキペダルに踏みかえます。
  →「エンジンのかけ方」P. 7-8

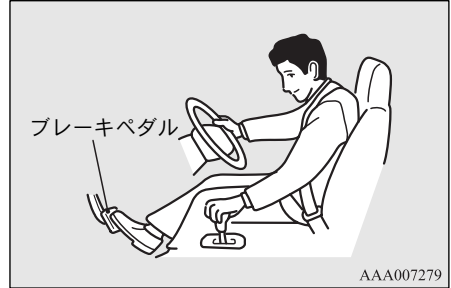
エンジン始動後

J00201300053

- エンジン始動直後は，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

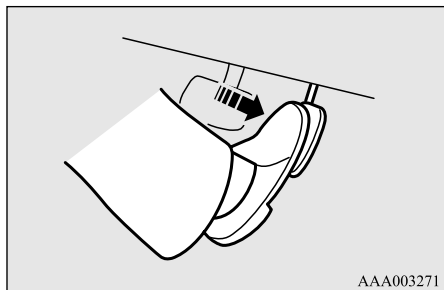
セレクトレバーを操作するときは

J00201400285

- ブレーキペダルを右足で踏んだままセレクトレバーを操作します。

- アクセルペダルを踏み込みながらセレクトレバーを操作しないでください。
  急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。
  また，トランスミッションの故障の原因になります。
- Ⓡに入れるとブザーが鳴ります。
  ブザーは車の外には聞こえませんので注意してください。

発進するときは

J00201500114

- 発進するときは，ブレーキペダルから徐々に足を離し，アクセルペダルをゆっくり踏み込んでください。

AAA003271

走行中は

J00201600450

- 走行中は，セレクトレバーをⓃに入れないでください。

  誤ってⓅ, Ⓡに入れてしまったり，エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故の原因になります。また，トランスミッションの故障の原因になります。
- 高速走行中にセレクトレバーをⓁに入れないでください。
  急激なエンジンブレーキがかかり，思わぬ事故の原因になります。

停車中は

J00201700129

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。
  ブレーキペダルをしっかり踏んでください。
- 停車中は，むやみに空ぶかしをしないでください。

  万一，セレクトレバーがⓅ, Ⓝ以外に入っていた場合，思わぬ急発進の原因になります。

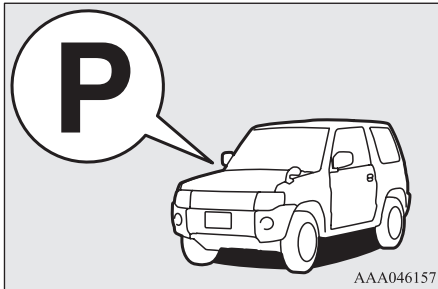
駐車するときは

J00201800452

● 駐車するときは，ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを確実にかけ，セレクトレバーをⓅに入れます。

● 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。
また，トランスミッションの故障の原因になります。

● 車から離れるときは，必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクトレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

AAA046157

その他に気をつけること

J00201900163

● 車を少し移動させるときでも，正しい運転姿勢をとり，ブレーキペダルとアクセルペダルが確実に踏めるようにしてください。

● 少しだけ後退したときなどは，セレクトレバーがⓇに入っていることを忘れてしまうことがあります。
後退した後は，すぐにⓇからⓅまたはⓃに戻す習慣をつけましょう。

● 車を後退させるときは，身体を後ろにひねった姿勢になり，ペダルの操作がしにくくなります。
ブレーキペダルが確実に踏めるように注意してください。

● 切り返しなどでⒹからⓇ，ⓇからⒹと何度もレバーを操作するときは，そのつどブレーキペダルをしっかりと踏み，車を完全に止めてから行ってください。
車が動いているうちにⓅやⓇに入れると，トランスミッションの故障の原因になります。

2

4WD車の取り扱い

J00200800051

「4L」で走行するときは

- オートマチック車は,「4L」では約50km/h を超えないようにしてください。

乾いた舗装道路および高速道路は「2H」で

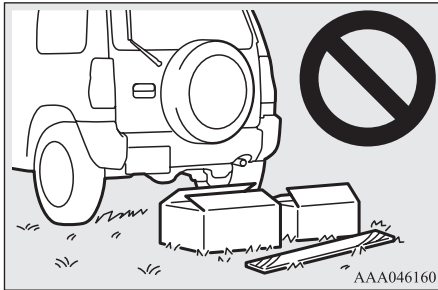
- 乾いた舗装道路は「2H」で走行してください。特に乾いた高速道路は絶対に「4H」または「4L」で走行しないでください。
  乾いた舗装道路を「4H」または「4L」で走行すると燃料の消費量が多くなったり,騒音,タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
  また,駆動系部品に無理がかかり,オイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となるおそれがあります。必ず「2H」で走行してください。

駐停車するときは

J00200700959

燃えやすいものの近くには車を止めない

● 枯草や紙など燃えやすいものの近くには車を止めないでください。
走行後の排気管は高温になっているため，火災になるおそれがあります。

AAA046160

長時間のアイドリングは避ける

● 長く停車するときは，エンジンを止めてください。
燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

車から離れるときは

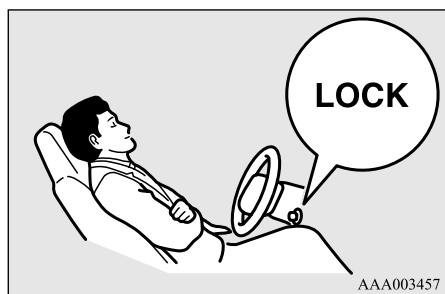
● 車が無人で動き出したり，盗難にあうおそれがありますので，車から離れるときは必ずつぎのことをお守りください。
•パーキングブレーキをかける。
•マニュアル車はシフトレバーを❶または🅡に，オートマチック車はセレクトレバーを🅟に入れる。
•エンジンを止める。
•キーを抜き，ドアを施錠する。
また，施錠していても車内に貴重品を置いたままにしないでください。

車を移動するときは必ずエンジンを始動する

● エンジンがかかっていないと，ブレーキの効きが非常に悪くなり，ハンドルが非常に重くなるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。
坂道で車を移動させるときも，必ずエンジンをかけてください。

仮眠するときは必ずエンジンを止める

● 排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
● 無意識にシフトレバーやセレクトレバーを動かしたり，アクセルペダルの踏み込みにより，不用意な発進など，重大な事故につながるおそれがあります。
● 無意識にアクセルペダルを踏み続けたときに，オーバーヒートを起こしたり，エンジンや排気管などの異常過熱により，火災事故が発生するおそれがあります。

AAA003457

坂道に駐車するときは

● 坂道に駐車するときは，パーキングブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを❶またはⓇ，オートマチック車はセレクトレバーをⓅに入れてください。さらに輪止めをすると効果があります。
輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。
● 急な坂道での駐車は避けてください。
無人で車が動き出すなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

雪が積もった場所や降雪時に駐車するときは必ずエンジンを止める

● エンジンがかかった状態で，車のまわりに雪が積もると排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。

ハンドルをいっぱいにまわした状態を長く続けない

● パワーステアリング装置が損傷するおそれがあります。

こんなことにも注意

J00200900935

運転中に自動車電話や携帯電話を使用しない

- 運転中，運転者が自動車電話や携帯電話を使用すると周囲の状況に対する注意が不十分になり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 運転中，運転者がハンズフリー以外の自動車電話や携帯電話を使用することは法律で禁止されています。

オーディオの操作は停車してから

- 走行中にオーディオまたは，カーナビゲーションなどの操作をしないでください。
  操作に気をとられて思わぬ事故につながるおそれがあります。

喫煙しながらの運転は控える

- 喫煙しながらの運転は控えてください。
  注意がおろそかになり，思わぬ事故を招くことがあります。

車内にライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しない

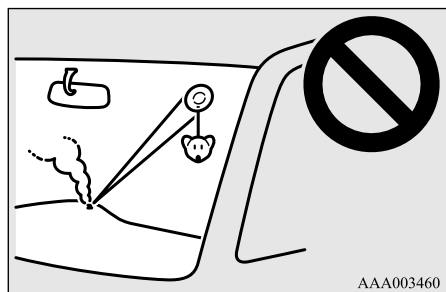
- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。

灰皿を使用したあとは

- 灰皿を使用したあとは，マッチやタバコの火は確実に消し，必ず閉めてください。
  万一の場合，火災になるおそれがあります。

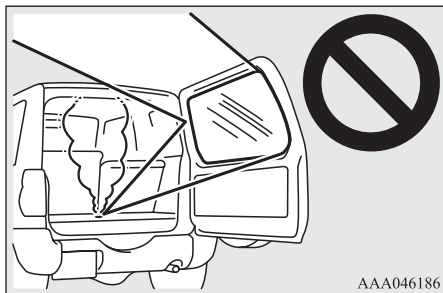
アクセサリー取り付け時の注意

● ウインドウガラスなどにアクセサリーをつけたり，インストルメントパネルの上に芳香剤などを置かないでください。
運転の妨げになったり，吸盤や芳香剤の容器がレンズの働きをして火災など，思わぬ事故の原因となります。

AAA003460

● 塗装が施されている部分にはアクセサリーなどをつけないで下さい。
吸盤に含まれる特殊な成分により，塗装面がはがれたり，変色したりするおそれがあります。

ウインドウフィルム装着時の注意

市販の鏡面タイプのフィルムは使用しないでください。
万一の場合バックドアのガラスに太陽光線が反射し，火災など思わぬ事故の原因となります。

AAA046186

タイヤ，ホイールは指定サイズを使用

- タイヤ，ホイールのサイズなどは国土交通省に届け出をしています。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
  →「タイヤ, ホイールのサイズ」P. 14-8
- 4WD車は4つのタイヤに駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に悪影響をおよぼしたり，故障など思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。
  お手持ちのものを使われるときは，日産販売会社にご相談ください。

エンジンをかけたままジャッキアップしない

- エンジンをかけたままジャッキアップすると，ジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

違法改造はしない

- 法律で認められている改造以外は行わないでください。
  また，日産純正部品以外の部品を装着すると，車の性能や機能に影響し，思いがけない事故が発生するおそれがあります。

AAA029107

電装品や無線機などの注意

- 電装品や無線機などを取り付けるときは，日産販売会社にご相談ください。
  配線が車体に干渉したり，保護ヒューズがないなど取付け方法が適切でないと，電子機器部品に悪影響をおよぼしたり，火災など，思わぬ事故につながるおそれがあります。

セルフ式ガソリンスタンドを利用するときは

J00201000379

燃料の取り扱いに注意

- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- 気化した燃料を吸わないように注意してください。燃料には有毒な成分を含んでいるものもあります。
- 給油中はドアおよびドアガラスを閉めてください。車内に気化した燃料が侵入するおそれがあります。
- 燃料をこぼさないように注意してください。塗装の変色，しみ，ひび割れの原因になります。付着したときは，柔らかい布などでふき取ってください。

静電気は確実に除去する

- フューエルフィラーキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルフィラーキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

フューエルフィラーキャップの取り扱いに注意

- フューエルフィラーキャップを開けるときは，急激に回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルフィラーキャップをゆるめたときにシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルフィラーキャップをゆっくり回してください。
- フューエルフィラーキャップを閉めたときは，確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。
- 日産純正部品以外のフューエルフィラーキャップは使用しないでください。

ガソリンスタンドの注意事項を守る

- ガソリンスタンドに掲示されている注意事項を守ってください。
- 補給口に給油ノズルを確実に差し込んでください。
  給油ノズルが正しく差し込まれていないと，燃料がこぼれるおそれがあります。
- 給油ノズルが自動的に停止したら給油を終了してください。
  つぎ足しを繰り返すと燃料があふれ出るおそれがあります。
- 給油方法についてご不明な点は，ガソリンスタンドの係員にご相談ください。

環境にやさしく快適なドライブのために

経済的な運転をするために

J00300200362

無駄な荷物を載せない

J00300500017

- 不要な荷物を降ろして重量を軽くしてください。

3

発進，加速はスムーズに

J00300600018

- 不必要な急発進，急加速，急減速など，アクセルペダルをバタつかせるような運転は避け，アクセルペダルの操作はゆるやかに行ってください。

スピードに応じた変速位置に

J00300700019

- 変速位置は，走行速度に応じた正しい位置を選択してください。

速度はできるだけ一定に

J00300800010

- 法定速度を守り，できるだけ一定のスピードで運転してください。

後輪駆動で走行

J00301900018

- 一般道路または高速道路では後輪駆動(2H)で走行してください。

空ぶかしは禁物

J00300900011

- 空ぶかしは，燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となりますので避けてください。

駐車時はエンジンストップ

J00301000019

- 携帯電話の使用や休憩などで，長い間車を止めるときは，エンジンを止めてください。燃料の無駄使いであると同時に，騒音や排気ガスにより周辺への迷惑となります。

タイヤの空気圧は定期的にチェック

J00301100036

- 日常点検でタイヤの接地部のたわみ状態を点検してください。また，月に一度はタイヤエアゲージで点検してください。

エアコンは控えめに

J00301200011

- エアコンは燃費に影響します。
  冷やしすぎに注意して適温を心がけてください。

その他に気を付けること

J00301300012

- 車間距離を十分にとり，不必要なブレーキをかけないようにしてください。
- 下り坂では早めにアクセルペダルを戻し，エンジンブレーキを使用してください。
- 高速道路でも不必要な高速走行は避けてください。

機能を上手く使うために

J00300300158

携帯電話やパソコンなどの電子機器からの影響

J00301400013

- 車内で携帯電話を使用すると，オーディオから雑音が出ることがあります。
  このときは，携帯電話をオーディオからできるだけ離して使用してください。
- 車内や車の近くでパソコンなどの電子機器を使用すると，カーナビゲーションが正常に作動しないことがあります。
  このときは，電子機器を車からできるだけ離して使用してください。

環境保護のために守っていただきたいこと

J00300400162

廃棄物を処理するときは

J00301500043

- バッテリーは，鉛や希硫酸が使われています。
  使用済みのバッテリーは，新品バッテリーを購入した販売店に処分を依頼してください。
- タイヤを燃やすと，有害なガスを発生させます。
  使用済みのタイヤは，新品タイヤを購入した販売店に処分を依頼してください。
- エンジンオイルが地下や河川などに流れ出すと，水質汚濁の原因となります。
  エンジンオイルを交換する場合は日産販売会社にご相談ください。
- 冷却水を地下や河川などに流すと，水質汚濁の原因となります。
  冷却水を交換する場合は，日産販売会社にご相談ください。

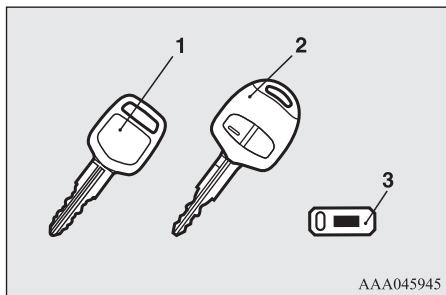
エアコンの冷媒ガスについて

J00301600028

- エアコン冷媒は，オゾン層を破壊させない代替フロンガス HFC-134a (R134a) を使用していますが，この代替フロンガスにも地球を温暖化させる働きがあります。エアコンの効きが悪い場合は日産販売会社でガス漏れの点検を行い，ガスの大気放出を防止してください。

各部の開閉

キー

J00400100971

1- マスターキー
2- マスターキー
(リモートコントロールエントリーシステム用キー)
3- キーナンバープレート

⚠警告

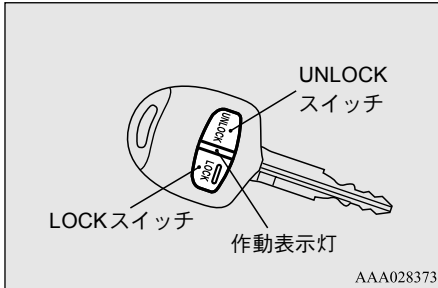
- 航空機内にキーを持ち込むときは，機内でキーのスイッチを押さないでください。スイッチを押すと電波が発信され，航空機の運航に悪影響をおよぼすおそれがあります。
かばんなどに入れて持ち込むときも，簡単にスイッチが押されないようにしてください。

アドバイス

- リモートコントロールエントリーシステム付きのキーは，信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，つぎの点をお守りください。
  - ダッシュボードの上など直射日光が当たる場所には放置しない
  - 分解，改造をしない
  - キーを無理に曲げたり，強い衝撃を与えない
  - 水にぬらさない
  - 磁気を帯びたキーホルダーなどを近づけない
  - オーディオ，パソコン，テレビなど磁気を帯びた機器の近くに置かない
  - 超音波洗浄器などで洗浄しない
- 万一，キーを紛失したときは，盗難などを防ぐため，ただちに日産販売会社にご相談ください。また，キーナンバーを日産販売会社へ連絡していただければ，キーを作ることができます。キーナンバーはキーナンバープレートに打刻してあります。キーナンバープレートは，キーとは別に大切に保管してください。
- カーアラームを「作動する」に設定したときは，つぎの点にご注意ください。
→「カーアラーム（盗難防止装置）」P. 4-9
  - カーアラームをシステム作動可能状態にしているときは，キーやドアのロックノブを使って解錠した後ドアを開けると警報が作動します。
  - カーアラームを「作動する」に設定していても，リモートコントロールエントリーシステムを使わないで施錠した場合はシステム準備状態になりません。

リモートコントロールエントリーシステム

J00400301198

リモコンスイッチですべてのドア（含む，バックドア）の施錠・解錠，およびパワーウインドウを操作することができます。

ドア（含む，バックドア）の施錠・解錠

LOCKスイッチを押すとすべてのドア（含む，バックドア）が施錠し，UNLOCKスイッチを押すとすべてのドア（含む，バックドア）が解錠します。
UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドア（含む，バックドア）を開けなければ自動的に施錠されます。

アドバイス

- リモコンスイッチを押すと作動表示灯が点灯します。
- カーアラームを「作動する」に設定しているときは，施錠と同時にシステム準備状態，続いてシステム作動可能状態になります。
詳しくは「カーアラーム（盗難防止装置）」をお読みください。→P. 4-9

◆ 施錠・解錠時の作動確認

つぎの通り作動を確認することができます。ただし，ルームランプの点滅・点灯はルームランプのスイッチが中間 (●) の位置にあるときに限られます。

施錠時：ルームランプと非常点滅灯が1回点滅

解錠時：ルームランプが約 15 秒間点灯し，非常点滅灯が2回点滅

アドバイス

- ドア（含む，バックドア）が完全に閉められていないときは作動確認はできません。
- つぎの機能を変更することができます。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を施錠時のみまたは解錠時のみにする。
  - 作動確認の機能（非常点滅灯の点滅）を働かなくする。

パワーウインドウの閉じ方

LOCKスイッチを押して施錠した後，約30秒以内にLOCKスイッチを再度約1秒以上押し続けるとすべてのドアガラスが閉まります。
途中で止めたいときはLOCKまたはUNLOCKスイッチを押します。

アドバイス

- リモコンスイッチによるつぎの操作を変更することができます。詳しくは日産販売会社にご相談ください。
  - パワーウインドウの「閉じる」操作をできなくする
  - パワーウインドウの「開ける」機能を追加する
- リモコンスイッチは車から約1m以内で作動します。
  近くにTV塔や変電所，放送局があるなど周囲の状況により作動距離が変わることがあります。
- つぎのようなときはリモコンスイッチは作動しません。
  - エンジンスイッチにキーが差してあるとき
  - ドア（含む，バックドア）が開いている状態，または半ドアでLOCKスイッチを押したとき
- リモコンスイッチを紛失したときや，新しいリモコンスイッチを作りたいときは日産販売会社にご相談ください。最大4個まで作ることができます。
- つぎのときは電池の消耗が考えられます。
  - 正しい距離でリモコンスイッチを押しても施錠・解錠しないとき
  - 作動表示灯が暗い，または点灯しないとき

  電池が消耗した場合は，新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-4

電池交換のしかた

J00415100083

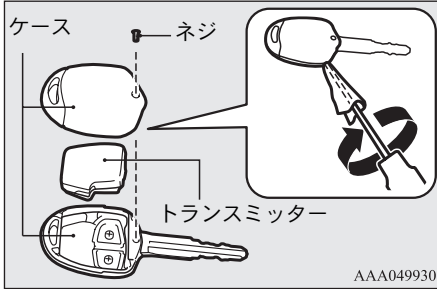
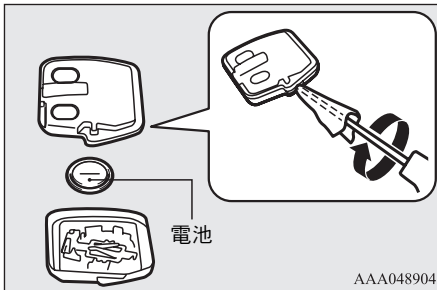
⚠警告

- 電池および取り外した部品は，誤ってお子さまが飲み込まないように注意してください。

アドバイス

- 電池交換をする際は，キーを破損するおそれがあるため，日産販売会社での交換をおすすめします。
- キーは信号発信機が内蔵された精密な電子機器部品です。故障を防ぐため，内部に水やゴミを付着させないでください。
- 電池は日産販売会社，時計店またはカメラ店などでお買い求めください。

使用電池：CR1616

1. キーの裏面を上にしてネジを取り外します。
先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでケースを外し，トランスミッターを取り出します。

2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどを差し込んでトランスミッターを開きます。
新しい電池は－極を上にして取り付けます。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

ドア

J00400400017

⚠警告

- 車から離れるときは，火災や盗難などを未然に防ぐため，必ずエンジンを止めドアを施錠してください。
法的にも義務づけられています。
お子さま連れのときは必ずお子さまも一緒に連れて出てください。
また車内に貴重品を置いたままにしないでください。

⚠注意

- ドアを閉めるときは，確実に閉め，メーター内の半ドア警告灯が消灯していることを確認してください。半ドアでは，走行中にドアが開き思わぬ事故につながるおそれがあります。

4

車外から施錠・解錠するときは

J00404400712

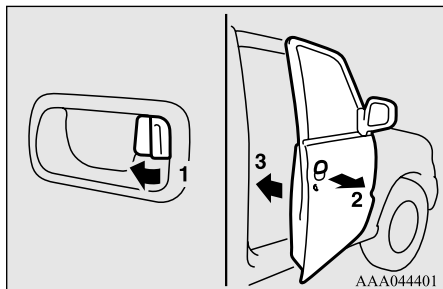
◆ キーを使って施錠・解錠するときは

キーを車両前方に回すと施錠，車両後方に回すと解錠されます。

AAA044397

◆ キーを使わずに施錠するときは

1. ドア内側のロックノブを車両前方に倒し，
2. ドアハンドルを引いたまま
3. ドアを閉じます。

AAA044401

アドバイス

- キー抜き忘れ防止のため，キーを持ってドアを閉じてください。

◆ キー抜き忘れ防止機構

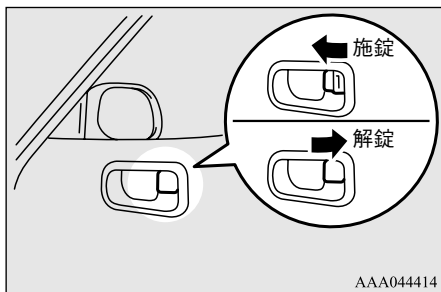
J00404500436

エンジンスイッチを切り，キーを差したまま運転席ドアを開くとキー抜き忘れ警報ブザー（ピピッ，ピピッ）が断続的に鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
また，キーを差したまま運転席ドアを開け，ロックノブを車両前方に倒して施錠をしようとしても施錠されません。

車内から施錠・解錠するときは

J00404600714

ロックノブを車両前方へ倒すと施錠し，車両後方へ倒すと解錠します。

AAA044414

アドバイス

- 運転席ドアのキーまたはロックノブの操作で運転席とすべてのドア（含む，バックドア）を施錠・解錠することができます。
  →「集中ドアロック」P. 4-7
- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いて集中ドアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

集中ドアロック

J00400500829

つぎの操作ですべてのドア（含む，バックドア）の施錠・解錠ができます。

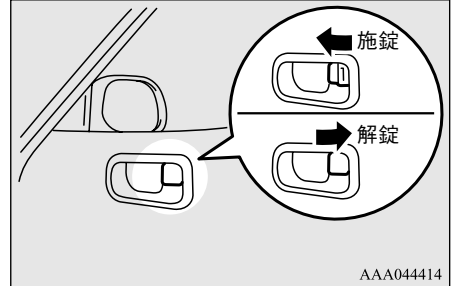
アドバイス

- 施錠と解錠を交互に連続操作すると保護回路が働いて集中ドアロックが一時的に作動しなくなることがあります。
  このようなときはしばらくしてから（約1分後）操作してください。

キーを使って施錠・解錠するときは

運転席ドアのキーを車両前方に回すとすべてのドア（含む，バックドア）が施錠し，車両後方に回すとすべてのドア（含む，バックドア）が解錠します。

ロックノブを使って施錠・解錠するときは

運転席ドア内側のロックノブを車両前方へ倒すとすべてのドア（含む，バックドア)が施錠し，車両後方へ倒すとすべてのドア（含む，バックドア）が解錠します。

バックドア

J00401000124

⚠警告

- 走行前に必ずバックドアが確実に閉じていることを確認してください。
  開けたまま走行すると，車内に排気ガスが侵入し，一酸化炭素中毒になるおそれがあります。
- 道路上でバックドアを開けて駐停車するときは車両後方に停止表示板（停止表示灯）などを置いてください。
  バックドアを開けたときに非常点滅灯などが後方の車両から確認できなくなる場合があるため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- 坂道や風の強いときなどにバックドアを開閉するときは，十分注意して行ってください。
  バックドアが急に動いて思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ラゲッジルームの荷物を出し入れするときは，排気管の後方に立たないでください。
  排気熱によりやけどをするおそれがあります。

バックドアの施錠・解錠

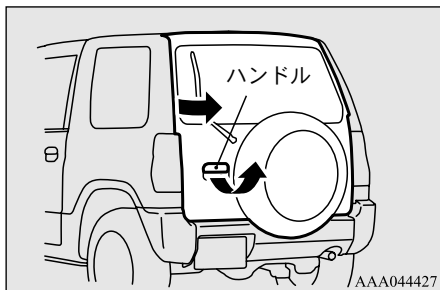
集中ドアロックまたはリモートコントロールエントリーシステムの操作で，バックドアの施錠・解錠をすることができます。

詳しくは，つぎの項をお読みください。

→「集中ドアロック」P. 4-7

→「リモートコントロールエントリーシステム」P. 4-3

開けるときは

解錠後，ハンドルを引いて開けます。

⚠注意

- バックドアを開けるときはまわりに人がいないことを確認してください。

閉めるときは

ハンドルから手を離し，閉じます。

⚠注意

- バックドアを閉じた後は必ずバックドアが確実に閉じていることを確認してください。走行中に開くと，荷物が落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

カーアラーム（盗難防止装置）

J00401200748

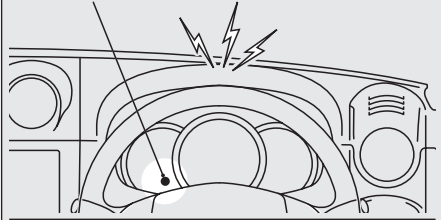
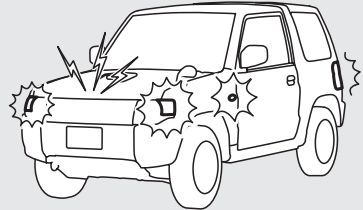
カーアラームは，車両内への不正侵入防止のため，リモートコントロールエントリーシステムを使用せずにドア（含む，バックドア）を開けたとき，またはエンジンフードを開けたときに警報を作動させ，周囲に異常を知らせるシステムです。リモートコントロールエントリーシステム以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）ドア（含む，バックドア）を施錠したときは，このシステムは働きません。

工場出荷時は，カーアラームが「作動しない」に設定されています。
設定を変更するときは「システム作動の設定変更のしかた」の手順にしたがって操作してください。→P. 4-11

アドバイス

- 日産純正部品以外の部品を装着すると，カーアラームに影響をおよぼすおそれがあります。

システムの基本状態

カーアラームには準備状態，作動可能状態，警報作動，作動解除の4つの状態があります。
それぞれの状態に応じて，ブザー，セキュリティーインジケーター，非常点滅灯またはホーンがつぎの通り作動します。

◆ 準備状態:約20秒間

(ブザーが断続的に鳴り，セキュリティーインジケーターが点滅する)

リモートコントロールエントリーシステムの LOCK スイッチを押してすべてのドア（含む，バックドア）を施錠した後，システム作動可能状態になるまでの準備時間です。
車内に荷物を忘れたり，ドアガラスを閉め忘れたのに気がついて，一時的にリモートコントロールエントリーシステムを使わずにドア（含む，バックドア）を開けたときに警報しないよう，この状態を設定しています。

◆ 作動可能状態

(ブザーは停止し，セキュリティーインジケーターがゆっくりと点滅し続ける)

システム準備状態が過ぎると，システム作動可能状態になります。
このとき，リモートコントロールエントリーシステム以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）解錠し，いずれかのドア（含む，バックドア）またはエンジンフードを開けると警報が作動し，周囲に異常を知らせます。

◆ 警報作動

車内警報の後，車外警報が作動します。

車内警報（約10秒間）:
ブザーが鳴り，車内に異常を知らせます。
車外警報（約30秒間）:
非常点滅灯が点滅し，ホーンが鳴り，周囲に異常を知らせます。

→「警報作動」P. 4-14

◆ 作動解除

システム準備状態，システム作動可能状態のときにシステムの作動を解除することができます。
また，警報が作動しているときも警報作動を解除することができます。

→「システム作動の解除のしかた」P. 4-14
→「警報作動の解除のしかた」P. 4-15

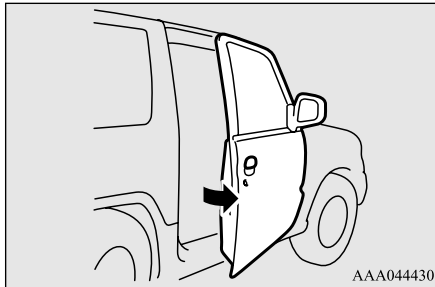
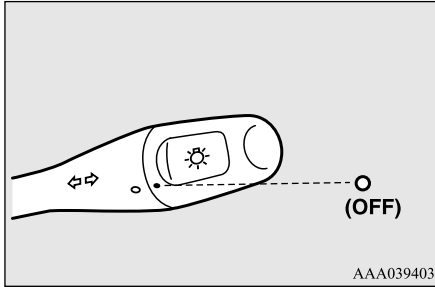
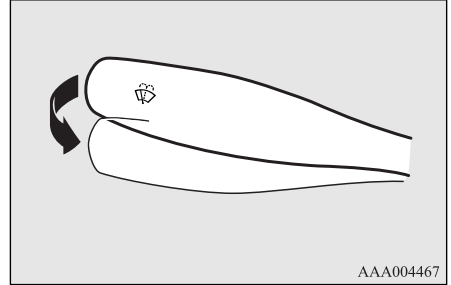
アドバイス

- 他の人にお車を貸されるときや，カーアラームの作動について知らない人が運転されるときは，カーアラームについて十分ご説明いただくか, カーアラームを「作動しない」に設定してください。カーアラームについて知らない人が誤って解錠すると，警報が作動し，周囲への迷惑となります。

システム作動の設定変更のしかた

J00402700795

警報作動の設定状態を選択することができます。つぎの手順にしたがって設定を変更してください。

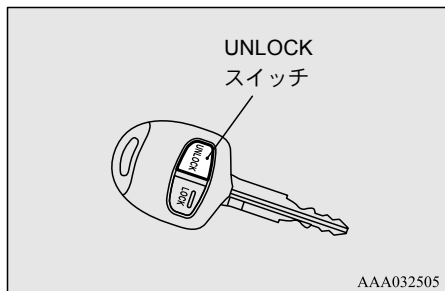
1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. ライトスイッチをOFF位置にして，運転席ドアを開いたままにします。

3. フロントワイパー・ウオッシャースイッチを手前に引いたまま保持します。
（エンジンスイッチが LOCK にあるため，ウオッシャー液は出ません。）

4. 約 10 秒経過するとブザーが鳴りますが，フロントワイパー・ウオッシャースイッチは手前に引いたまま保持してください。
（フロントワイパー・ウオッシャースイッチを離すと，設定変更モードが無効になります。
やり直すときは手順3.からもう一度操作してください。）

4

5. ブザーが鳴り止んだら，フロントワイパー・ウオッシャースイッチを手前に引いたままリモートコントロールエントリーシステムの UNLOCK スイッチを押してカーアラームの設定状態を選択します。
設定状態は UNLOCK スイッチを押すごとに切り換わり，ブザーの回数によって確認できます。

AAA032505

ブザーの回数	カーアラームの設定状態
1回	警報作動しない
3回	ホーンと非常点滅灯で警報作動する

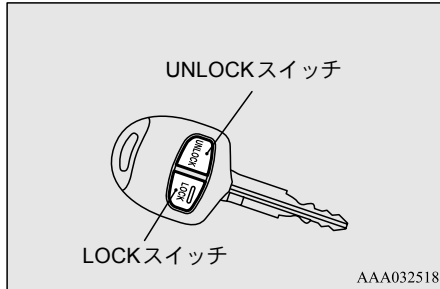
6. つぎのいずれかの操作でシステム設定変更モードが終了します。
   - フロントワイパー・ウオッシャースイッチを離す
   - 運転席ドアを閉じる
   - エンジンスイッチにキーを差す
   - ライトスイッチを OFF 位置以外にする
   - 設定を変更しないまま約 30 秒経過する

アドバイス

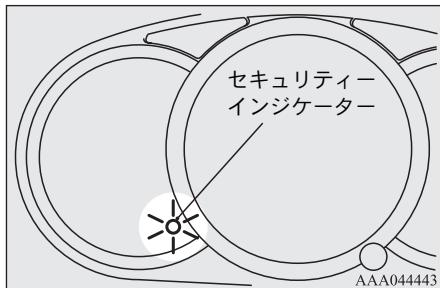
- カーアラームの設定変更がわかりにくいときは日産販売会社にご相談ください。
- カーアラームを「作動する」に設定した場合も，万一のため，車を離れるときは車内に貴重品を置いたままにしないでください。

システム作動のセットのしかた

J00402800666

あらかじめカーアラームを「作動する」に設定した後，つぎの手順でシステム作動可能状態にセットします。

AAA032518

1. エンジンスイッチからキーを抜きます。
2. 車両から出てすべてのドア（含む，バックドア）およびエンジンフードを閉じます。
3. リモートコントロールエントリーシステムのLOCKスイッチを押して，すべてのドア（含む，バックドア）を施錠します。
   リモートコントロールエントリーシステムによる施錠操作で，システム準備状態になります。このとき確認のためのブザーが断続的に鳴り，メーター内のセキュリティー インジケーターが点滅します。

AAA044443

アドバイス

- リモートコントロールエントリーシステム以外の操作で（キーやドアのロックノブを使って）すべてのドア（含む，バックドア）を施錠したときは，システム準備状態になりません。
- エンジンフードが開いているときは，セキュリティーインジケーターが点灯し，システム作動可能状態になりません。
  エンジンフードを閉めるとシステム準備状態になり，約20秒後にシステム作動可能状態になります。

4. 約20秒後，ブザーが止まり，セキュリティーインジケーターの点滅速度が遅くなり始めたらシステム作動可能状態です。
   システム作動可能状態中は，セキュリティーインジケーターは点滅し続けます。

アドバイス

- 車内に人が乗っている状態，またはドアガラスが開いた状態でもカーアラームは作動します。警報の思わぬ作動を防ぐため，車内に人が乗っている状態ではシステム作動可能状態にしないでください。

システム作動の解除のしかた

J00402900641

システム準備状態またはシステム作動可能状態のときに，つぎの方法でシステム作動を解除することができます。

- リモートコントロールエントリーシステムの UNLOCK スイッチを押す
- エンジンスイッチをONまたはACCにする
- システム準備状態のとき，いずれかのドア（含む，バックドア）を開けるか，エンジンスイッチにキーを差し込む

アドバイス

- システム準備状態のときにエンジンフードを開けるとシステム準備状態が中断し，エンジンフードを閉めるとシステム準備状態に戻ります。
- システム準備状態のときにバッテリー端子を外すと記憶は消去されます。
- リモートコントロールエントリーシステムのリモコンスイッチは 4 個まで登録できます。
  登録済みのリモコンスイッチであれば，セットしたリモコンスイッチと別のリモコンスイッチを使ってもシステムを解除することができます。
  リモコンスイッチの追加登録については日産販売会社にお問い合わせください。
- リモートコントロールエントリーシステムの作動距離は約 1 m です。正しい距離でスイッチを押しても施錠，解錠およびカーアラームのセット，解除ができないときには電池の消耗が考えられます。新しい電池に交換してください。
  →「電池交換のしかた」P. 4-4
- UNLOCKスイッチを押して解錠しても約30秒以内にドア（含む，バックドア）を開けなければ自動的に施錠されます。このときもシステム準備状態になります。

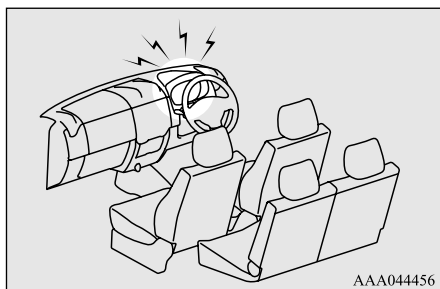
警報作動

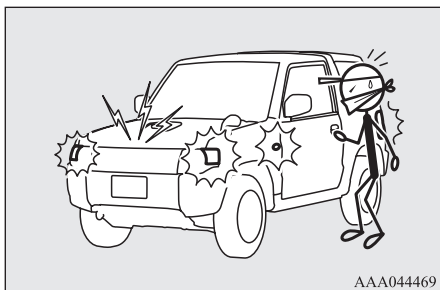
J00403000711

システム作動可能状態のときに，リモートコントロールエントリーシステムの操作で解錠せずに，いずれかのドア（含む，バックドア）またはエンジンフードを開けるとつぎのように警報作動します。

1. 約10秒間ブザーが断続的に鳴ります。（車内警報）

アドバイス

- 作動可能状態中にエンジンフードを開けると車内警報は作動せず，すぐに車外警報が作動します。

AAA044456

2. 車内警報の後，設定した車外警報が約30秒間作動します。
   非常点滅灯が点滅し，ホーンが断続的に鳴ります。

AAA044469

3. 警報が停止した後もドア（含む，バックドア）またはエンジンフードを開くと車外警報が再び作動します。

警報作動の解除のしかた

J00403100419

つぎの方法で警報作動を止めることができます。

- リモートコントロールエントリーシステムのいずれかのスイッチを押す〔LOCKスイッチを押したとき，すべてのドア（含む，バックドア）が閉じていれば施錠し，再びシステム準備状態になります〕
- エンジンスイッチをONまたはACCにする

アドバイス

- 車内警報中にドア（含む，バックドア）を閉じても警報作動は解除されません。
- エンジンスイッチを ON にしたときブザーが 4 回鳴り，セキュリティーインジケーターが4回点滅したときは，駐車中に警報が作動したことを示しています。盗難にあっていないかお車の中を確認してください。
- バッテリーを外しても警報作動の記憶は消去されません。
  一時的にバッテリーを外して警報作動しないようにしても，バッテリーを再び接続するとすぐに警報し，周囲に異常を知らせます。

パワーウインドウ

J00401500653

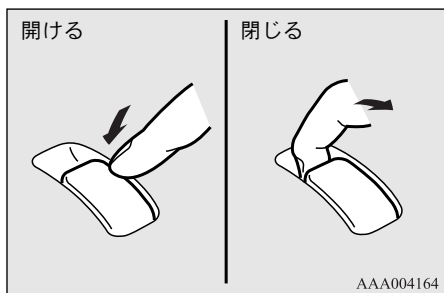
⚠警告

- パワーウインドウを閉じるときは，安全のため同乗者が窓から顔や手を出していないことを確認してください。
- 安全のためパワーウインドウの操作はお子さまではなく大人が行ってください。
  車を離れるときは必ずキーを抜いて，お子さまも一緒に連れて出てください。キーを差したままだとお子さまがいたずらをして手や首を挟むおそれがあります。

アドバイス

- リモートコントロールエントリーシステムのリモコンスイッチでもパワーウインドウを閉じることができます。
  →「リモートコントロールエントリーシステム」P. 4-3

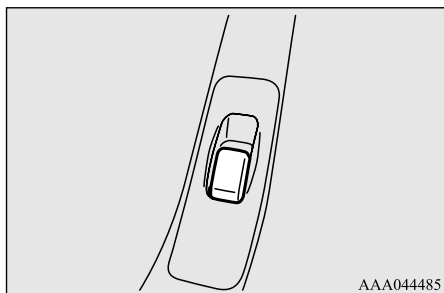
運転席スイッチ

運転席スイッチで全席のドアガラスの開閉をすることができます。エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。

AAA004164

スイッチを強く押したり，強く引き上げると自動的に全開，全閉します。
途中で止めたいときはスイッチを軽く操作します。

助手席スイッチ

エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと開き，引き上げると閉まります。

AAA044485

キーオフ後作動

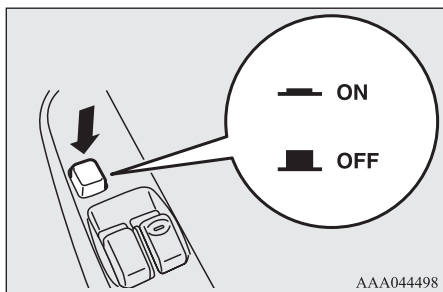
J00405200456

エンジンスイッチを切った後でも約30秒間はドアガラスを開閉することができます。この時間内に運転席ドアを開けるとさらに約30秒間ドアガラスを開閉できます。ただし，一旦運転席ドアを閉めるとドアガラスの開閉はできなくなります。

ロックスイッチ

J00404300535

お子さまを乗せるときはロックスイッチをONにしてください。
助手席スイッチを操作してもドアガラスは開閉できなくなります。
解除するときはもう一度押します。

AAA044498

アドバイス

- ロックスイッチが ON でも運転席スイッチでは全席のドアガラスを開閉することができます。

挟み込み防止機構

J00403200436

万一，手や首などを挟んだ場合は安全のため自動的にドアガラスが少し下がります。
ドアガラスが下がった後，再度スイッチを引き上げるとドアガラスを閉めることができます。

⚠警告

- **3 回以上連続して挟み込み防止機構が働いたときは，挟み込み防止機構が一旦解除されます。**
  万一，手や首を挟んだ場合，重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- ドアガラスを確実に閉めるため，閉め切り直前では挟み込み防止機構が働かないようになっています。
  指などを挟まないように注意してください。

アドバイス

- 環境や走行条件により，手や首などを挟んだときと同じ衝撃が加わると，挟み込み防止機構が働くことがあります。
- 3 回以上連続して挟み込み防止機構が働いたときは，挟み込み防止機構が解除され，ドアガラスが正常に閉まらなくなります。
  つぎの方法でドアガラスを処置してください。
  ドアガラスが開いているときは，パワーウインドウスイッチを繰り返し引き上げて，ドアガラスを一度全閉します。全閉後，一旦スイッチから手を離し，再度約1秒間スイッチを引き上げてください。これにより，元通りドアガラスの開閉操作ができるようになります。

エンジンフード（ボンネット）

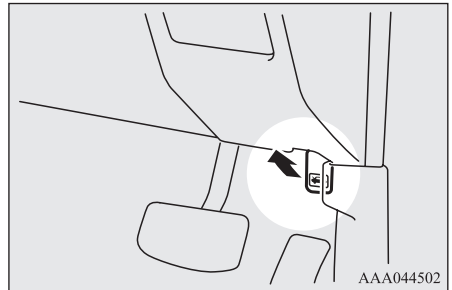
J00402100685

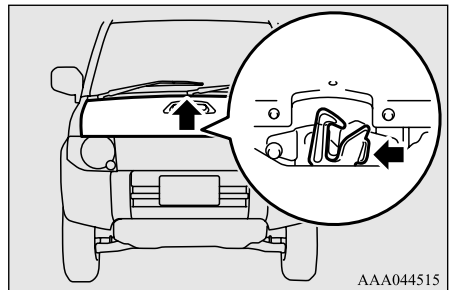
開けるときは

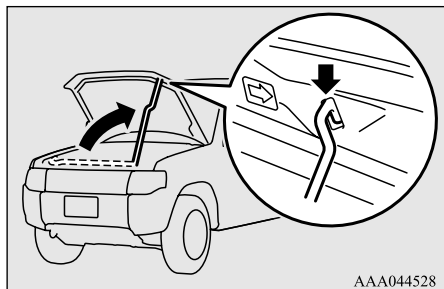
1. ワイパーアームが立っているときはワイパーアームを倒します。

アドバイス

- ワイパーアームが立った状態でエンジンフードを開けるとエンジンフードに傷がつくおそれがあります。

2. 計器盤右下にあるレバーを引くとエンジンフードが少し浮き上がります。

3. エンジンフードのすき間に手を入れ，前端中央部のレバーを左へ押しながらエンジンフードを持ち上げます。

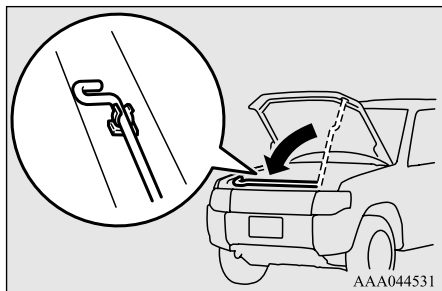
4

4. 支持棒をエンジンフードの穴に差し込みエンジンフードを確実に固定します。

AAA044528

⚠注意

- 風の強いときにエンジンフードを開けていると，風にあおられて支持棒が外れることがあります。特に風の強いときはご注意ください。
- 支持棒は必ず所定の穴に差し込んでください。所定以外の箇所に差し込むと支持棒が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

閉めるときは

1. エンジンフードを支えながら支持棒を穴から外してクリップに固定します。

AAA044531

2. エンジンフードを少し持ち上げた位置（約20cm）から離します。

⚠注意

- 手や物を挟まないように注意してください。

3. エンジンフードが完全に閉じていることを確認します。

⚠注意

- 走行前に必ずエンジンフードが確実に閉じていることを確認してください。完全に閉じていないまま走行するとエンジンフードが開くおそれがあります。

アドバイス

- エンジンフードを手で強く押しつけないでください。力のかけ具合や場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

4

フューエルフィラーリッド（燃料補給口）

J00402300616

フューエルフィラーリッド（燃料補給口）は車両の右側後方にあります。

⚠警告

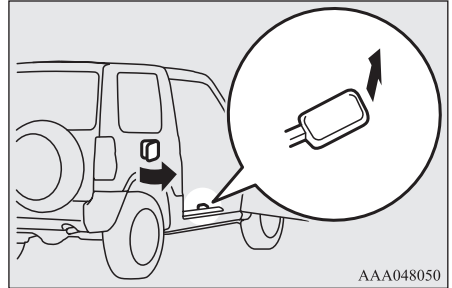
- 燃料を補給するときは火気厳禁です。燃料は引火しやすいため火災や爆発のおそれがあります。
  - 必ずエンジンを止めてください。
  - たばこ，ライター，携帯電話などは使用しないでください。
- フューエルフィラーキャップを外す前に車体や給油機の金属部分に触れて，必ず身体の静電気を除去してください。
  静電気を帯びていると，放電による火花で気化した燃料に引火するおそれがあります。
- リッド（補給口）の開口，フューエルフィラーキャップの取り外しなど，給油操作は必ず一人で行い，補給口に他の人を近づけないでください。
  複数で行うと他の人が帯電していた場合，気化した燃料に引火するおそれがあります。
- 給油が終わるまで補給口から離れないでください。途中，シートに座るなどすると，再帯電するおそれがあります。

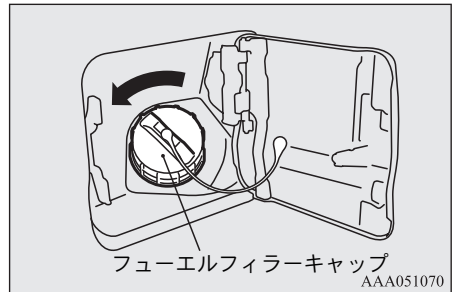
アドバイス

- 燃料は必ず指定された燃料をご使用ください。
  →「燃料は指定されたものを補給」P. 2-3
  →「メンテナンスデータ:燃料の量と種類」P. 14-2

開けるときは

J00405000627

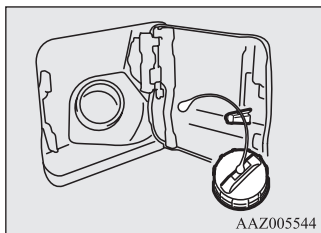
1. 運転席右下のレバーを引き上げてリッド（補給口）を開けます。

AAA048050

2. フューエルフィラーキャップのつまみを持ち，ゆっくり左に回して外します。

AAA051070

⚠警告

- 急激にフューエルフィラーキャップを回さないでください。燃料タンク内の圧力により，補給口から燃料が吹き返すおそれがあります。
- フューエルフィラーキャップをゆるめた場合にシューッという音がしたときは，音がしなくなるまで待ってから，フューエルフィラーキャップをゆっくり回してください。

アドバイス

● フューエルフィラーキャップのひもをリッド裏側のフックにかけてキャップを固定することができます。

閉めるときは

J00405100253

1. フューエルフィラーキャップをカチッカチッと音がするまで右に回して閉めます。

警告

● フューエルフィラーキャップが確実に閉まっていることを確認してください。確実に閉まっていないと燃料が漏れ，火災になるおそれがあります。

2. フューエルフィラーリッドを手で軽く押して閉めます。

安全装備

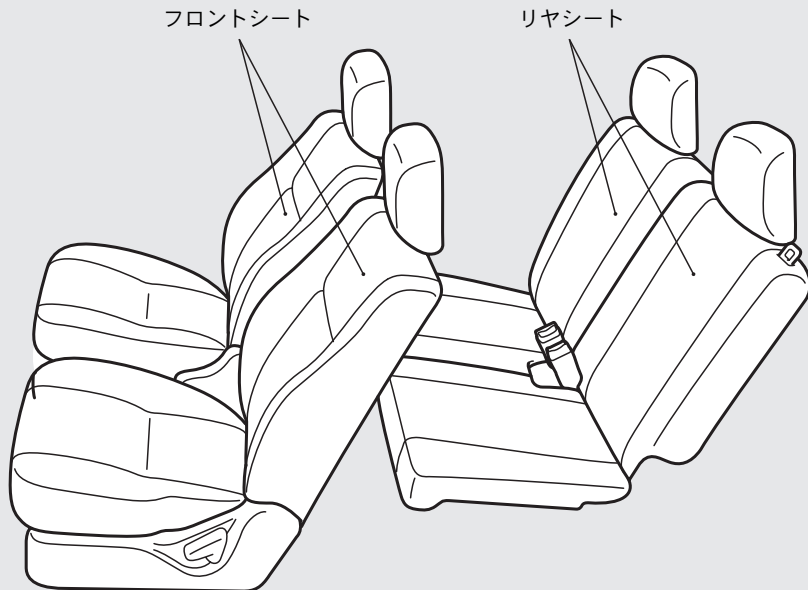
シート

シートベルト

チャイルドシート

SRSエアバッグ

シート

J00509900830

フロントシート

- 前後調整P. 5-4
- 背もたれの角度調整P. 5-4
- クッションの上下調整（運転席シートリフター） タイプ別装備 P. 5-4
- リヤシートへの乗り降り（助手席）P. 5-5
- 運転席シートヒーター タイプ別装備 P. 5-6

リヤシート

- 背もたれの角度調整P. 5-7
- 背もたれの前倒しP. 5-7

シート調整

J00500200247

シート各部の調整は走行前に行ってください。

⚠警告

- シートの調整は必ず走行前に行ってください。走行中にシートを調整すると必要以上に動くことがあり，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの調整をした後は，シートが確実に固定されていることを確認してください。シートが固定されていないとシートが動き，重大な事故につながるおそれがあります。
- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- シートの調整は必ず大人が行ってください。お子さまが操作すると思わぬ事故を起こすおそれがあります。
- シートを操作しているときは，シートの下や動いている部分に手足を近づけないでください。

フロントシート

J00500300222

正しい運転姿勢がとれるように，つぎの点に注意してシートを調整してください。

⚠警告

- 背もたれと背中の間にクッションなどを入れないでください。
  正しい運転姿勢がとれないため，思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

- 後方へシートを移動したり，背もたれを倒すときは乗員に注意してください。

5

前後調整

J00500400366

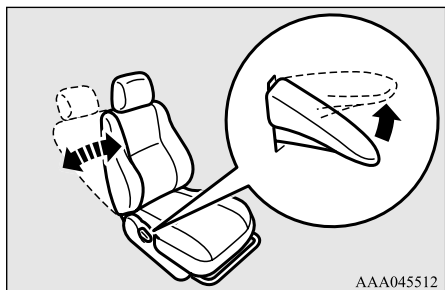
レバーを引いたまま調整します。
調整後はシートを前後に軽くゆすり，シートが確実に固定されたことを確認します。

AAA045509

背もたれの角度調整

J00500500442

レバーを引いたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されたことを確認します。

AAA045512

⚠注意

● レバーを操作するときは，背もたれに身体を添わせるか，手を添えて行ってください。
背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。

クッションの上下調整（運転席シートリフター）

タイプ別装備

J00500600502

ノブを回して調整します。

AAA045525

リヤシートへの乗り降り（助手席）

J00501100038

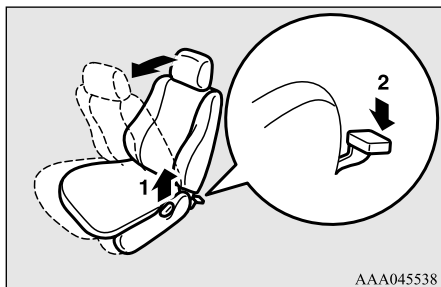
⚠警告

- 背もたれを前に倒した状態で運転しないでください。シートが固定されていないため，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，重大な傷害を受けるおそれがあります。

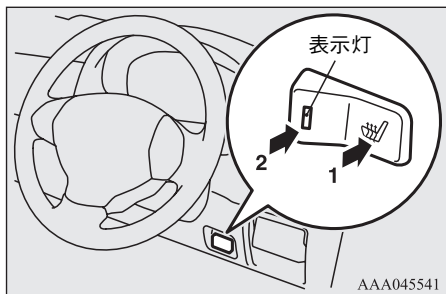
レバー(1)を引き上げるか，またはペダル(2) を踏むと背もたれが倒れます。シート全体を前方へ押してください。
シートを元に戻すときは，シート全体を後方へ移動させて背もたれを起こし，確実に固定されていることを確認してください。

⚠注意

- レバーまたはペダルを操作するときは，背もたれに手を添えて行ってください。
  背もたれが急に戻り顔などに当たるおそれがあります。
- ペダル (2) の操作は足で行ってください。

5

運転席シートヒーター

タイプ別装備　J00501300216

エンジンスイッチが ON のときにスイッチの(1)側を押すとヒーターが作動し，スイッチ内の表示灯が点灯します。
ヒーターを切りたいときはスイッチの(2)側を押します。

⚠注意

- エンジン停止状態での連続使用はバッテリー上がりの原因になります。
- 長時間の連続使用は低温やけど（水ぶくれなど）の原因になります。特につぎのような方は注意してください。
  - 乳幼児，お子さま，お年寄，病気の方，身体の不自由な方
  - 皮膚の弱い方
  - 疲労の激しい方
  - 飲酒した方およびねむけをさそう薬を飲んだ方（かぜ薬など）
- 重い荷物をシートの上に置いたり，針やくぎなどをシートに刺したりしないでください。
- 毛布や座ぶとんなど保温性のよいものをシートにかけないでください。過熱の原因となります。
- シートを手入れするとき，ベンジン，ガソリン，およびアルコールなどの有機溶剤を使用しないでください。シート表面およびヒーターの損傷の原因となります。
- 水，ジュースなどをこぼしたときは十分乾かしてから使用してください。

アドバイス

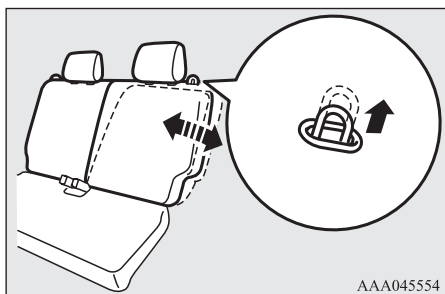
- ご使用にならないときはスイッチを OFF にしてください。

リヤシート

J00501400015

背もたれの角度調整

J00501600277

ノブを引き上げたまま調整します。
調整後は背もたれを軽くゆすり，背もたれが確実に固定されていることを確認します。

AAA045554

アドバイス

● 背もたれの角度は片側ずつ調整できます。

背もたれの前倒し

J00501700340

背もたれを倒すことにより，大きな荷物を積むことができます。

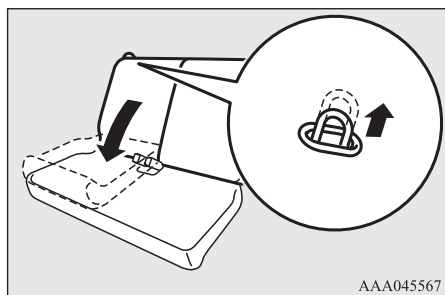
⚠警告

● リヤシートの背もたれを前倒しした状態で，人を乗せたりお子さまを遊ばせないでください。
急ブレーキをかけたときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

● 室内にはシートの高さ以上に荷物を積まないでください。また荷物は確実に固定してください。
後方の確認ができなくなったり，急ブレーキをかけたときなどに荷物が前方に飛び出して思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 倒すときは

1. ヘッドレスト付き車は，ヘッドレストを取り外します。
→「ヘッドレスト：取り外すときは」P. 5-9
2. 倒したい側のノブを引き上げたまま，背もたれを前へ倒します。

AAA045567

◆ 戻すときは

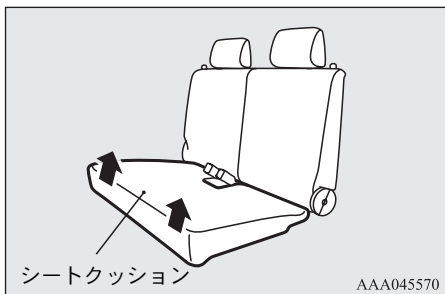
1. 背もたれを確実にロックするまで起こします。
元に戻した後は，背もたれが確実に固定されていることを確認します。
2. ヘッドレスト付き車は，ヘッドレストを取り付けます。
→「ヘッドレスト：取り付けるときは」P. 5-9

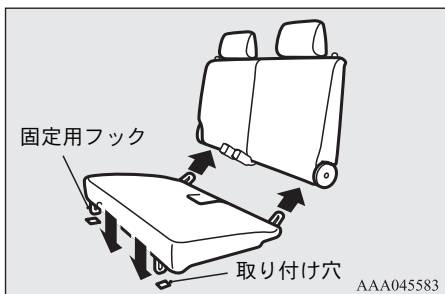
リヤシートクッション

J00502000164

リヤシートのシートクッションは取り外すことができます。シートカバーをつけるときなどにご利用ください。

◆ 取り外すときは

シートクッションの両端を持ち上げて，取り外します。

◆ 取り付けるときは

1. シートベルトのバックルをシートクッションの上に出します。
2. シートクッションを後方へいっぱいに押し込みながら，シートクッション下側の固定用フックを左右の取り付け穴にカチッと音がするまで押し込みます。

3. 取り付け後はシートクッションを軽くゆすり，シートクッションが確実に固定されていることを確認します。

ヘッドレスト

J00503400468

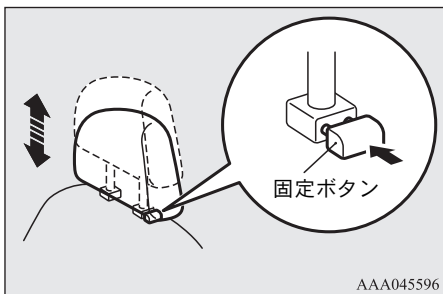
⚠警告

- ヘッドレストの固定できる高さを超えて使用しないでください。
  万一のとき安全確保に役立ちません。
- ヘッドレストを取り外したままで走行しないでください。走行前に必ず取り付けてください。衝突したときなどに重大な傷害を受けるおそれがあります。

上下調整

J00532400095

ヘッドレストの中央部ができるだけ目の高さになるように調整します。
目の高さに届かない場合（特に背の高い人など）は，固定できる範囲で一番高い位置に調整してください。

上げるときはそのまま引き上げ，下げるときは固定ボタンを押しながら下げます。

取り外すときは

J00508900035

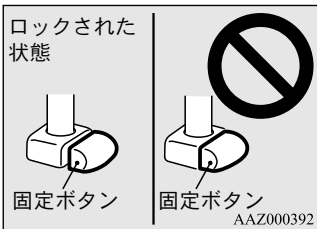
固定ボタンを押したまま，いっぱいに引き上げて取り外します。

取り付けるときは

J00509000251

固定ボタンを押しながら差し込みます。

⚠注意

- ヘッドレストを取り付けた後，固定ボタンがロックされていることを確認してください。

- ヘッドレストを取り付けるときは，前後の向きを確認して間違えないように取り付けてください。

シートベルト

J00505100498

シートベルトは万一の場合，運転者と同乗者の安全を守ります。シートベルトはつぎの使用方法，注意を守り，運転する前に必ず着用してください。

⚠警告

- 肩部ベルトは脇の下を通さないで，肩に十分かかるように着用してください。ベルトが肩に十分かかっていないと衝突したときなどに身体が前方に投げ出され，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 腰部ベルトは腹部にかけないでください。衝突したときなどに腹部などに強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ベルトは1人用です。2人以上で使用しないでください。衝突のときなどにベルトが正常に働かず，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠警告

- シートの背もたれを必要以上に倒して走行しないでください。急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに，身体がシートベルトの下にもぐり，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- 車に乗るときは必ず全員がシートベルトを着用してください。ベルトを着用しないと急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに身体がシートに保持されず，車外に投げ出されたりして，重大な傷害を受けるおそれがあります。
- シートベルトは上体を起こして，シートに深く腰かけた状態で着用してください。正しい姿勢で着用しないと十分な効果を発揮しないおそれがあります。正しい姿勢については「フロントシート」を参照してください。→ P. 5-3
- シートベルトはねじれのないように着用してください。ねじれがあるとベルトの幅が狭くなり，衝突したときなどに局部的に強い力を受けてシートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。
- ハンドルやインストルメントパネルに必要以上に近づいて運転しないでください。衝突したときなどにシートベルトが十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- お子さまでもシートベルトを必ず着用させてください。ひざの上でお子さまを抱いていても，急ブレーキをかけたときや衝突したときなどに十分に支えることができず，お子さまが重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ000116

⚠警告

- 妊娠中の女性や疾患のある方も，万一のときのためにシートベルトを着用してください。ただし，局部的に強い圧迫を受けるおそれがありますので，医師にご相談のうえ注意事項を確認してからご使用ください。
  妊娠中の方は，腰部ベルトを腹部を避けて腰部のできるだけ低い位置にぴったりと着用してください。肩部ベルトは確実に肩を通し，腹部を避けて胸部にかかるように着用してください。
- シートベルトを着用する場合は洗たくばさみやクリップなどでベルトにたるみをつけないでください。ベルトにたるみがあると十分な効果を発揮しないおそれがあります。
- ほつれや切り傷ができたり，金具部などが正常に動かなくなったときは，シートベルトを交換してください。異常がある状態で使用すると衝突時に正常に動かず，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- 万一，事故にあって，シートベルトに強い衝撃を受けた場合は，外観に異常がなくても必ず交換してください。軽い事故の場合も日産販売会社で点検を受けてください。ベルト自体が壊れている場合があり，性能を十分発揮できないおそれがあります。
- シートベルトを修理または交換する場合は日産販売会社へご相談ください。
- バックルや巻き取り装置の内部に異物などを入れないようにしてください。またシートベルトの改造や取り付け，取り外しをしないでください。衝突したときなどに十分な効果を発揮できないおそれがあります。
- ベルトが汚れた場合は，中性洗剤を使用してください。ベンジンやガソリンなどの有機溶剤の使用や漂白，染色は絶対にしないでください。
  シートベルトの性能が落ち，十分な効果を発揮できなくなるおそれがあります。

ELR（緊急固定）付3点式シートベルト

J00505200213

ベルトの長さを調整する必要はありません。ベルトは身体の動きに合わせて伸縮しますが，強い衝撃を受けたときは，ベルトが自動的にロックされ身体を固定します。

◆ 着用するときは

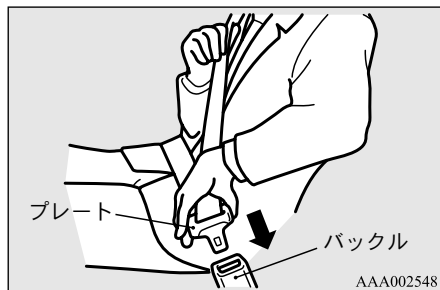
J00507800170

1. プレートを持ってシートベルトをゆっくりと引き出します。

アドバイス

- シートベルトがロックしたまま引き出せないときは，一度ベルトを強く引いてからベルトをゆるめ，再度ゆっくりと引き出してください。

2. ベルトがねじれていないか確認した後，プレートをバックルにカチッと音がするまではめ込みます。

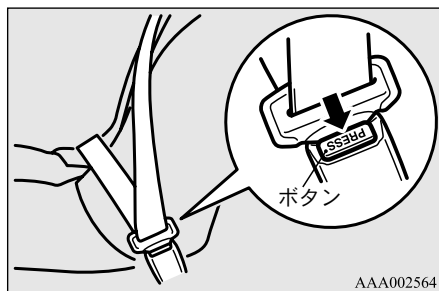
AAA002548

3. 腰部ベルトを腰骨のできるだけ低い位置にかけ，ベルトを引いて腰部に密着させます。

AAA002551

◆ 外すときは

J00507900328

プレートを持ってバックルのボタンを押します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

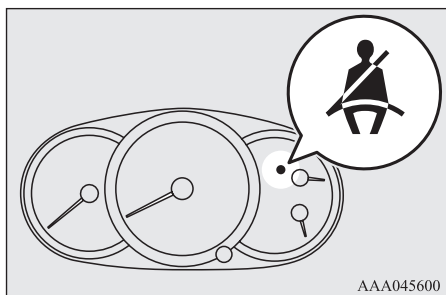
AAA002564

⚠警告

- お子さまをシートベルトで遊ばせないでください。
  ベルトを身体に巻き付けたりして遊んでいると，窒息などの重大な傷害を受けるおそれがあります。
  万一，シートベルトが外せなくなったときは，はさみなどでベルトを切断してください。

◆ シートベルト警告

J00509700535

運転席のシートベルトを着用しないままエンジンスイッチをONにすると, 警告灯が点灯し, 約6秒間ブザーが鳴ってシートベルトの着用を促します。
そのままシートベルトを着用せずに走行したとき, エンジンスイッチをONにしてから約 1 分が経過していると警告灯が点灯・点滅を繰り返し, ブザーが断続的に鳴ります。
警告灯とブザーの警告は約90秒で止まります。
その後, シートベルトを着用しないまま停車・発進を繰り返すと, 発進するたびに警告灯とブザーによってシートベルトの着用を促します。また, 走行中にシートベルトを外しても同じようにシートベルトの着用を促します。
シートベルトを着用すれば警告は止まります。

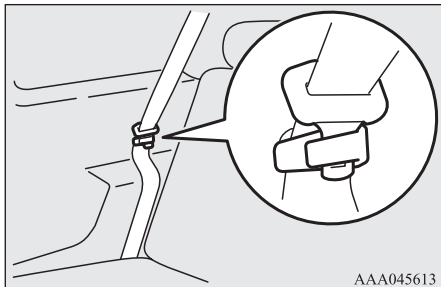
AAA045600

5

リヤシートベルトの格納のしかた

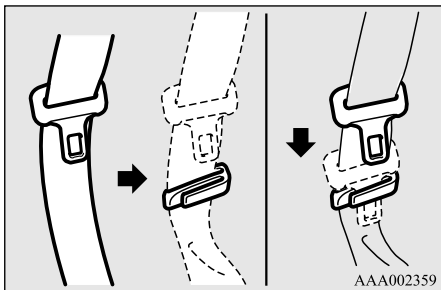
J00505400055

シートベルトを使用しないときは, プレートを図のように格納してください。

格納場所

AAA045613

格納方法

後ろ側の切り込みにベルト部を通した後, 前側の切り込みにプレートを差し込みます。

AAA002359

前席プリテンショナー／前席ロードリミッター付シートベルト

J00505700771

前席プリテンショナーシートベルトは，運転席および助手席に装備されています。

前席プリテンショナー

J00512800064

前席プリテンショナーシートベルトは，エンジンスイッチが ON のときに運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方より受けたときに，シートベルトを瞬時に引き込み，シートベルトの効果をいっそう高める装置です。

⚠警告

- 前席プリテンショナーシートベルトの効果を十分に発揮させるため，つぎのことをお守りください。
  - シートを正しい位置に調整してください。
    →「フロントシート」P. 5-3
  - シートベルトを正しく着用してください。
    →「シートベルト」P. 5-9
- 前席プリテンショナーシートベルトやフロアコンソール付近の修理，カーオーディオ等の取り付けをする場合はプリテンショナーに影響をおよぼすおそれがありますので，日産販売会社にご相談ください。

⚠注意

- 廃車するときは日産販売会社へご相談ください。前席プリテンショナーシートベルトが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。

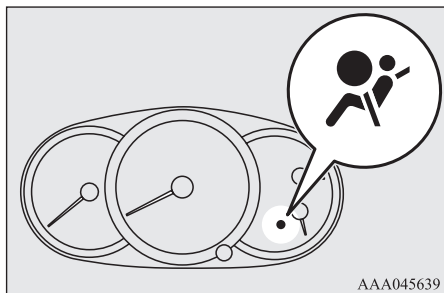
アドバイス

- 前席プリテンショナーシートベルトはシートベルトを装着していなくても，前方からの強い衝撃を受けると作動します。
- 前席プリテンショナーシートベルトは一度作動すると再使用できません。
  日産販売会社で運転席，助手席側を同時に交換してください。

SRS エアバッグ／前席プリテンショナー警告灯

J00510000192

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよび前席プリテンショナーが作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯は前席プリテンショナー警告灯と兼用しています。

⚠警告

- 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
  衝突したときなどにSRSエアバッグおよび前席プリテンショナーシートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので日産販売会社で点検を受けてください。
  - エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
  - 走行中に警告灯が点灯する

前席ロードリミッター

J00510100047

衝突時に，シートベルトにかかる荷重を効果的に吸収し，乗員への衝撃をやわらげる装置です。

チャイルドシート

J00506000960

⚠警告

- シートベルトを着けたとき肩部ベルトが首，あご，顔などに当たる場合や，腰部ベルトが腰骨にかからないような小さなお子さまは通常のシートベルトでは衝突のとき強い圧迫を受け，シートベルトにより重大な傷害を受けるおそれがあります。体格に合ったチャイルドシートを使用してください。
- 6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。

⚠注意

- フロントシートを後方へ移動したり背もたれを倒すときは，チャイルドシートに座ったお子さまに十分注意してください。
お子さまがシートとチャイルドシートの間にはさまれるおそれがあります。

チャイルドシートにはチャイルドセーフティシート（前向き用）・（後向き用），ジュニアセーフティシートの 3 種類があります。チャイルドシートはお子さまの体格によりお使いになれる種類が異なります。また，シートの形状，サイズによっては固定できない場合があります。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

<選択の目安>

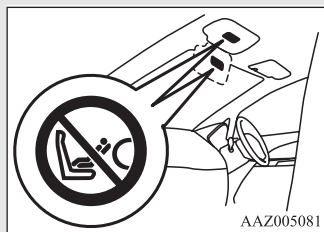
	体重(kg)	参考身長(cm)	参考年齢
チャイルドセーフティシート(後向き用)	新生児~13未満	新生児~85未満	新生児~18か月頃
チャイルドセーフティシート(前向き用)	9~18以下	70~100以下	9か月頃~4才頃
ジュニアセーフティシート	15~36以下	100~150以下	3才頃~12才頃

アドバイス

● 上記の表は体重・身長・年齢の目安を示しています。各製品により使用条件が異なりますので，必ず確認してください。

⚠警告

- 助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドセーフティシートは絶対に取り付けないでください。
  また，幼児用シート（チャイルドセーフティシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
  助手席 SRS エアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドセーフティシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドセーフティシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

⚠警告

- やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドセーフティシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

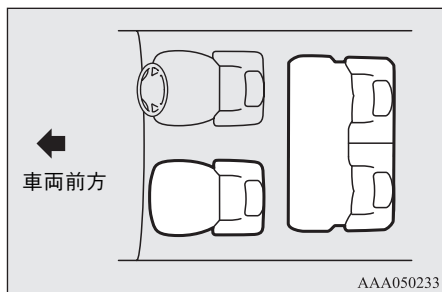
5

チャイルドシートの取り付け方

J00508800092

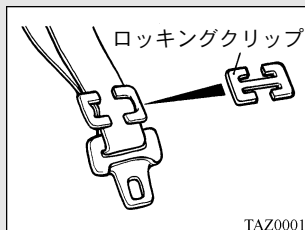
チャイルドシートを取り付けるときは，つぎの手順で確実に取り付けてください。

◆ 取り付け可能な席

AAA050233

◆ 取り付けるときは

⚠警告

- チャイルドシートの種類によって取り付け方法が異なります。必ずチャイルドシートの取扱説明書に従って正しく取り付けてください。
  チャイルドシートによってはチャイルドシートに付属のロッキングクリップでの固定が必要です。

TAZ000186

1. チャイルドシートを取り付けたい席に置きます。
2. チャイルドシートに添付の取扱説明書に従って，チャイルドシートをシートベルトで固定します。
3. チャイルドシートを前後左右にゆすり，確実に固定されていることを確認します。

◆ 取り外すときは

プレートをバックルから外して，シートベルトをチャイルドシートから取り外します。
ベルトは自動的に巻き取られますので，プレートに手を添えて，ゆっくり戻してください。

5

SRSエアバッグ

J00506600881

SRSとはSupplemental Restraint Systemの略語で補助拘束装置の意味です。

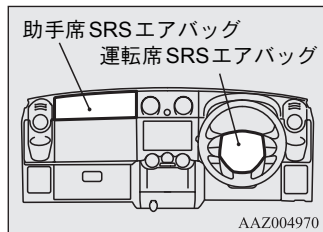
運転席・助手席SRSエアバッグシステム

エンジンスイッチがONのときに，運転者または助手席同乗者に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに，シートベルトの働きを補って，運転者または助手席同乗者の頭部や胸部への衝撃をやわらげる装置です。

⚠警告

- SRSエアバッグはシートベルトに代わるものではありません。シートベルトは必ず着用してください。
  シートベルトをしていないと急ブレーキなどで身体が前方へ放り出されることがあり，その際にSRSエアバッグが膨らむとその強い衝撃で命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。シートベルトはつぎの理由により必ず着用してください。
  - SRSエアバッグが膨らんだとき，シートベルトがあなたの身体を正しい位置に保ちます。
  - SRSエアバッグが作動しないときでも，シートベルトによりけがを軽減することができます。
- シートは正しい位置に調整し，背もたれに背中をつけた正しい姿勢でシートに座ってください。
  SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRSエアバッグに近づきすぎた姿勢で乗車していると SRS エアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
- SRSエアバッグ構成部品およびその周辺は膨らんだ後，高温になりますのでさわらないでください。やけどをするおそれがあります。

⚠注意

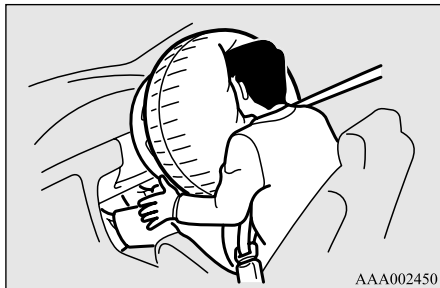
- SRSエアバッグが収納されている部分に傷がついていたり，ひび割れがあるときは日産販売会社で点検を受けてください。
  衝突したときなどにSRSエアバッグが正常に作動せずけがをするおそれがあります。

アドバイス

- SRSエアバッグは非常に速い速度で膨らむため，SRSエアバッグとの接触によりすり傷や打撲などを受けることがあります。
- SRSエアバッグが膨らむときかなり大きな音がし，白煙が出ますが火災ではありません。また人体への影響もありません。
  ただし，呼吸器系の疾患がある人や皮膚が弱い人の場合，一時的にのどや皮膚に刺激を感じることがあります。また，残留物（カスなど）が目や皮膚など身体に付着したときは，できるだけ早く水で洗い流してください。
  皮膚が弱い人の場合，まれに皮膚を刺激することがあります。
- 膨らんだSRSエアバッグはすぐにしぼむので視界を妨げません。
- SRSエアバッグは一度膨らむと再使用できません。日産販売会社でSRSエアバッグ構成部品を交換してください。
- 衝撃や助手席SRSエアバッグが膨らむことにより，前面ガラスが破損する場合があります。

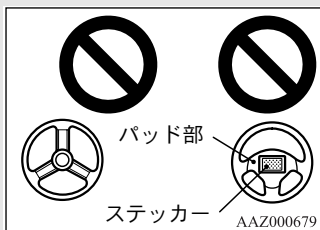
運転席SRSエアバッグシステム

J00506700387

運転席SRSエアバッグはハンドルの中に装備されています。

AAA002450

⚠警告

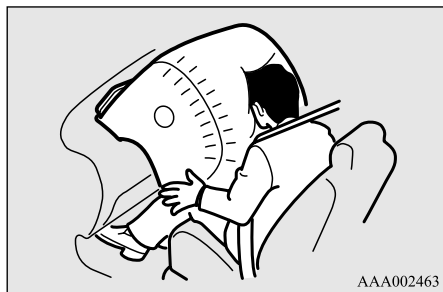
● ハンドルの交換や，パッド部にステッカーを貼ったり，カバーを付けることはしないでください。SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

AAZ000679

● ハンドルに顔や胸を近づけた姿勢で運転しないでください。
SRSエアバッグが膨らむ際，エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

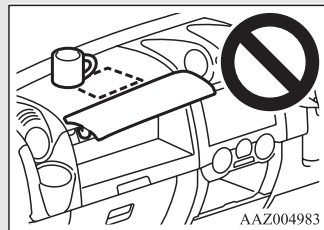
助手席SRSエアバッグシステム

J00506800766

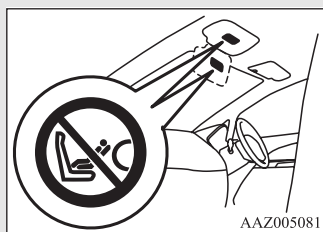
助手席SRSエアバッグは助手席アッパーボックス上のインストルメントパネルの中に装備されています。
助手席SRSエアバッグは同乗者がいなくても運転席SRSエアバッグと同時に作動します。

AAA002463

⚠警告

● インストルメントパネルの上に物を置いたり，前面ガラスやルームミラーにアクセサリーなどを取り付けたりしないでください。SRSエアバッグが膨らむときにこれらの物が飛んで重大な傷害を受けるおそれがあります。
また，インストルメントパネルの上にステッカーを貼ったり，助手席アッパーボックスを開けたまま走行しないでください。SRSエアバッグが正常に膨らむのを妨げるおそれがあります。

AAZ004983

⚠警告

- お子さまを乗せるときには，必ずつぎのことをお守りください。SRS エアバッグが膨らむときの強い衝撃でお子さまの命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。
  - •お子さまはリヤシートに座らせて必ずシートベルトを着用させてください。
  - •シートベルトを正しく着用できない小さなお子さまには，チャイルドシートをリヤシートに装着してご使用ください。
  - •6 才未満のお子さまはチャイルドシートの使用が法律で義務付けられています。
  - •助手席に乳児用シート（ベビーシート）など後ろ向き装着のチャイルドセーフティシートは絶対に取り付けないでください。
    また，幼児用シート（チャイルドセーフティシート）など前後向きとも装着可能なシートでも後ろ向きには絶対に取り付けないでください。
    助手席SRSエアバッグが膨らむとき，強い力が後ろ向きチャイルドセーフティシートの上部にかかり，背もたれに押しつけられて命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

- 助手席に後ろ向き装着のチャイルドセーフティシートを取り付けることを禁止するラベルが，サンバイザーに貼り付けてあります。

  - •やむを得ず助手席に前向き装着のチャイルドセーフティシートを取り付ける場合は，助手席を一番後ろの位置にして取り付けてください。

⚠警告

● 助手席同乗者は，シートの前端に座ったり，インストルメントパネルに手や足を乗せたり，顔や胸を近づけた姿勢で座らないでください。また，お子さまをインストルメントパネルの前に立たせたり，ひざの上に抱いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際，SRS エアバッグにより命にかかわる重大な傷害を受けるおそれがあります。

TAZ000085

TAZ000098

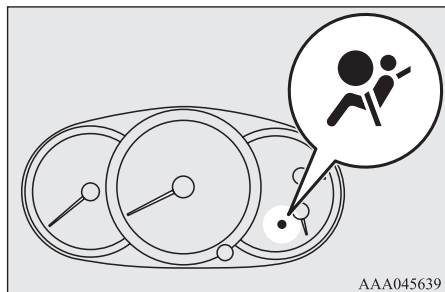
● 助手席同乗者は，かばんなどの荷物をひざの上にかかえるなど，SRS エアバッグとの間に物を置いたりしないでください。SRS エアバッグが膨らむ際に物が飛ばされ重大な傷害を受けるおそれがあります。

SRS エアバッグ／前席プリテンショナー警告灯

J00507300768

正常なときはエンジンスイッチを ON にすると点灯し，数秒後に消灯します。
また，SRS エアバッグおよび前席プリテンショナーが作動すると，点灯したままとなります。
SRS エアバッグ警告灯は前席プリテンショナー警告灯と兼用しています。

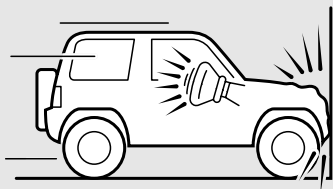
AAA045639

⚠警告

● 警告灯がつぎのようになったときはシステムの異常が考えられます。
衝突したときなどに SRS エアバッグおよび前席プリテンショナーシートベルトが正常に作動せずけがをするおそれがありますので日産販売会社で点検を受けてください。
•エンジンスイッチを ON にしても警告灯が点灯しない，または点灯したまま
•走行中に警告灯が点灯する

運転席・助手席SRSエアバッグシステムの作動条件

J00506900493

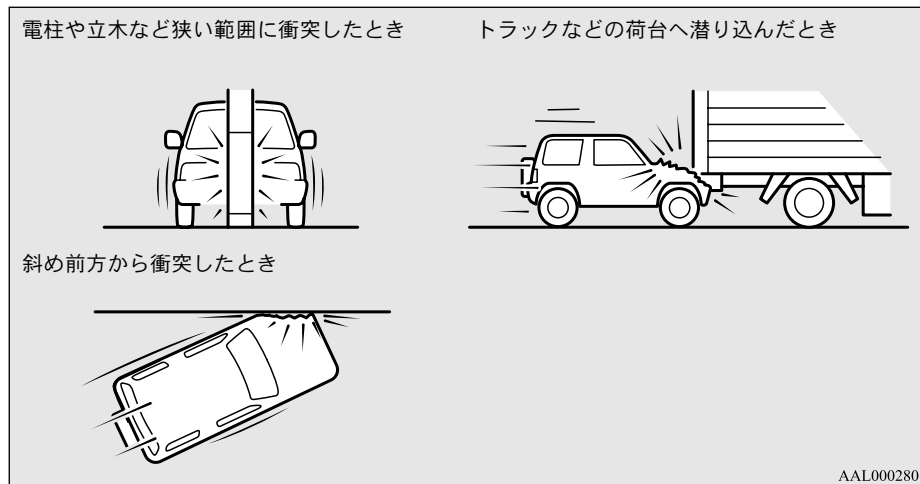
◆ 作動するとき

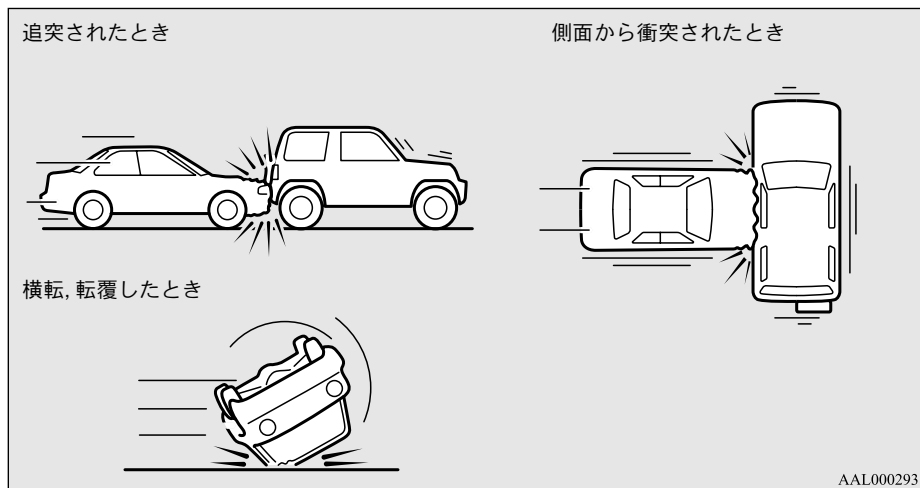
乗員に重大な危害がおよぶような強い衝撃を車両前方から受けたときに作動します。

アドバイス

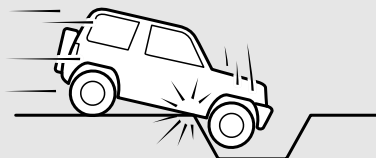
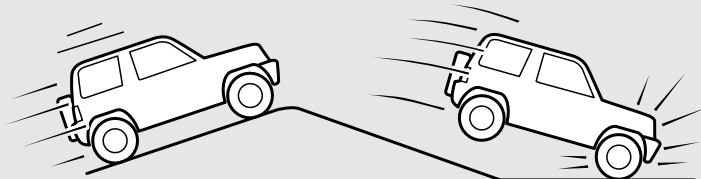
- コンクリートのような固い壁でなく，衝撃を吸収できるもの（車やガードレールのように変形，移動するもの）に衝突した場合は，エアバッグが作動するときの衝突速度（車速）は高くなります。

5

◆ 作動しないことがあるとき

衝突により車両前部が大きく変形しても，衝突した位置や角度，衝突したものの形状や状態などによってSRSエアバッグは作動しないことがあります。車両の変形や損傷の大きさとSRSエアバッグの作動は必ずしも一致しません。

◆ 作動しないとき

SRSエアバッグが膨らんでも乗員保護の効果がないため作動しません。
また，一度作動したSRSエアバッグは，2回目以降の衝突では再作動しません。

◆ 作動することがあるとき

走行中，車両下部に強い衝撃を受けたときに作動することがあります。

取り扱い上の注意

J00507400495

⚠警告

- ハンドル周り，インストルメントパネル，フロアコンソール付近の修理，カーオーディオなどの取り付け，および車両前部の修理をする場合は，SRS エアバッグシステムに影響をおよぼしたり，SRS エアバッグが思いがけなく作動しけがをするおそれがありますので，日産販売会社へご相談ください。
- サスペンションを改造しないでください。車高が変わったり，サスペンションの硬さが変わるとSRSエアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- ステアリングパッドやインストルメントパネル上部など SRS エアバッグ展開部を強くたたくなど，過度の力を加えないでください。
  SRSエアバッグが正常に作動せず重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

- 廃車するときは日産販売会社へご相談ください。SRS エアバッグが思いがけなく作動し，けがをするおそれがあります。
- 電気テスターを使って，エアバッグの回路診断はしないでください。SRS エアバッグの誤作動につながるおそれがあります。
- 無線機の電波などは，SRS エアバッグを作動させるコンピューターに悪影響を与えるおそれがありますので，無線機などを取り付けるときは，日産販売会社にご相談ください。

アドバイス

- お車をゆずられるときは SRS エアバッグ装着車であることを説明し，取扱説明書を車につけておいてください。

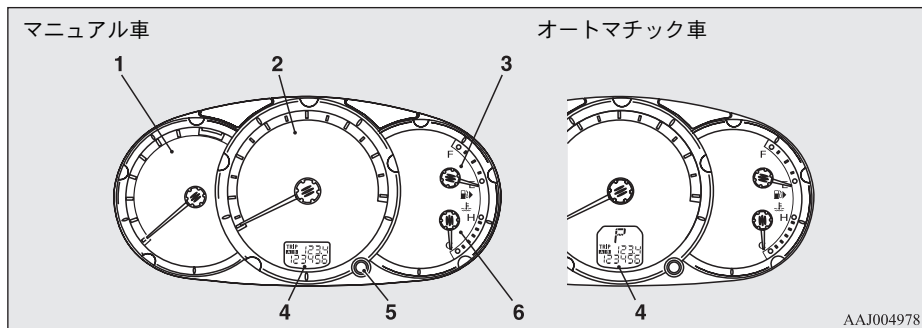
5

メーター・スイッチ

メーター

スイッチ

メーター

J00600100700

1- タコメーター →P. 6-3
2- スピードメーター →P. 6-3
3- 燃料計→P. 6-5
4- オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）→P. 6-3
5- リセットボタン→P. 6-3
6- 水温計→P. 6-6

スピードメーター

J00600200017

走行速度を示します。

タコメーター

J00600300034

毎分のエンジン回転数を示します。

アドバイス

- 指針がレッドゾーン（赤色表示部）にはいらないようにしてください。エンジンの寿命が短くなり，破損するおそれがあります。

オドメーター（積算距離計）／トリップメーター（区間距離計）

J00600600503

エンジンスイッチがONのとき，ODO（オドメーター）表示およびTRIP（トリップメーター）表示をします。

◆ オドメーター

走行した総距離をkm単位で表示します。

◆ トリップメーター

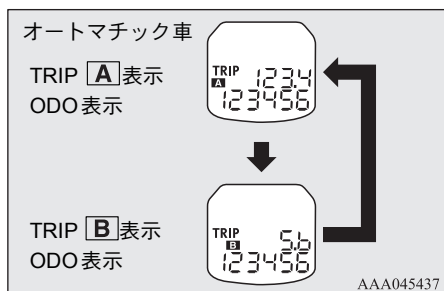
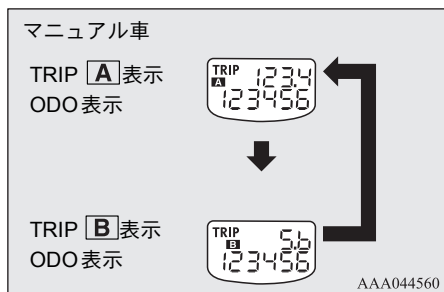
2地点間の走行距離をkm単位で表示します。

TRIP A とTRIP B があります。

表示を切り換えるときは

リセットボタンを軽く（約1秒未満）押すたびに表示が切り換わります。

＜例＞

TRIP A で自宅を出発してからの距離を測りながら，TRIP B で途中の経由地からの距離を測ることができます。

リセットするときは

トリップメーターの表示を 0 に戻すときはリセットボタンを約 1 秒以上押し続けます。この場合，表示されている方だけリセットされます。

＜例＞

TRIP A が表示されていれば TRIP A だけリセットされます。

アドバイス

- トリップメーターはA，B共999.9kmまで計測することができます。
- エンジンスイッチを切った後でもリセットボタンを押すと約30秒間オドメーター／トリップメーターを表示します。
- バッテリー端子を外すと，トリップメーターの A 表示，B 表示とも記憶が消去され，表示が0に戻ります。

燃料計

J00600700416

エンジンスイッチがONのとき，燃料の残量を示します。

F- 満タンです。（約43L）
E- 燃料を補給してください。

⚠警告

- **燃料を入れるときは必ずエンジンを止めてください。たばこ，ライターなど火気は使用しないでください。**

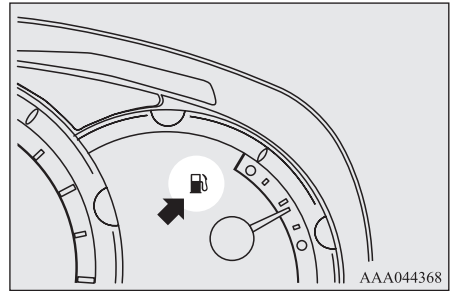
⚠注意

- 燃料切れを起こすと触媒装置に悪影響を与えるおそれがあります。警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。
→「燃料残量警告灯」P. 6-5

アドバイス

- 坂道やカーブなどでは，タンク内の燃料が移動するため，指針が振れることがあります。

◆ 燃料残量警告灯

J00605800728

エンジンスイッチがONのとき，燃料が約7L以下になると点灯します。

警告灯が点灯したら早めに燃料を補給してください。

→「フューエルフィラーリッド（燃料補給口）」
P. 4-19

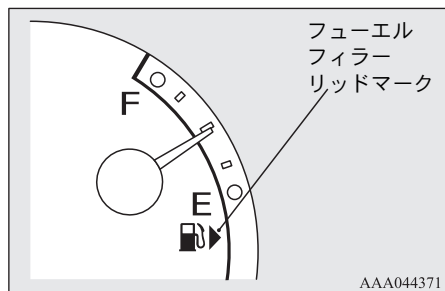
→「メンテナンスデータ：燃料の量と種類」P. 14-2

アドバイス

- 坂道やカーブなどでは，タンク内の燃料が移動するため，正しく表示しないことがあります。

6

◆ フューエルフィラーリッド位置表示

J00605900442

フューエルフィラーリッド（燃料補給口）が車体の右側に付いていることを示しています。
→「フューエルフィラーリッド（燃料補給口）」
P. 4-19

水温計

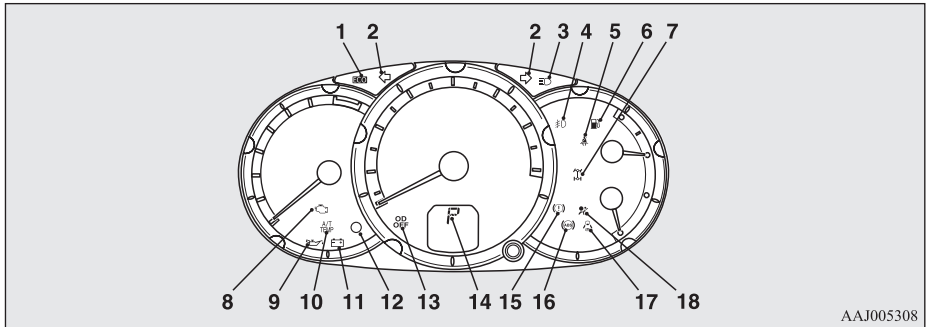
J00600800013

エンジンスイッチがONのとき，エンジン冷却水の温度を示します。

⚠注意

- 指針が「H」表示部に近づいたときはオーバーヒートのおそれがあります。そのまま走行を続けるとエンジン故障の原因となりますので，ただちに安全な場所に車を止め，処置してください。
→「オーバーヒートしたときは!」
P. 13-22

表示灯・警告灯

J00601501160

1- ECOインジケーター →P. 6-8
2- 方向指示表示灯／非常点滅表示灯→P. 6-8
3- ヘッドライト上向き表示灯→P. 6-8
4- フロントフォグランプ表示灯→P. 6-8
5- シートベルト警告灯→P. 5-12
6- 燃料残量警告灯→P. 6-5
7- 4WD作動表示灯→P. 7-21
8- エンジン警告灯→P. 6-9
9- 油圧警告灯→P. 6-9
10- A/T油温警告灯（A/T車）→P. 6-10
11- 充電警告灯→P. 6-9
12- セキュリティーインジケーター →P. 4-9
13- オーバードライブOFF表示灯（A/T車）→P. 7-15
14- ATシフトポジションインジケーター（A/T車）→P. 7-13
15- ブレーキ警告灯→P. 6-8
16- ABS警告灯→P. 7-27
17- 半ドア警告灯→P. 6-10
18- SRSエアバッグ／前席プリテンショナー警告灯→P. 5-21

A/T：オートマチックトランスミッション

4WD車：4輪駆動車

表示灯

J00601600018

方向指示表示灯／非常点滅表示灯

J00601700325

方向指示レバー，非常点滅灯を作動させると点滅します。

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので日産販売会社で点検を受けてください。

6

ヘッドライト上向き表示灯

J00601800010

ヘッドライトを上向きにすると点灯します。

フロントフォグランプ表示灯

J00601900053

フロントフォグランプを点灯させると表示灯が点灯します。

ECOインジケーター

J00620500074

燃費に良い運転状態のときに表示されます。

警告灯

J00602500085

ブレーキ警告灯

J00602600897

エンジンスイッチをONにすると点灯し，数秒後に消灯します。
走行する前に，必ず警告灯が消えていることを確認してください。
エンジンをかけても，つぎのようなときは点灯します。

- パーキングブレーキをかけたままのとき
- ブレーキ液が不足しているとき

⚠注意

- つぎの場合はブレーキの効きが悪くなったり，急ブレーキをかけたとき車体姿勢が不安定になるおそれがありますので，急ブレーキや高速走行を避けただちに車を安全な場所に止めて日産販売会社へご連絡ください。
  - パーキングブレーキをかけても点灯しないときや戻しても消灯しないとき。
  - 走行中ブレーキ警告灯が点灯したまま消灯しないとき。
- ブレーキの効きが悪い場合はつぎの処置により車を止めてください。
  - ブレーキペダルを通常より強く踏んでください。
    ブレーキペダルが奥まで踏み込まれた状態になることがありますが，そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
  - 万一，ブレーキが効かないときは，エンジンブレーキでスピードを落としてからパーキングブレーキを慎重にかけてください。
    このとき後続車に注意を促すため，ブレーキペダルを踏んでストップランプを点灯させてください。

エンジン警告灯

J00602700755

エンジン制御装置に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。走行中はアクセルペダルを踏んでもスピードが出なくなることがあります。停車時はアイドリング回転数が高くなり，オートマチック車はクリープ現象が強くなることがあるため，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。

充電警告灯

J00602800033

充電系統に異常があると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車し，日産販売会社へご連絡ください。

油圧警告灯

J00602900047

エンジン回転中，エンジンオイルの圧力が低下すると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

⚠注意

- エンジンオイルが不足したまま運転したり，エンジンオイルの量が正規であっても点灯したままで運転するとエンジンが焼き付き，破損するおそれがあります。
- エンジン回転中に点灯したときは，ただちに安全な場所に停車しエンジンを止め，エンジンオイル量を点検してください。
（点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。）
- エンジンオイル量が正常で点灯するときは，日産販売会社へご連絡ください。

アドバイス

- 油圧警告灯はオイル量を示すものではありません。オイル量の点検は必ずオイルレベルゲージで行ってください。

6

A/T油温警告灯

J00606700043

A/T車

A/T：オートマチックトランスミッション

A／T TEMP

オートマチックトランスミッションオイルの温度が高くなると点灯します。
正常なときはエンジンスイッチをONにすると点灯し，エンジンをかけると消灯します。

アドバイス

- 走行中に点灯したときは，車を安全な場所に止め，セレクトレバーをⓅに入れてエンジンをかけたままエンジンフード（ボンネット）を開けて冷やします。消灯したら元のように走行できます。
消灯しないときや，たびたび点灯するときは日産販売会社で点検を受けてください。

半ドア警告灯

J00603200513

いずれかのドアまたはバックドアが完全に閉められていないときに点灯します。
半ドアのまま車速が約8km/h以上になると，警告灯が16回点滅すると同時にブザーが「ピー，ピー」と16回鳴り，半ドアを知らせます。

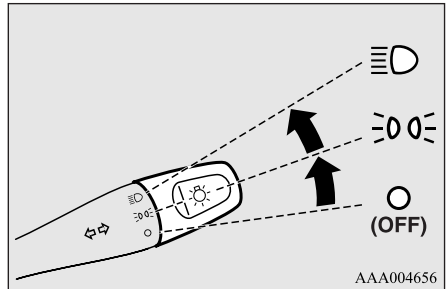
⚠注意

- 走行する前に，警告灯が消灯していることを確認してください。

ライトスイッチ

J00604000811

エンジンスイッチの位置に関係なく使用できます。
レバー先端のツマミを回すと下表の○印のランプが点灯します。

ツマミの位置		
ヘッドライト	○	—
車幅灯	○	○
尾灯	○	○
番号灯	○	○
計器類照明灯	○	○

⚠注意

- 点灯中および消灯直後は，レンズの表面が高温になっているため触らないでください。やけどをするおそれがあります。

アドバイス

- 雨の日や洗車後などにレンズ内側が曇ることがあります。これは湿気の多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。ランプを点灯すると熱で曇りは取れます。ただし，ランプ内に水がたまっているときは日産販売会社で点検を受けてください。

ヘッドランプ[*1]オートオフ機構（自動消灯）

J00606000727

[*1] ヘッドライトや車幅灯などの車外照明

- ライトスイッチが≣Dまたは≡D0≡の位置でも，エンジンスイッチをOFFにし，運転席ドアを開くと，ランプ類が自動的に消灯します。
  - キーを抜き運転席ドアを開いた場合は，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
  - キーを差したまま運転席ドアを開いた場合は，ブザーが断続的に「ピピッ，ピピッ」と鳴り，キーの抜き忘れを知らせます。
- ライトスイッチが≣Dまたは≡D0≡の位置でも，エンジンスイッチをOFFにし，運転席ドアを開かないまま約3分たつとランプ類が自動的に消灯します。

◆ 降車後，照明として利用するときは

降車後も約3分間ランプ類を点灯させておくことができます。

1. ライトスイッチとエンジンスイッチをOFFにします。
2. ライトスイッチを≣Dの位置にし，降車します。

アドバイス

- ライトスイッチを≡D0≡位置にすると降車後照明として利用できません。（自動消灯せず通常通り，ランプ類が点灯し続けます。）
- 運転席から降車するとき，キーが抜かれていればヘッドランプ消し忘れ警報ブザー（ピーッ）が鳴り，キーが差さっていればキー抜き忘れ警報ブザー（ピピッ，ピピッ）が鳴りますが，ドアを閉じれば止まります。

3. 約3分後にランプ類が自動消灯します。

アドバイス

- つぎの機能を変更することができます。詳しくは日産販売会社にご相談ください。
  - ライトスイッチが≡D0≡位置でも降車後照明として利用できるようにする。
  - ランプ類のオートオフ機構を働かなくする。

6

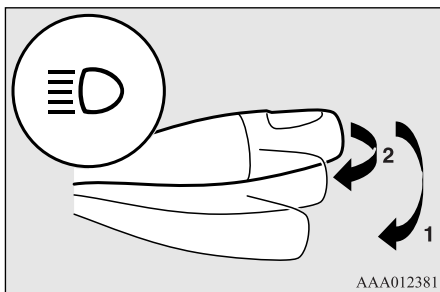
ヘッドランプ消し忘れ警報

J00606100193

ライトスイッチが≣Dまたは≡D0≡の位置のままでキーを抜き，運転席のドアを開くと，ブザーが「ピーッ」と鳴り，ランプ類の消し忘れを知らせます。
ヘッドランプオートオフ機構が働く，ライトスイッチをOFFにする，またはドアを閉じればブザーは止まります。

上下切り換え

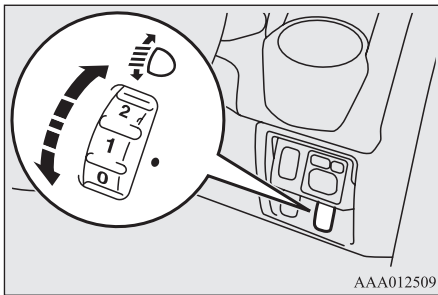
J00606200370

レバーを(1)まで引くたびにヘッドライトの照らす方向が上向き，下向きと交互に切り換わります。
レバーを(2)まで軽く引くと，引いている間ヘッドライトが上向きになり，メーター内の表示灯も点灯します。

アドバイス

- ライトスイッチが O (OFF) 位置でも，レバーを(2)まで軽く引いている間ヘッドライトが上向きで点灯します。
- ヘッドライトを上向きにしたまま戻し忘れても，次回ライトスイッチを≣Dの位置にすると必ず下向きで始まります。

ヘッドランプレベライザースイッチ

J00604100737

ヘッドライトの照らす方向（光軸）は，乗員の人数や荷物の重さなどによって変化します。人や荷物をのせて，ヘッドライトの光軸がいつもより上向きになった場合は，スイッチを回してヘッドライトの光軸を下向きに調整します。
スイッチの数字が大きくなるほど下向きになります。

乗員の人数や荷物の重さに応じて下記の表を目安にスイッチ位置を調整してください。
人や荷物をおろした後は，必ずスイッチを“0”の位置に戻してください。

⚠注意

- 調整は必ず走行前に行ってください。走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

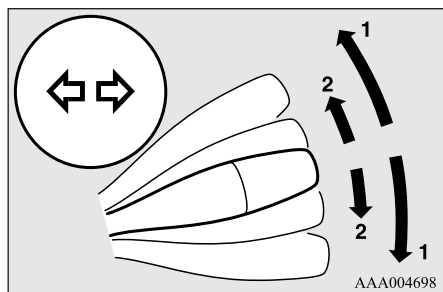
乗員や荷室の積載状態		スイッチ位置
	運転席乗車時	0
	運転席＋助手席乗車時	1
	全席乗車時	2
	全席乗車時＋荷室最大積載時	2
	運転席乗車時＋荷室最大積載時（後席折りたたみ）	3

アドバイス

- 車検等で光軸調整をするときは，スイッチを“0”の位置（光軸が一番上向きの位置）にしてから行ってください。

方向指示レバー

J00604200608

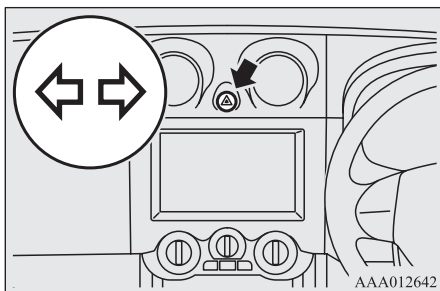
エンジンスイッチが ON のときにレバーを(1)まで操作すると，方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。
レバーはハンドルを戻すと自動的に戻ります。ゆるいカーブなどで戻らないときは手で戻してください。
車線変更などのときは，レバーを(2)まで軽く操作すると操作している間だけ方向指示灯とメーター内の表示灯が点滅します。

1- 方向指示
2- 車線変更

アドバイス

- 点滅が異常に早くなったときは，方向指示灯の球切れが考えられますので日産販売会社で点検を受けてください。
- 方向指示灯の点滅に合わせて鳴るブザー音を変更することができます。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

非常点滅灯スイッチ

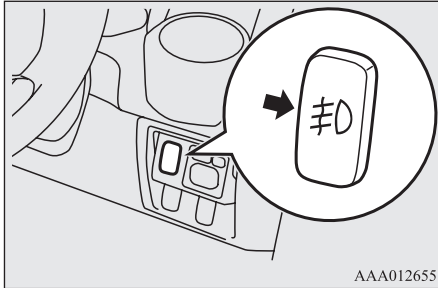
J00604300524

故障したときなど，やむを得ず路上に車を止めたいときに使用します。
スイッチを押すとすべての方向指示灯が点滅し，メーター内の表示灯も点滅します。もう一度押すと消灯します。

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長時間使用するとバッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- 方向指示灯の点滅に合わせて鳴るブザー音を変更することができます。
詳しくは日産販売会社にご相談ください。

フロントフォグランプスイッチ

J00604500395

霧の出ているとき，雨や雪などの降る夜間など視界が悪いときに使用します。
ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときにスイッチを押すと，フロントフォグランプが点灯し，メーター内の表示灯も点灯します。消灯するときはもう一度スイッチを押します。

AAA012655

アドバイス

- ヘッドライトと尾灯が消灯すると，フロントフォグランプも自動消灯します。
  再度点灯させたいときは，ヘッドライトまたは尾灯が点灯しているときに，もう一度スイッチを押します。

ワイパー／ウオッシャースイッチ

J00604800880

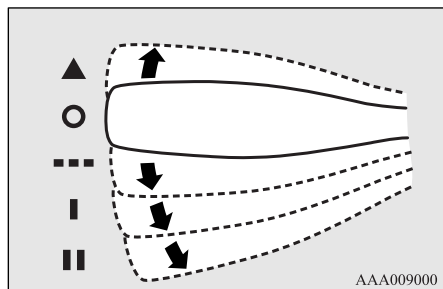
エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

注意

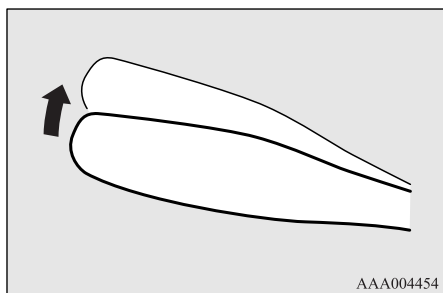
- 寒冷時にウオッシャーを使用するとガラスに噴きつけられたウオッシャー液が凍結し，視界を妨げることがあります。ウオッシャー使用前にヒーターやリヤウインドウデフォッガーを使って，ガラスを暖めてください。

アドバイス

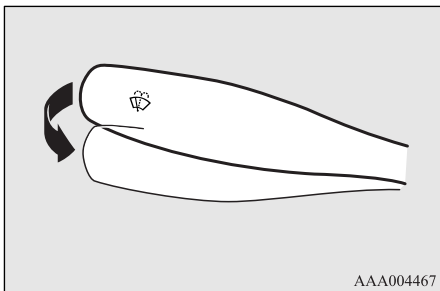
- ガラスがほこりや泥で汚れているときは，洗車するかウオッシャー液を噴射してからワイパーを使用してください。
  汚れたままでワイパーを動かすとガラスに傷がつくことがあります。
- ウオッシャー液が出ないとき，ウオッシャースイッチを操作し続けるとポンプが故障するおそれがあります。ウオッシャー液量やノズルのつまりを点検してください。
  →「ウオッシャー液の点検・補給」
  P. 11-3
- 凍結などでワイパーブレードがガラスに張り付いたまま作動させないでください。ガラスに張り付いたまま作動させるとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーターが故障するおそれがあります。
  凍結のおそれがあるときや長時間ワイパーを使用しなかったときは，ワイパーブレードがガラスに張り付いていないことを確認してください。
- ワイパーを作動中，積雪等によりワイパーブレードが途中で止まったときはワイパースイッチをOFFにしてもモーターに電流が流れておりエンジンスイッチをOFFにしないとモーターが焼き付くことがあります。必ず車を安全な場所に止めてエンジンスイッチを OFF にし，ワイパーブレードが作動できるように積雪等を取り除いてください。

フロントワイパースイッチ

▲ 1回作動（ワイパーミスト機能）
o 停止
--- 間けつ作動（約4秒おき）
ı 低速作動
ıı 高速作動

◆ ワイパーミスト機構

レバーを▲位置に上げて離すとワイパーが1回だけ作動します。霧雨のときなどにご使用ください。レバーを▲位置に上げている間はワイパーが連続作動します。

フロントウオッシャースイッチ

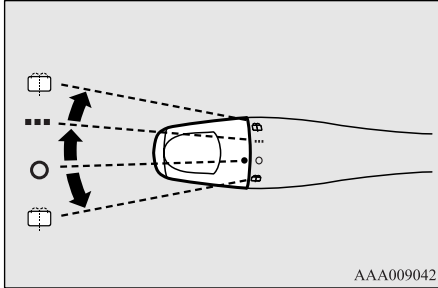
J00604900676

レバーを手前に引いている間ウオッシャー液が噴射します。
ワイパーが作動していないときや間けつ作動中にウオッシャー液を噴射するとワイパーが数回作動します。

アドバイス

- ワイパーを作動させずにウオッシャー液を噴射するときは，レバーを手前に引いた状態でエンジンスイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウオッシャー液のみが噴射します。

リヤワイパー／ウオッシャースイッチ

J00605000791

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。

AAA009042

レバー先端のツマミを回すとつぎの通り作動します。

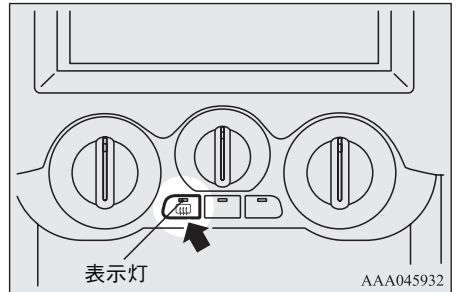
- ╍ 間けつ作動
  数回作動し，その後約8秒おきに作動
- o 停止
- ⧈ この位置に回している間，ウオッシャー液を噴射。同時にワイパーが数回作動。

アドバイス

- 後方の視界を確保するため，╍の位置で間けつ作動中にシフトレバーまたはセレクトレバーをⓇに入れるとワイパーが自動的に数回作動し，その後間けつ作動に戻ります。
- ワイパーを作動させずにウオッシャー液を噴射するときは，レバー先端のツマミを⧈の位置に回した状態でエンジンスイッチを ON または ACC にするとワイパーは連動せず，ウオッシャー液のみが噴射します。

リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ

J00605500565

リヤガラスにプリントされた電熱線でガラスを暖めて曇りを取ると同時に，ガラス表面の霜や氷を取り除きやすくします。
エンジンスイッチが ON のときにスイッチを押すと作動し，表示灯が点灯します。もう一度押すとスイッチが切れます。

AAA045932

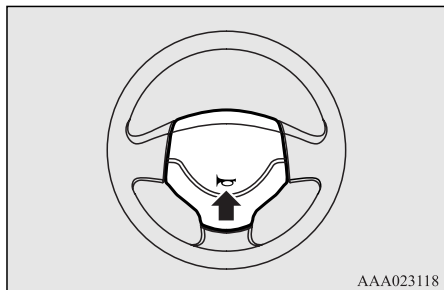
ヒーター付ドアミラー付き車は，デフォッガースイッチを押すと同時にドアミラーの曇りも取ることができます。
→「ヒーター付ドアミラー」P. 7-5

アドバイス

- エンジン停止時に使用しないでください。バッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  長時間使うとバッテリー電圧が低下し，エンジンがかかりにくくなることがあります。
- リヤガラス付近に物を置かないでください。車の振動で物が当たると電熱線が切れることがあります。
- リヤガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないように柔らかい布を使い電熱線に沿ってふいてください。

ホーンスイッチ

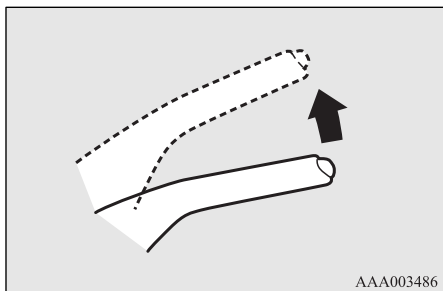
J00605600410

ハンドルの⊳マーク部付近を押すとホーン（警音器）が鳴ります。

運転装置

パーキングブレーキ

J00700101030

かけるときは

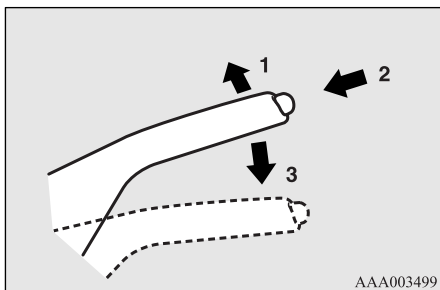
ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押さずにパーキングブレーキレバーをいっぱいまで引きます。

AAA003486

⚠注意

- 坂道に駐車するときはパーキングブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを❶または🅡，オートマチック車はセレクトレバーを🅟に入れてください。
- パーキングブレーキをかけるときはブレーキペダルをしっかり踏み，完全に車を止めてからパーキングブレーキレバーを引いてください。
  車が動いているうちにパーキングブレーキレバーを引くと後輪がロックして車体姿勢が不安定になるおそれがあります。
  また，パーキングブレーキの故障の原因になります。

解除するときは

1. ブレーキペダルを踏んだまま，レバーを少し引き上げ
2. ボタンを押したまま
3. 完全に戻します。

解除したときはメーター内のブレーキ警告灯が消灯していることを確認してください。

AAA003499

⚠注意

- パーキングブレーキをかけたまま運転するとブレーキが過熱し，ブレーキの効きが悪くなるとともにブレーキが故障する原因になります。

ルームミラー

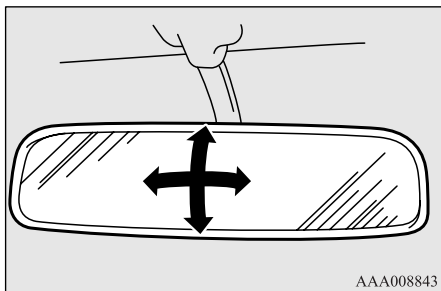
J00700300077

⚠注意

● 調整は必ず走行前に行ってください。
走行中の調整は運転を誤り思わぬ事故につながるおそれがあります。

ミラーの角度調整

ミラーの本体を上下左右に動かして角度を調整します。

AAA008843

ドアミラー

J00700500789

ミラーの角度調整

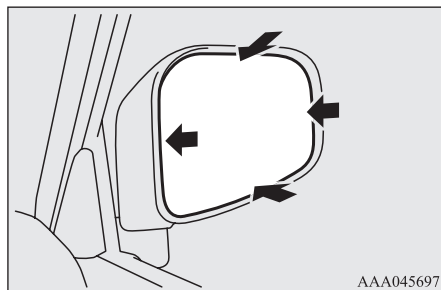
J00718200059

⚠注意

● 調整は必ず走行前に行ってください。
● ドアミラーは凸面鏡を採用しています。
凸面鏡は平面鏡に比べ，物が遠くに見え，実際と距離感覚が異なりますので注意してください。

◆ 除く，電動リモコンドアミラー付き車

ミラーの部分を押して角度を調整します。

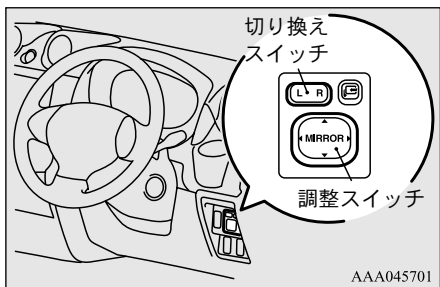
AAA045697

◆ 電動リモコンドアミラー付き車

エンジンスイッチがONまたはACCのときに操作できます。

1. 切り換えスイッチの調整したい側を押します。
   L：左側ミラーの調整
   R：右側ミラーの調整
2. 調整スイッチを押して角度を調整します。

アドバイス

- 調整が終わったら切り換えスイッチの反対側を軽く押して中立位置に戻してください。

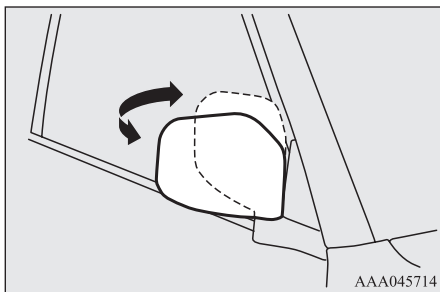
7

ドアミラーの格納・復帰

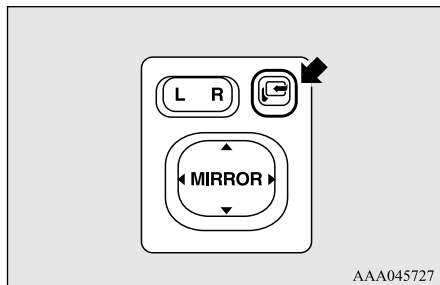
J00718300063

⚠注意

- ミラーを倒したままで運転しないでください。ミラーによる後方確認ができず思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 除く，電動リモコンドアミラー付き車

手でミラーを車両後方に倒して格納します。
戻すときはカチッと音がするまで車両前方へ起こします。

◆ 電動リモコンドアミラー付き車

エンジンスイッチがONまたはACCのとき，格納スイッチを押すとミラーが格納されます。もう一度押すと元の位置に戻ります。

⚠注意

- ミラーは手で倒すことも戻すこともできますが，格納スイッチの操作で倒したミラーは手で戻さず，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
  格納スイッチで倒したミラーを手で戻すとミラーの固定が不完全になり，走行中の振動および風の影響などでミラーが動き，後方の確認ができなくなります。

アドバイス

- ミラーが動いているときは手などを挟まないように注意してください。
- 手でミラーを動かしたり，人や物に当たってミラーが動いたあとは，格納スイッチでミラーを元の位置に戻せないことがあります。
  このようなときは，一度格納スイッチを押してミラーを格納状態にしたあと，再度格納スイッチを押してミラーを元の位置に戻してください。
- 凍結などによりドアミラーが動かないときはミラー格納スイッチを何回も操作しないでください。モーターが焼き付くことがあります。

ヒーター付ドアミラー

タイプ別装備

J00706800292

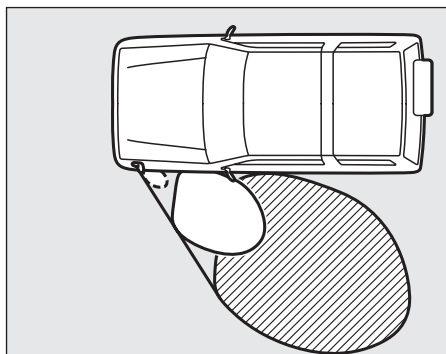
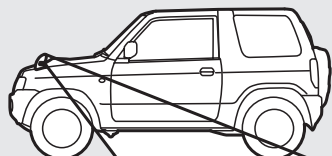
エンジンスイッチが ON のときにリヤウインドウデフォッガースイッチを押すと，ドアミラー内部のヒーターが作動し，ミラーの曇りを取ることができます。
もう一度押すとヒーターは切れます。
→「リヤウインドウデフォッガー（曇り取り）スイッチ」P. 6-17

アドバイス

- エンジン停止時に使用しないでください。バッテリーが上がり，エンジンがかからなくなることがあります。
- この装置は消費電力が大きいので曇りが取れたらスイッチを切ってください。
  長時間使うとバッテリー電圧が低下し，エンジンがかかりにくくなることがあります。
- エンジンスイッチを切っても，リヤウインドウデフォッガースイッチの状態を記憶しています。
  ヒーター付ドアミラーが作動したままエンジンスイッチを切り，再度エンジンスイッチを ON にするとヒーター付ドアミラーが作動を始めます。

サイドアンダーミラー

J00700600139

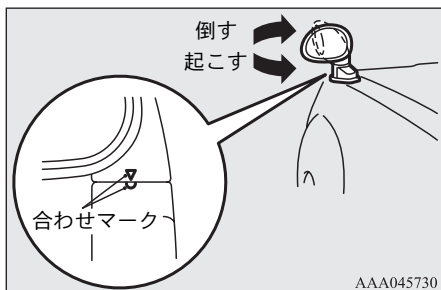
発進時またはごく低速時に助手席側の車両側面を確認するときに使用します。

:地面から約1mの高さ（破線）
:地面から約60cmの高さ（実線）
:地面の高さ（斜線）

⚠注意

- 後方の確認はルームミラー，ドアミラーで行ってください。
- 車の直前，後方および左斜め前方は運転席からでは十分に確認しにくい箇所です。駐車場などで前進または後退を行うときはミラーだけにたよらず，一度車から降りて周りの状況をよく確認して車を動かしてください。
- 信号待ちなどでいったん停止したときでも周りの状況に注意し，安全を十分に確認してから発進してください。

7

サイドアンダーミラーの倒し方，起こし方

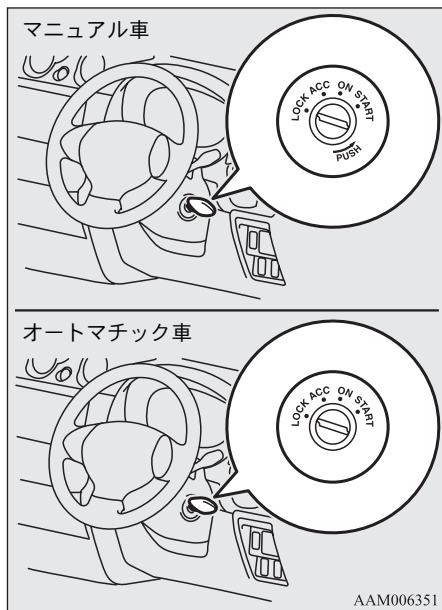
サイドアンダーミラーを手で車両前方に倒すことができます。
起こすときは，サイドアンダーミラー上部と下部の合わせマークが合う位置まで戻します。

⚠注意

- サイドアンダーミラーを倒したままで運転しないでください。

アドバイス

- サイドアンダーミラーの鏡面は固定式です。鏡面を動かしてミラーの調整はできません。

エンジンスイッチ

J00700800795

各位置の働き

LOCK （ロック）	ハンドルがロックされる位置 キーを抜き差しできます
ACC （アクセサリー）	エンジンを止めたままでも電源ソケットなどが使用できる位置
ON （オン）	エンジン回転中の位置 すべての電気系統が働きます
START （スタート）	エンジンを始動する位置 エンジンがかかったらキーから手を離してください。自動的にONの位置へ戻ります

アドバイス

- エンジン停止時はエンジンスイッチをLOCKにしてください。エンジンスイッチをONまたはACCのまま電源ソケットなどの電気製品を長時間使用すると，バッテリー上がりを起こし，エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- エンジンが回転しているときは，キーをSTARTの位置に回さないでください。スターターモーターが破損することがあります。
- キーがLOCKからACCに回らないときはハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。

7

キーを抜くときは

J00706200443

LOCKまで回して抜きます。
オートマチック車はセレクトレバーが🅟でないとキーを抜くことはできません。
マニュアル車はACCの位置でキーを押しながらLOCKまで回して抜いてください。

エンジンのかけ方

J00700901184

⚠警告

- **車庫など周囲が囲まれた換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。**
- **排気音が変わったり，車内でガソリンや排気ガスのにおいが消えない場合は排気系や燃料系の異常が考えられますので，必ず日産販売会社で点検を受けてください。**

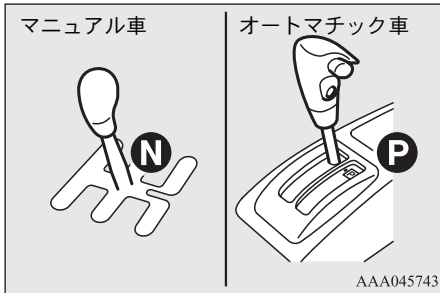
⚠注意

- 窓越しなど車外からエンジンをかけないでください。思わぬ事故につながるおそれがあります。
- エンジン回転中にエンジン警告灯が点灯したときは，高速走行を避けてできるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。
→「エンジン警告灯」P. 6-9

アドバイス

- バッテリー上がりやスターターモーターの故障を防ぐため，STARTにして10秒以上スターターモーターを回さないでください。10秒以上たってもエンジンがかからなかったときは，一旦キーをLOCKに戻し，2～3秒待ってから再度エンジンをかけてください。エンジンやスターターモーターが止まらないうちに始動の操作をくり返すと関連部品の故障の原因となります。
- エンジンが冷えているときや，再始動直後はエンジン保護のため高回転させたり，高速運転は避けてください。
- バッテリー交換後は，エンジンなど電子制御システムの学習内容が消去されるため，エンジン回転数が不安定になる場合があります。
エンジン回転数が不安定になったときは，エンジンの初期調整操作を行ってください。
→「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！」P. 13-27

7

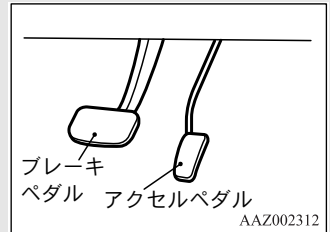
1. 正しい運転姿勢をとります。
   ブレーキペダルが確実に踏め，ハンドル操作が楽にできるように，シート位置を調整します。
   →「フロントシート」P. 5-3
2. パーキングブレーキがかかっていることを確認します。
3. マニュアル車はシフトレバーをⓃに入れてクラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。オートマチック車はセレクトレバーがⓅにあることを確認します。

アドバイス

- オートマチック車はセレクトレバーがⓅ またはⓃ以外ではエンジンがかかりません。
  安全のため車輪が固定できるⓅでエンジンをかけてください。
- マニュアル車はクラッチ・スタートシステムが装着されています。

  クラッチ•スタートシステムとは…
  誤操作を防ぐため，クラッチペダルをいっぱいに踏み込まないとエンジンがかからない装置です。

4. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- オートマチック車はアクセルペダルとブレーキペダルの踏み間違いを防ぐため，各ペダルの位置を右足で確認してください。
  アクセルペダルをブレーキペダルと間違えて踏んだり，両方のペダルを同時に踏んでしまうと，車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。

5. 外気温により，つぎの方法でエンジンをかけます。

通常時

アクセルペダルを踏まずにエンジンスイッチをSTARTに回してエンジンをかけます。

厳寒時

1. アクセルペダルを半分程度踏み込んだままエンジンスイッチを START に回してエンジンをかけます。
2. エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

⚠注意

- 厳寒時などアクセルペダルを踏まないとエンジンがかかりにくい場合でも，エンジンがかかった後はブレーキペダルを踏んでください。

アドバイス

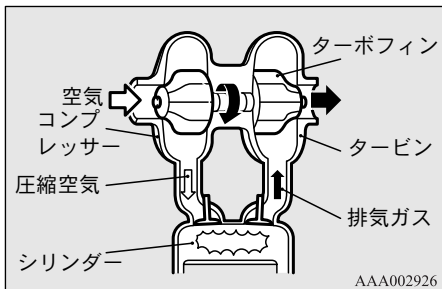
- エンジンがかからないときはつぎの手順に従ってください。
  - アクセルペダルを踏み込んだままエンジンをかけてください。
  - エンジンがかかったらアクセルペダルを徐々に戻してください。

ターボ車の取り扱い

J00701200161

⚠注意

- エンジンをかけた直後は，空ぶかしや急加速などでエンジンを高回転させないでください。
- 高速走行または登坂走行をした後は，低速走行やアイドリング運転でターボが冷えるのを待ってからエンジンを止めてください。

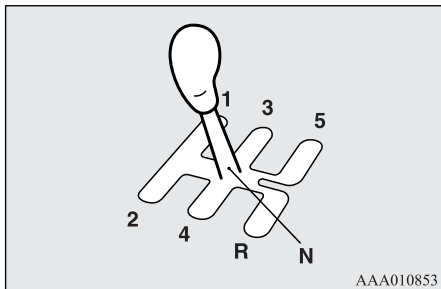
ターボとは…

正式にはターボチャージャーといい，シリンダー内へ大量の空気を過給してより大きなパワーを引きだします。ターボフィンは超高速で回転し，高温下で使われ，潤滑はエンジンオイル，冷却はエンジンオイルと冷却水で行っています。エンジンオイルは定められた時期に交換しないとターボ軸受部の固着，異音の発生などの原因となります。

マニュアルトランスミッション

J00701300205

シフトレバー

シフトレバーは必ずクラッチペダルをいっぱいに踏み込んでから操作してください。

⚠注意

- Ⓡに入れるときは車を完全に停止させてから行ってください。
- Ⓡに入れるとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

アドバイス

- クラッチペダルに常に足をのせ，フットレストがわりにすることは避けてください。クラッチの早期摩耗，損傷の原因となります。
- ギヤが入りにくいときはクラッチペダルを踏み直すと楽に入ります。
- ❺→Ⓡへは直接入れることはできません。
  一度Ⓝにしてから Ⓡへ入れてください。

変速位置とスピード範囲

J00706900323

エンジンを過回転させないため，各シフト位置での速度が下の表の数値を超えないようにしてください。

アドバイス

- 法定速度を守って走行してください。
- 各シフト位置の最低速度はノッキングが発生しない速度で使用してください。

項目	1速	2速	3速	4速
2H, 4H	25 km/h	45 km/h	75 km/h	120 km/h
4L	15 km/h	30 km/h	45 km/h	70 km/h

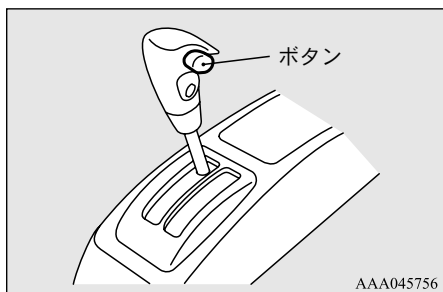
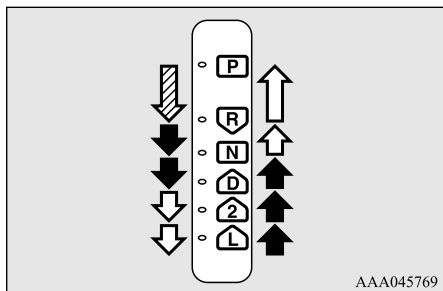
7

オートマチックトランスミッション

J00701900070

「安全なドライブのために：オートマチック車の取り扱い」も合わせてお読みください。→P. 2-14

セレクトレバーの動かし方

J00702000469

AAA045756

AAA045769

⇩（斜線）　ブレーキペダルを踏んだまま，ボタンを押して操作します。

⬇　ボタンを押さずに操作します。

⇩　ボタンを押したまま操作します。

⚠警告

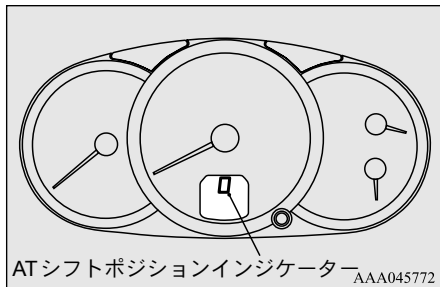
- ⬇の操作は必ずボタンを押さずに行ってください。いつもボタンを押したまま操作すると誤ってⓅ，Ⓡ，❷，Ⓛに入れてしまい，思わぬ事故の原因となり重大な傷害を受けるおそれがあります。
- セレクトレバーをⓃ→ⒹまたはⓃ→Ⓡに操作するときは，安全のため必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

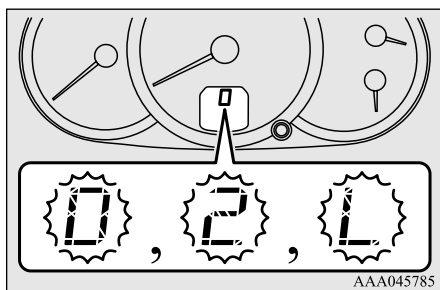
- ブレーキペダルを踏んでいないと，シフトロック装置が働いてⓅから他の位置に操作できません。また，キーがLOCK位置のときはブレーキペダルを踏んでもⓅから他の位置に操作できません。
- ⇩（斜線）の操作はブレーキペダルを先に踏んでから行ってください。ブレーキペダルを踏む前に操作すると，セレクトレバーが動かなくなることがあります。
- ⒹからⓇ，ⓇからⒹおよびⓅに入れるときはブレーキペダルをしっかりと踏み，完全に車を止めてから入れてください。車が動いているうちにⓅやⓇに入れるとトランスミッションの故障の原因になります。

AT シフトポジションインジケーター

J00702100095

セレクトレバーの位置をメーター内に表示します。

走行中に AT シフトポジションインジケーターが点滅したときは

J00712700094

走行中に AT シフトポジションインジケーターが点滅したときはトランスミッションに何らかの異常が発生し，安全装置が働いていると考えられます。できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

アドバイス

- セレクトレバー位置がⓅ, Ⓡ, Ⓝのとき，AT シフトポジションインジケーターは点滅しません。

セレクトレバーの位置・働き

J00702500406

	（パーキング） 駐車およびエンジンをかけるとき	車輪が固定されます。駐車のときは必ずパーキングブレーキをかけてⓅに入れてください。 Ⓟでのみエンジンスイッチからキーが抜けます。
	（リバース） 後退させるとき	Ⓡに入れるとブザーが鳴り，Ⓡにあることを運転者に知らせます。

⚠注意

● ブザーは車外の人には聞こえませんのでご注意ください。

7

	（ニュートラル） 中立	動力が伝達されません。 この位置でもエンジンをかけることができますが安全のためⓅで行ってください。
	（ドライブ） 通常走行	発進から高速走行まで自動的に変速されます。 （1速から3速まで自動的に変速されます。オーバードライブスイッチをONにすると1速から4速まで自動的に変速されます。）
	（セカンド） 下り坂走行	エンジンブレーキが必要なときに使います。 （1速から2速まで自動的に変速されます。）
	（ロー） 急な下り坂走行	強力なエンジンブレーキが必要なときに使います。 （1速のままで変速されません。）

⚠警告

● ぬれた道路や凍結した道路では急激なエンジンブレーキは避けてください。スリップして重大な事故につながるおそれがあります。

アドバイス

● エンジンの過回転を防止するためオートマチックトランスミッションの制御が働き，セレクトレバーを❷，Ⓛへ入れても変速しない場合があります。

オーバードライブスイッチ

J00702700062

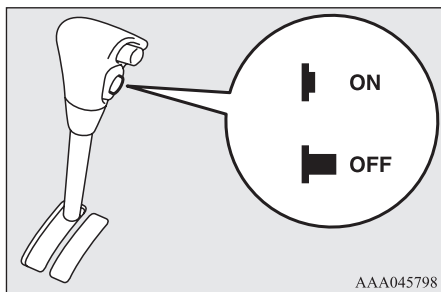
セレクトレバーがⒹのとき働きます。

◆ 通常走行

オーバードライブスイッチを押して ON にします。1 速から 4 速まで自動変速し，燃費の良い経済的な走行ができます。

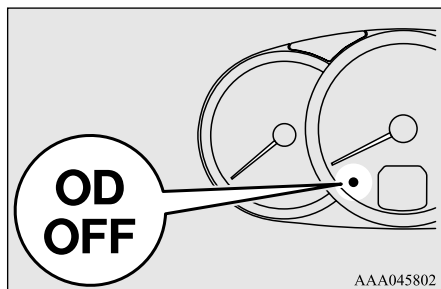
◆ 坂道走行

オーバードライブスイッチを押して OFF にします。1 速から 3 速まで自動変速し，下り坂では軽いエンジンブレーキが得られます。

AAA045798

◆ オーバードライブOFF表示灯

J00713200025

オーバードライブスイッチを OFF にするとメーター内の表示灯が点灯します。

AAA045802

オートマチック車の運転のしかた

J00702901029

発 進

1. ブレーキペダルを右足で踏みます。

⚠警告

- ブレーキペダルは必ず右足で踏んでください。左足でのブレーキ操作は，緊急時の反応が遅れるなど適切な操作ができず，思わぬ事故につながるおそれがあります。

AAZ002224

⚠注意

- セレクトレバーをⓅ，Ⓝ以外の位置（前進または後退の位置）に入れるとクリープ現象により，ブレーキペダルから足を離すとアクセルペダルを踏まなくても車が動き出します。
  特にエアコン作動中などエンジン回転数が高くなるとクリープ現象が強くなりますので，よりしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-14

7

2. セレクトレバーを前進はⒹ，後退はⓇに入れます。

⚠警告

- セレクトレバーの操作は必ずブレーキペダルを右足で踏んだまま行ってください。絶対にアクセルペダルを踏み込んだまま行わないでください。車が急発進し，重大な事故につながるおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

3. セレクトレバーの位置を確認します。

4. 周囲の安全を確認し，パーキングブレーキを解除します。
5. ブレーキペダルを徐々にゆるめ，アクセルペダルをゆっくりと踏み込んで発進します。

◆ 急な上り坂での発進

1. 車が動き出さないようパーキングブレーキをかけたまま，ブレーキペダルから足を離します。
2. アクセルペダルをゆっくり踏みながら，車が動き出す感触を確認し，パーキングブレーキを解除して発進します。

走 行

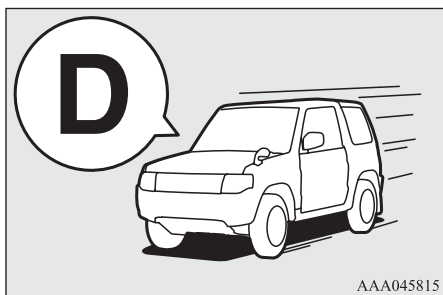
⚠警告

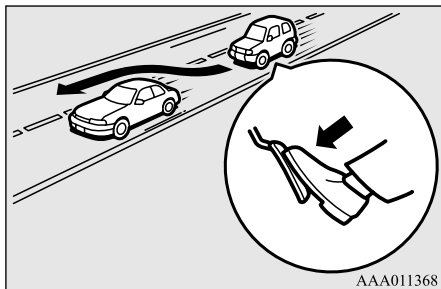
- 走行中はセレクトレバーをⓃに入れないでください。
  エンジンブレーキがまったく効かなくなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
  また，誤ってⓅ，Ⓡに入れてしまった場合，トランスミッションの故障の原因になります。

⚠注意

- セレクトレバーは走行状況に合った正しい位置で使用してください。
  坂道などで，前進の位置（Ⓓ，❷またはⓁ）にしたまま惰性で後退したり，後退の位置Ⓡにしたまま惰性で前進しないでください。
  エンストしてブレーキの効きが非常に悪くなったり，ハンドルが非常に重くなり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

◆ 通常走行

セレクトレバーをⒹで走行します。
発進するとスピードに応じて自動的に変速されます。

◆ 急加速したいとき

アクセルペダルを深く踏み込みます。
自動的に変速比が切り換わって急加速ができます。これをキックダウンといいます。

◆ 上り坂走行

上り坂でスピードを保つためにアクセルペダルを踏み込んでいくと，キックダウンしてエンジン回転が上がることがあります。このようなときは，あらかじめ❷にしておくと，変速回数が少なくなり，なめらかな走行ができます。

◆ 下り坂走行

セレクトレバーを❷に入れてエンジンブレーキを使います。
長い下り坂でフットブレーキのみを多く使用すると，ベーパロックやフェード現象を起こし，ブレーキの効きが悪くなることがあり危険です。必ずエンジンブレーキを併用してください。
→「ベーパロック」P. 2-11
→「フェード現象」P. 2-11

⚠警告

- **急激なエンジンブレーキをかけるとタイヤがスリップして重大な事故につながるおそれがあります。**

アドバイス

- オーバードライブスイッチをOFFにすることで軽いエンジンブレーキが得られます。高速道路の長い下り坂などに有効です。
→「オーバードライブスイッチ」P. 7-15

◆ 特に急な下り坂走行

強力なエンジンブレーキが必要なときは🅛に入れます。

⚠警告

- **急激なエンジンブレーキをかけるとタイヤがスリップして重大な事故につながるおそれがあります。**

停 車

1. セレクトレバーはⒹのままブレーキペダルをしっかりと踏みます。

⚠注意

- エアコン作動時などは，自動的にエンジン回転数が高くなり，クリープ現象が強くなります。ブレーキペダルをしっかり踏んでください。

2. 必要に応じてパーキングブレーキをかけます。

⚠注意

- 急な上り坂ではクリープ現象が働いても，車が後退することがあります。停止時はブレーキペダルを踏み，しっかりとパーキングブレーキをかけてください。
- 上り坂でブレーキペダルを踏まずに，アクセルペダルを踏みながら停止状態を保つことはしないでください。トランスミッションの故障の原因になります。

3. 渋滞などで停車時間が長くなりそうなときはセレクトレバーをⓃに入れます。

⚠注意

- 停車中はむやみに空ぶかしをしないでください。万一，セレクトレバーがⓅ，Ⓝ以外に入っていると思わぬ急発進の原因になります。

4. 再発進するときは，セレクトレバーがⒹ位置にあることを確認してから発進してください。

駐 車

1. 車を完全に止めます。
2. ブレーキペダルを踏んだままパーキングブレーキを確実にかけます。
3. セレクトレバーをⓅに入れます。

⚠注意

- Ⓟでは車輪が固定されるため，車が動き出す心配がなく安全です。駐車時には必ずセレクトレバーがⓅに入っていることを確認してください。
- 車が完全に止まらないうちにⓅに入れると，急停止してけがをするおそれがあります。また，トランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- 坂道では，パーキングブレーキをかける前にセレクトレバーをⓅに入れると，発進時のセレクトレバー操作が重くなることがあります。

4. エンジンを止めます。

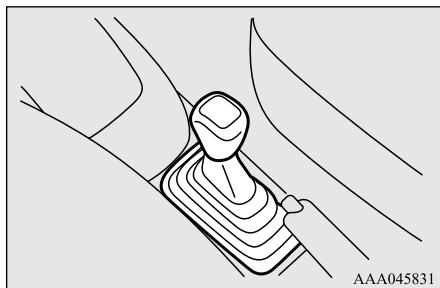
⚠注意

- 車から離れるときは必ずエンジンを止め，キーを抜いてください。
エンジンをかけたままにしておくと，万一，セレクトレバーがⓅ以外に入っていた場合，クリープ現象で車がひとりでに動き出したり，乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み，急発進するおそれがあります。

パートタイム4WD

J00707500052

トランスファーシフトレバーの操作により，走行状況に合わせて駆動方式を切り換えることができます。

AAA045831

駆動方式	働き
2H (2WD)	一般道路や高速道路を走行するときに使用します。
4H （ハイレンジ 4WD）	積雪路, 砂地, 悪路を通常のスピードで走行するときに使用します。
4L （ローレンジ 4WD）	急登坂, 急降坂, 砂地, ぬかるみなどの悪路を走行するとき（特に大きな駆動力が必要な低速走行）に使用します。

⚠注意

- 乾いた舗装道路は「2H」で走行してください。
  特に乾いた高速道路は絶対に「4H」または「4L」で走行しないでください。
  乾いた舗装道路を「4H」または「4L」で走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音，タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
  また，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となるおそれがあります。
  必ず「2H」で走行してください。

⚠注意

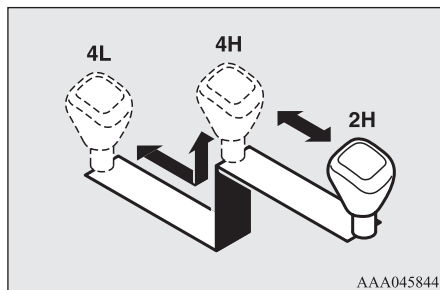
- オートマチック車は「4L」では約50km/hを超えないように走行してください。

トランスファーシフトレバー

J00720700019

路面の状態に応じてトランスファーシフトレバーを各位置に切り換えます。

◆ トランスファーシフトレバーの操作

AAA045844

2H↔4H

マニュアル車

走行中でも停車中でも操作できます。
走行中操作するときは車を直進状態にして，クラッチペダルをいっぱいに踏み込んでから操作します。

オートマチック車

走行中でも停車中でも操作できます。
停車中はセレクトレバーをⓃ(ニュートラル）にしてから操作します。
走行中は車を直進状態にして，アクセルペダルをゆるめてから操作します。

⚠注意

- 走行中の「2H」↔「4H」の切り換えは時速80km/h以下で行ってください。
- 雪道等で後輪を空転させたまま，トランスファーシフトレバーを操作しないでください。

アドバイス

- 低温時に走り始めてからしばらくの間は，「2H」から「4H」へ切り換えようとするとトランスファーシフトレバーの操作が重くなったり，ギヤ鳴りが発生することがあります。このような場合は停車して切り換えてください。
- 「4H」でハンドルを切ったまま「2H」に切り換えるとトランスファーシフトレバーの操作が重くなることがありますが，故障ではありません。

4H→4L

マニュアル車

停車してクラッチペダルをいっぱいに踏み，トランスファーシフトレバーを押し下げながら操作します。

オートマチック車

停車してセレクトレバーをⓃ(ニュートラル）に入れ，トランスファーシフトレバーを押し下げながら操作します。

アドバイス

- Ⓝ(ニュートラル)以外で操作するとギヤ鳴りが発生して切り換わらない場合があります。

4L→4H

マニュアル車

停車してクラッチペダルをいっぱいに踏み，トランスファーシフトレバーを操作します。

オートマチック車

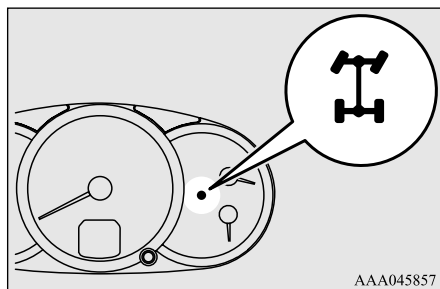
停車してセレクトレバーをⓃ(ニュートラル）に入れ，トランスファーシフトレバーを操作します。

⚠注意

- 走行中に「4H」↔「4L」の切り換えを行わないでください。

アドバイス

- Ⓝ(ニュートラル)以外で操作するとギヤ鳴りが発生して切り換わらない場合があります。

4WD作動表示灯

J00707800127

エンジンスイッチがON のとき, メーター内の 4WD 作動表示灯にトランスファーの切り換え状態を表示します。
4輪駆動（4Hまたは4L）のときは点灯し，後輪駆動(2H)のときは消灯します。

アドバイス

- トランスファーシフトレバーを「4H」にしても4WD作動表示灯が点灯しないときは車を直進状態にしてしばらく徐行し，4WD作動表示灯が点灯したことを確認してから通常走行してください。
- トランスファーシフトレバーを「4H」から「2H」に切り換えても4WD作動表示灯が消灯しないときは周囲の安全を確認して加速，減速または後退を行い，4WD作動表示灯が消灯したことを確認してから走行してください。
  加速，減速または後退を行っても4WD作動表示灯が点灯したままのときは，トランスファーシフトレバーを「2H」にしたまま，できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

4WD車の上手な運転

J00707400178

4WD車といってもどこでも走れるわけではありません。無理な運転はしないでください。路面や傾斜の状態に十分注意して安全運転を心がけてください。

アドバイス

- 運転姿勢はやや起こしぎみにして，ハンドル操作やペダル操作がしやすい位置にシートを調整し，シートベルトは必ず着用してください。
- オフロードを走行したあとは必ず車体各部を点検し，きれいな水で念入りに洗車してください。
  →「オフロードを走行した後は」P. 7-23

積雪路や凍結路を走行するときは

積雪や凍結（アイスバーン）の状態に応じてトランスファーシフトレバーを「4H」または「4L」に切り換えて走行します。

⚠注意

- 運転中の急加速，急ブレーキ，急なハンドル操作はスリップや横すべりが起こりやすいので行わないでください。

アドバイス

- タイヤチェーンや冬用タイヤを使用することをおすすめします。
- 車間距離を十分に取り，急ブレーキは絶対に避けて，エンジンブレーキを上手に使ってください。

砂地やぬかるみを走行するときは

砂地，ぬかるみの状態を確認してトランスファーシフトレバーを「4H」または「4L」に入れ，アクセルペダルを徐々に踏み込んで発進します。アクセルはできるだけ一定にして，低速で走行します。

⚠注意

- 砂地では無理な走行をしないでください。一般道路にくらべてエンジンや駆動系部品への負担が大きくなり，思いがけない故障の原因になります。
- 走行中，水温計の指針が「H」表示部に近づいたときや，オートマチック車はメーター内の A/T 油温警告灯が点灯したときは，ただちに安全な場所に停車して処置してください。
  →「オーバーヒートしたときは!」P. 13-22
  →「A/T油温警告灯」P. 6-10

アドバイス

- ぬかるみでは，路面の状況がわかりにくいため，深みにはまり込むことがあります。できれば車から降りて路面の状況を確かめてから運転してください。
- 特にひどいぬかるみを走行する必要があるときは，タイヤチェーンをかける（後輪）と有効です。
- 運転中の急加速，急ブレーキ，急なハンドル操作はスタック（タイヤが砂や泥に埋もれて車が動かなくなる）しやすくなりますので，極力避けてください。
- 車がスタックしたときは，前進と後退を繰り返し，車の反動を利用して脱出します。
  タイヤが空回りして車が動かないときは，アクセルペダルを軽く踏み，パーキングブレーキを軽く引いたまま脱出します。
- 海辺を走行したときは，海水の塩分により，車にさびが発生しやすくなりますので早めに洗車してください。

急な坂道を登るときは

トランスファーシフトレバーを「4L」に入れ，エンジンの出力を有効に使います。

⚠注意

- 斜めに蛇行しながら登坂することは避け，できるだけまっすぐに登坂してください。

アドバイス

- 石，砂および凸凹の少ないところを選び，登り始めと終わりはなだらかな傾斜を選んでください。
- 登る前には，車がその斜面を登れるかどうか，一度自分の足で頂上まで歩いて確認してください。

急な坂道を降りるときは

トランスファーシフトレバーを「4L」に入れ，タイヤがロックしないようにエンジンブレーキを使いゆっくり降ります。

⚠注意

- 斜めに蛇行しながら降りることは避け，できるだけまっすぐに降りてください。

アドバイス

- 坂を降りているとき，前方に障害を見つけてあわててブレーキをかけると，車のコントロールを失うことがあります。できるだけ降りる前に歩いて斜面の状態を確認してください。
- 坂を降りているときに，途中で変速することを避けて，あらかじめ坂の状態に応じた変速ギヤを選んでおくことが必要です。

渡河など水中走行するときは

4WD車といっても水に対して万全ではありません。電気系統が浸水すれば走行不能となります。水中走行はできるだけ避けてください。
やむをえず水中走行しなければならないときは必ずつぎのことをお守りください。

- 水中走行する前に，あらかじめ川の深さや地形を確認してください。
- 海水など塩分を含んだ水には入らないでください。
- トランスファーシフトレバーを「4L」に入れてください。
- できるだけ浅い場所を選び5km/hぐらいで波が立たないようにゆっくり走行してください。
- 河川に対し，直角または下流方向へ横断し，途中変速やクラッチ操作は避けて一気に渡ってください。

⚠注意

- 水中走行は緊急を要する場合に一時的に行ない，長時間の水中走行は避けてください。
- 水中走行後はブレーキの効きが悪くなります。前後の車に十分注意して低速で走行しながらブレーキペダルを軽く数回踏んで効きを回復してください。

アドバイス

- ひんぱんに水中走行することは車の寿命に大きく影響します。水中走行後は日産販売会社にご相談の上，適切な処置および点検を行ってください。

オフロードを走行した後は

J00706500055

- 路面の突起物（石など）により損傷した箇所がないか点検してください。
- きれいな水で念入りに洗車してください。特に砂浜や凍結防止剤の散布された道路を走行したときは塩分で車にさびが発生しやすくなります。

⚠注意

- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
ブレーキのきき具合が悪いときは，ただちに日産販売会社で点検を受けてください

- ラジエーターの目詰まりとなる虫や枯れ草などを取り除いてください。
- 渡河など水中走行したあとは，必ず日産販売会社でつぎの項目を点検し，必要な処置を行ってください。
  - ブレーキの効き具合を点検します。必要な場合は分解整備を行ってください。
  - エンジン，トランスミッション，トランスファー，ディファレンシャルの各オイルまたはグリース量と濁りを点検します。白く濁っている場合は水が混入していますので，オイルまたはグリースを交換してください。
  - ホイールベアリング部のグリースを交換してください。
  - 室内への水の浸入がないかを点検します。水が浸入している場合はカーペットなどを乾燥させてください。
  - ヘッドライト内への水の浸入がないかを点検します。水が浸入している場合は水抜きを行ってください。

4WD車取り扱い上の注意

J00706600724

乾燥した舗装道路を走行するときは

⚠注意

● 乾いた舗装道路は「2H」で走行してください。
特に乾いた高速道路は絶対に「4H」または「4L」で走行しないでください。
乾いた舗装道路を「4H」または「4L」で走行すると燃料の消費量が多くなったり，騒音，タイヤの早期摩耗を発生することがあります。
また，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなど重大な故障の原因となるおそれがあります。
必ず「2H」で走行してください。

急なカーブを回るときは

4輪駆動時に，急なカーブを低速で旋回した場合，ブレーキをかけた状態と同じような現象が発生することがあります。
これはタイトコーナーブレーキング現象と呼ばれているもので，前，後輪のタイヤの軌跡（回転差）が違うために生じる4輪駆動車特有の現象です。
このような現象が発生したときには，ハンドルを直進状態に戻すか後輪駆動に切り換えることによって解消することができます。

⚠注意

● 急旋回したときは，タイトコーナーブレーキング現象を起こし，運転しにくくなりますので，急な旋回は避けてください。

タイヤ，ホイールについて

4WD車は4輪に駆動力がかかるため，タイヤの状態が車の性能に大きく影響します。タイヤの状態には細心の注意を払ってください。

● 4輪とも指定のタイヤ，ホイールを装着してください。
→「タイヤ，ホイールのサイズ」P. 14-8
● タイヤ，ホイールを交換するときは4輪とも交換してください。
● タイヤのローテーションは5,000kmごとに行ってください。
→「タイヤローテーション」P. 11-3
● タイヤの空気圧は定期的に点検してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-9

⚠注意

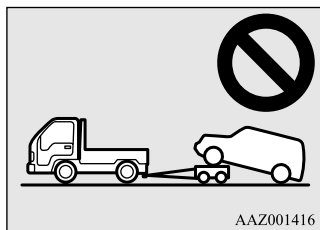
● 同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄および摩耗度合いの異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり思わぬ事故につながるおそれがあります。

けん引について

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
ただし，つぎの場合は日産販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

⚠注意

- 必ず2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。また，4WD（4 輪駆動）のまま前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はしないでください。
駆動系部品が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
→「けん引」P. 13-24

- 2WD（後輪駆動）に切り換わらないときや，駆動系部品が故障したと思われるとき（車輪が動かない，異音がするなど）は，必ず 4 輪を持ち上げてレッカー車で搬送してください。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て日産販売会社へ依頼してください。

ジャッキアップするときは

⚠注意

- ジャッキアップ中はエンジンをかけたり，ジャッキアップした車輪を回転させたりしないでください。
接地しているタイヤが回ってジャッキから車体が外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

マニュアル車はクラッチペダルの操作はゆっくりと確実に

エンジンの回転が高いときクラッチを急に接続したり，中途半端な踏み方をすると，けん引力が大きいのでクラッチやトランスミッションなどを損傷させるおそれがあります。
ペダルの操作はゆっくりと確実に行ってください。

アンチロックブレーキシステム(ABS)

J00703000684

アンチロックブレーキシステム (ABS) とは，急ブレーキや滑りやすい道路でブレーキを踏んだときに車輪のロックを防止し，制動力を維持し，かつ安定した車体姿勢とハンドル操舵性を保つ装置です。

⚠注意

- ABS は制動時の車体安定性を確保するためのもので必ずしも制動距離が短くなるとはかぎりません。ABS を過信せず，十分な車間距離をとって安全運転を心がけてください。
- 雪道を走行した後は足まわりに付いた雪や泥を取り除いてください。足まわりを清掃するときはホイール付近に付いている車速感知装置や配線などを傷付けないよう十分注意してください。
- 4輪とも同一サイズ，同一種類の指定タイヤを装着してください。
  サイズや，種類の異なるタイヤを混用すると，ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。
- 市販のリミテッドスリップディファレンシャル (LSD) を装着しないでください。ABS が正常に作動しなくなるおそれがあります。

アドバイス

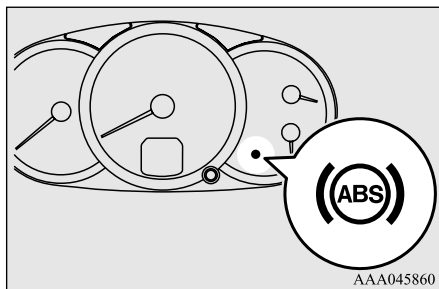
- つぎのような場合は，ABS の付いていない車に比べて制動距離が長くなることがありますので，速度はひかえめにし，車間距離を十分とって運転してください。
  - 砂利道や深い新雪路を走行するとき
  - タイヤチェーンを装着しているとき
  - 道路の継ぎ目や段差を乗り越えるとき
  - 凸凹道などの悪路を走行するとき
- マンホール，工事用の鉄板，白線の上，段差を乗り越えるときなど，車輪が滑りやすい状況では，車輪のロックを防止するため急制動以外でもABSが作動することがあります。
- ABSが作動すると車体，ハンドル，ブレーキペダルに振動を感じたり，作動音が聞こえます。
  また，ブレーキペダルを踏み込んだときに固く感じることがあります。
  これは装置が正常に作動していることを示すもので異常ではありません。そのままブレーキペダルを強く踏み続けてください。
- 走行開始後，エンジンルーム内より作動音がしたり，ブレーキペダルにショックを感じることがありますが，これは ABS 装置の作動をチェックしているためで異常ではありません。
- ABSは，発進後車速が約10km/hになるまで作動しません。また，車速が約 5km/h まで下がると作動を停止します。

ABS警告灯

J00704500686

正常なときは, エンジンスイッチをONにすると点灯し, 数秒後に消灯します。

⚠注意

- 点灯したままのときまたは点灯しないときは装置の故障が考えられますので日産販売会社で点検を受けてください。

走行中に警告灯が点灯したときは

J00704600052

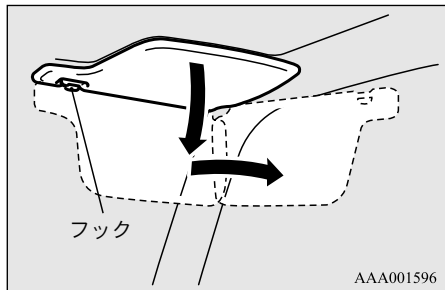
- 安全な場所に車を止めてから, エンジンを停止し, 再度エンジンをかけます。その後しばらく走行して点灯しなければ異常ありません。
  しばらく走行しても点灯したままのときは日産販売会社で点検を受けてください。この場合, ABSは作動せず, 普通のブレーキとして作動します。
- バッテリーが電圧不足のときにエンジンをかけると, 警告灯が点灯することがありますが ABS の故障ではありません。このようなときは, しばらくアイドリング回転でバッテリーを充電してください。
  充電しても点灯したままのときや, たびたび点灯するときは日産販売会社で点検を受けてください。

室内装備

サンバイザー

J00900100615

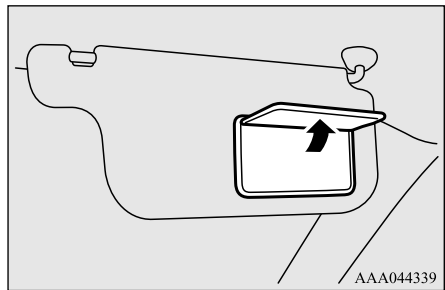
前面だけでなく，フックから外せば側面にも回せます。

AAA001596

バニティーミラー

タイプ別装備

J00912700083

運転席サンバイザーの裏側にあります。

AAA044339

チケットホルダー

J00912800097

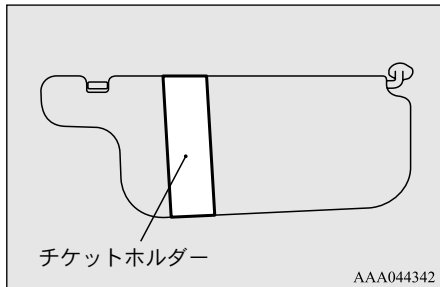
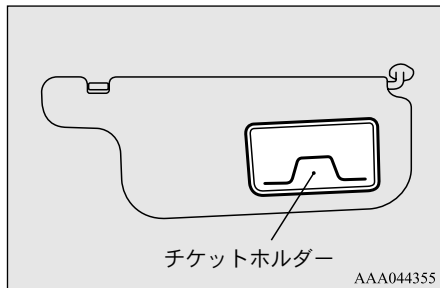
運転席サンバイザーの裏側にあり，通行券などを挟むことができます。

◆ 除く，バニティーミラー付き車

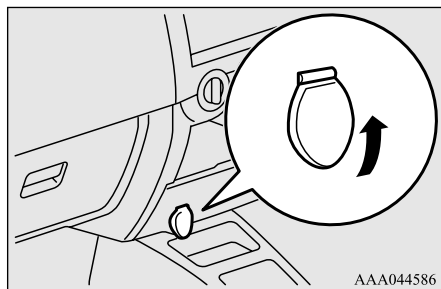
AAA044342

◆ バニティーミラー付き車

AAA044355

8

電源ソケット

J00900500518

エンジンスイッチがONまたはACCのときに使用できます。
フタを開け，プラグタイプの電気製品の電源としてご使用ください。
必ず, 12Vで電気容量が120W以下の電気製品を使用してください。

AAA044586

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間使用するとバッテリーが上がることがあります。
- 市販の電気製品を使用しないでください。バッテリー上がりや電源ソケットが損傷する原因となります。
- フタを開けたまま放置しないでください。
  電源ソケットにゴミや金属片などの異物が入ると火災やショートの原因となるおそれがあります。

室内灯

J00900800016

アドバイス

- エンジンがかかっていないときに長い間ランプを点灯させておくとバッテリーが上がることがあります。
  車から離れるときは必ずランプが消えていることを確認してください。

ルームランプ

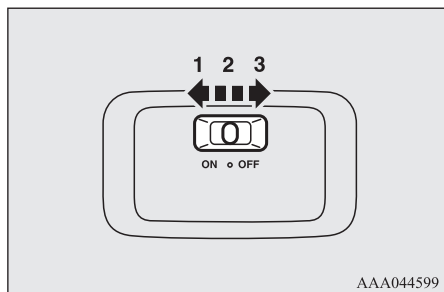
J00900901115

1. (ON)
   ドアまたはバックドアの開閉に関係なく点灯します。
2. (●)
   いずれかのドアまたはバックドアを開けると点灯，閉じると減光しながら約30秒後に消灯します。ただし，つぎのようなときはすぐに消灯します。
   - エンジンスイッチをONにしたとき
   - 集中ドアロックの機能を使って施錠したとき
   - リモートコントロールエントリーシステムのリモコンスイッチを使って施錠したとき

アドバイス

- ドアおよびバックドアが閉まっているときに，キーを抜くと点灯し，徐々に減光しながら約30秒後に消灯します。
- 消灯までの時間を調整することができます。詳しくは日産販売会社にご相談ください。

3. (OFF)
   ドアまたはバックドアの開閉に関係なく消灯します。

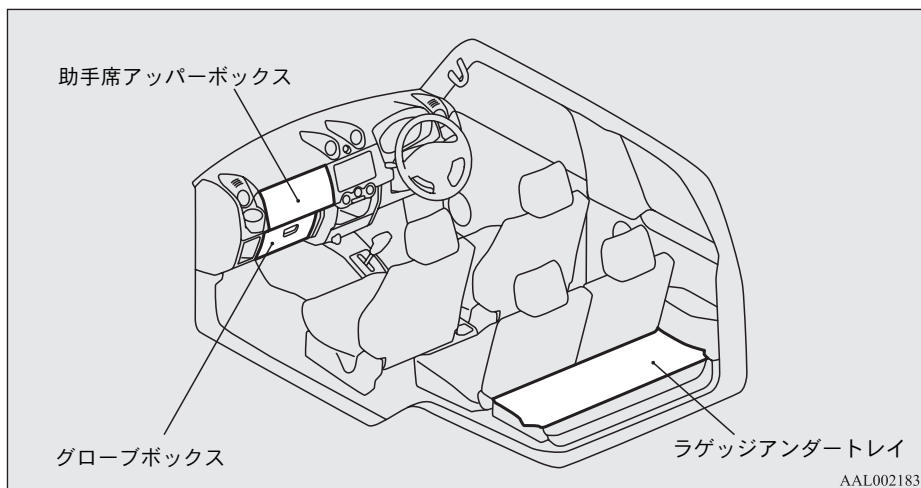
8

小物入れ

J00906700668

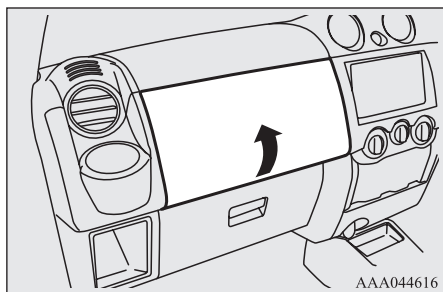
⚠注意

- 強い直射日光にさらされると車内が高温になるため，ライター・炭酸飲料缶・メガネなどを放置しないでください。
  ライターなどの可燃物は自然発火したり，炭酸飲料やビールなどの缶は破裂するおそれがあります。また，プラスチックレンズまたはプラスチック素材のメガネは変形，ひび割れをおこすおそれがあります。
- 走行中は小物入れのフタを必ず閉めておいてください。万一の場合，フタや内部の小物でけがをするおそれがあります。

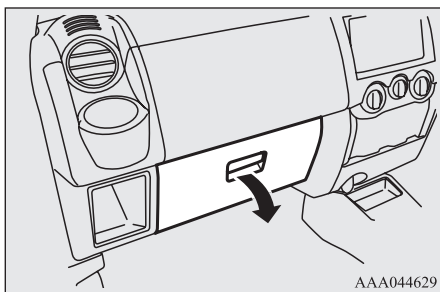
アドバイス

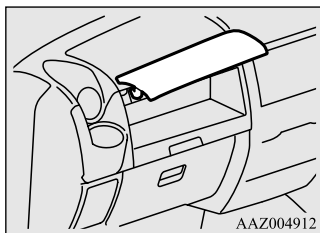
- 車を離れるときは小物入れに貴重品を入れたままにしないでください。

助手席アッパーボックス

J00913600021

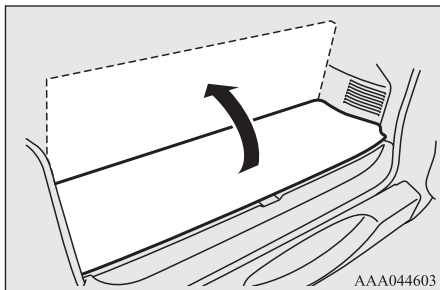
リッドを引き上げます。

グローブボックス

J00913700022

レバーを引くと開きます。

アドバイス

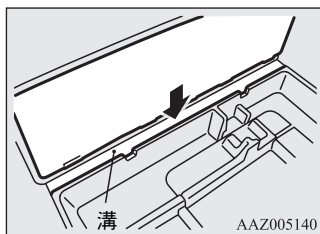
- 開いたリッドは全開の位置でとまります。

ラゲッジアンダートレイ

J00908300118

ラゲッジフロアボードの下にラゲッジアンダートレイがあります。

AAA044603

アドバイス

- ラゲッジフロアボードを溝に差し込んで，固定することができます。

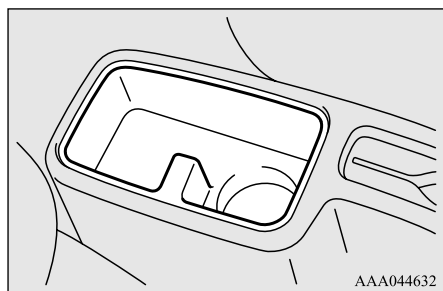
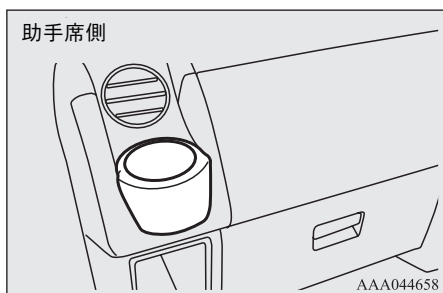
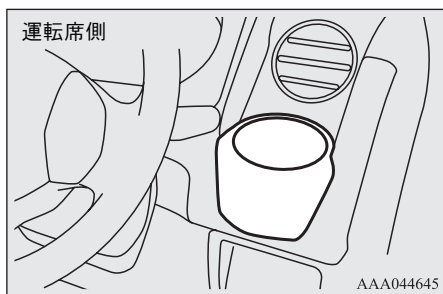
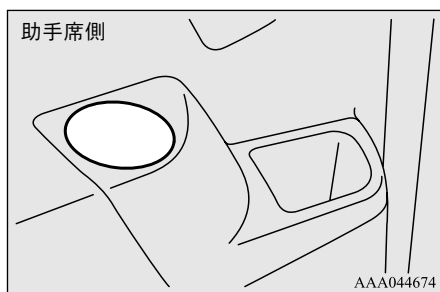
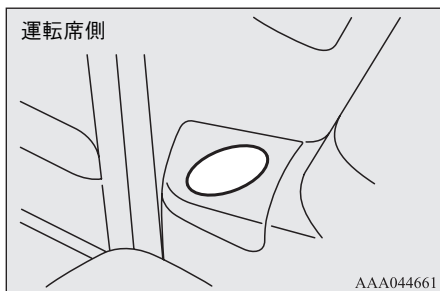
AAZ005140

カップホルダー

J00903800642

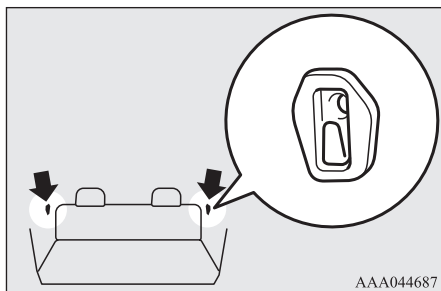
⚠注意

- 走行中の振動や揺れなどで飲み物がこぼれることがあります。熱い飲み物の場合，やけどをするおそれがありますので注意してください。

前席用

◆ Aタイプ

◆ Bタイプ

後席用

ラゲッジフック

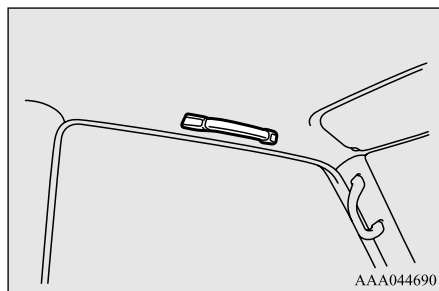
J00905100375

荷室の側面にフックがあります。
荷物の固定用としてご使用ください。

アドバイス

- フックには約 3kg 以上の荷物をかけないでください。フックが破損したり，車両を傷つけるおそれがあります。

アシストグリップ

J00912900245

座ったときに手で身体を支えるためのグリップがあります。

⚠注意

- アシストグリップに手をかけて乗り降りしないでください。
  アシストグリップが外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

フロアカーペット

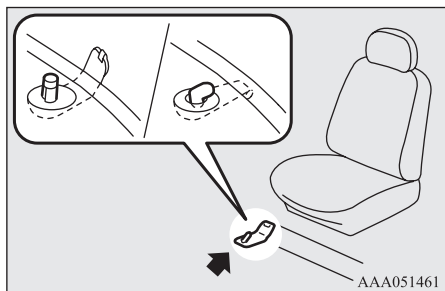
タイプ別装備

J00913900011

お客さまのお車には専用のフロアカーペットが設定されています。床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。

固定のしかた

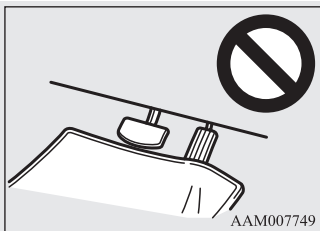
床面には日産純正フロアカーペット用の固定クリップが付いています。つぎの手順で確実に固定してください。

1. フロアカーペットを床の形状に合わせて敷きます。
2. フロアカーペットの取付穴に固定クリップのピンを通し，確実に固定します。

アドバイス

- 車種により，固定クリップ•ピンの形状や各シートごとに設定されている数量は異なります。詳しい固定方法は，日産販売会社にお問い合わせください。

⚠警告

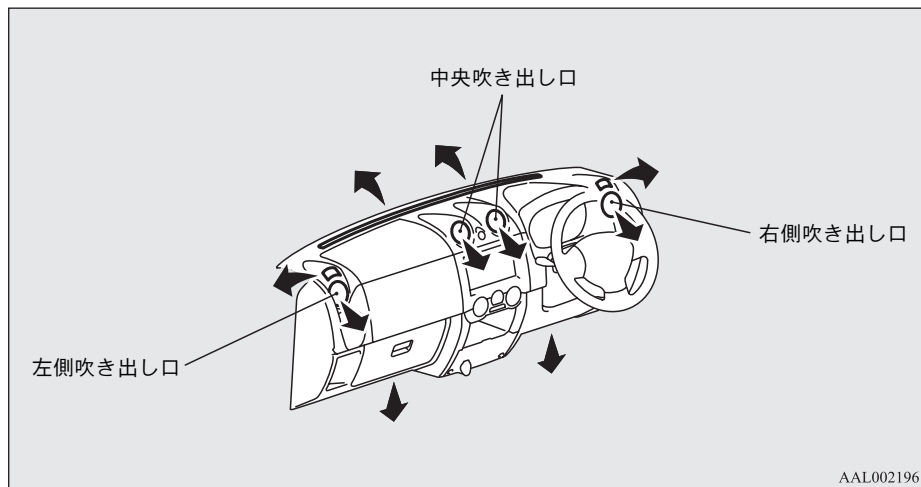
- お客さまのお車専用のフロアカーペットを，床の上にしっかりと固定して正しく使用してください。フロアカーペットがずれて各ペダルと干渉し，思わぬスピードが出たりブレーキが効きづらくなるなど，重大な傷害につながるおそれがあります。

- 運転席にフロアカーペットを敷くときはつぎのことをお守りください。
  - 日産純正部品であっても，他車種および異なる年式のフロアカーペットは使用しない。
  - フロアカーペットでペダルを覆わない。
  - フロアカーペットを重ねて敷かない。
  - フロアカーペットがずれないように固定クリップで確実に固定する。
  - 運転席専用のフロアカーペットを使用する。
  - フロアカーペットを前後逆さまにしたり，裏返して使用しない。

- 運転する前につぎのことを確認してください。
  - フロアカーペットが正しく固定されていることを定期的に確認し，車内の清掃などでフロアカーペットを取り外した後は必ず確認する。
  - エンジン停止時およびマニュアル車はシフトレバーがⓃのとき，オートマチック車はセレクトレバーがⓅのときに，各ペダルをいっぱいに踏み込み，フロアカーペットと干渉がなく運転に支障がないことを確認する。

エアコン

9

吹き出し口

J01000100495

風量・風向き調整

J01000300644

1. くぼみ（A 部）を押すと吹き出し口が開きます。
   閉じるときは，反対側のくぼみ（B 部）を押します。
2. 風向きは吹き出し口を回して調整します。

アドバイス

- 冷房時まれに吹き出し口から霧が吹き出したように見えることがありますが，これは湿った空気が急に冷やされたときに発生するもので異常ではありません。

アドバイス

- 冷房，除湿効果が悪いときは日産販売会社で点検を受けてください。

吹き出し口の切り換え

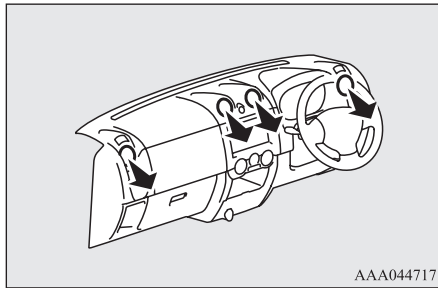
J01000400704

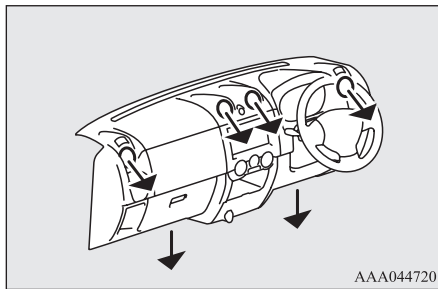
吹き出し口切り換えダイヤルを操作し，使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。

→「吹き出し口切り換えダイヤル」P. 9-5

➔:風量中

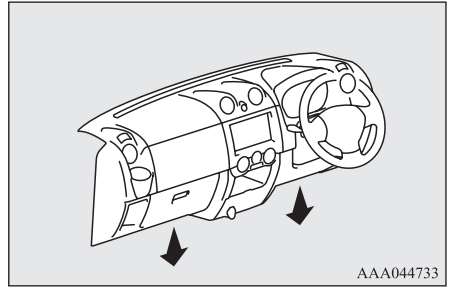
➔:風量多

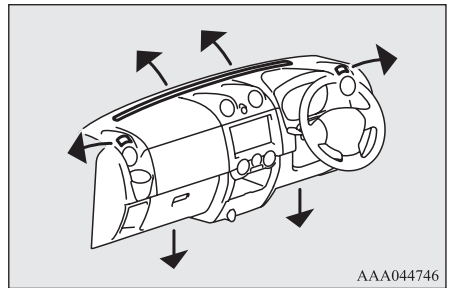
上半身に送風したいとき

AAA044717

上半身と足元に送風したいとき

AAA044720

アドバイス

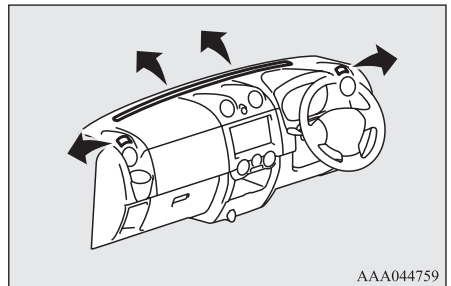
- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると上半身へ多く， と の間にすると足元へ多く送風されます。

足元に送風したいとき

AAA044733

足元とウインドウガラスに送風したいとき

AAA044746

アドバイス

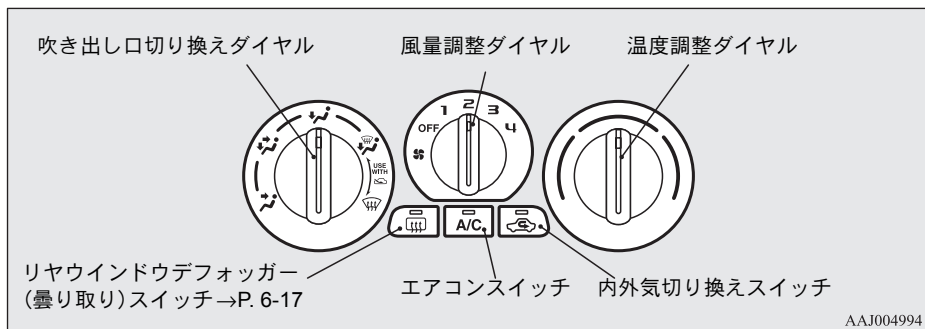
- 吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にすると足元へ多く， と の間にするとウインドウガラスへ多く送風されます。

ウインドウガラスに送風したいとき

AAA044759

9

オゾンセーフマニュアルエアコン

J01000500372

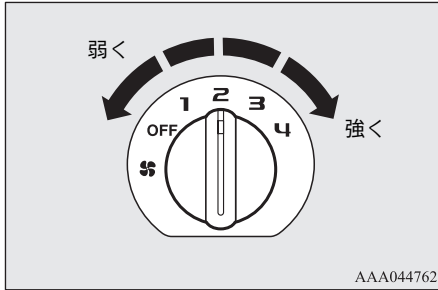
エンジンスイッチがONのときに使用できます。

- スイッチの使い方 P. 9-5
- 目的に合った使い方
  - 暖房したいときはP. 9-7
  - 冷房したいときはP. 9-8
  - 頭寒足熱にしたいときはP. 9-9
  - ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときはP. 9-10
  - 曇り止めと暖房を同時にしたいときは P. 9-12
  - 換気したいときはP. 9-13
  - 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときはP. 9-14

スイッチの使い方

J01000600012

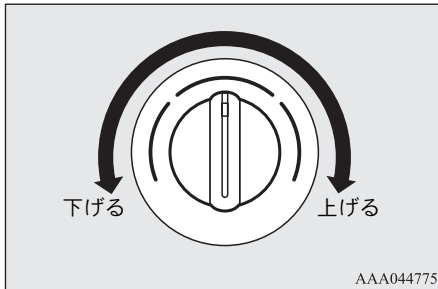
◆ 風量調整ダイヤル

J01000700231

風量を強くするときは右へ，弱くするときは左へ回します。

AAA044762

◆ 温度調整ダイヤル

J01000900291

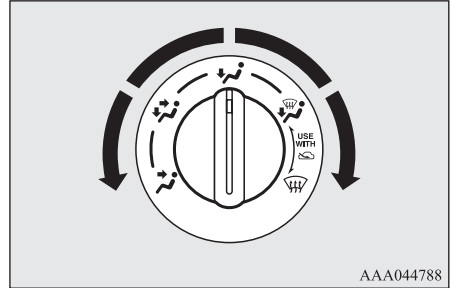
送風温度を調整します。
温度を上げるときは右へ，下げるときは左へ回します。

AAA044775

アドバイス

- エンジン冷却水温が低いときに温度調整ダイヤルを動かしても送風温度は変わりません。

◆ 吹き出し口切り換えダイヤル

J01001100229

使用目的に合わせて吹き出し口を切り換えます。
→「吹き出し口の切り換え」P. 9-3

AAA044788

⚠注意

- と の間で使用するときは，窓の曇りを防止するため内外気切り換えスイッチを押して外気導入にしてください。
→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-6

◆ 内外気切り換えスイッチ

J01001300205

スイッチを押すと外気導入（外気を車内に入れる）と内気循環（外気をしゃ断する）の切り換えができます。内気循環に切り換わるとスイッチ内の表示灯が点灯します。

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため通常は外気導入で使用してください。
- 早く冷房したいときは内気循環にします。ただし，長時間内気循環にしておくとウインドウガラスが曇りやすくなるため，ときどき外気導入に切り換えて換気してください。

◆ エアコンスイッチ

J01001500249

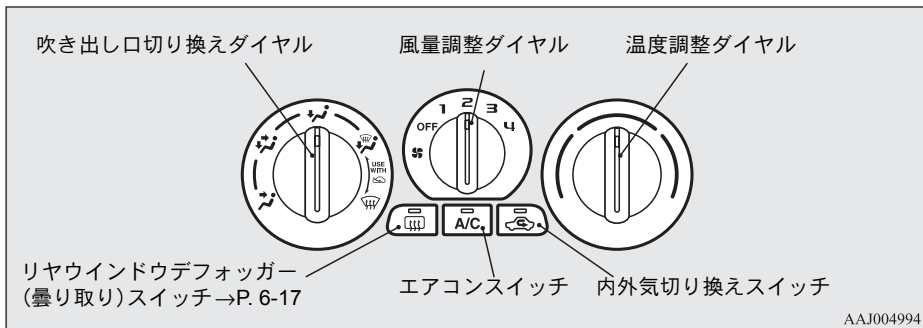
スイッチを押すとエアコン（冷房・除湿機能）が作動し，スイッチ内の作動表示灯が点灯します。もう一度押すとエアコンは停止します。

⚠注意

- オートマチック車は，エアコン作動中はエンジン回転数が高くなりクリープ現象が強くなりますので，停車中はしっかりとブレーキペダルを踏んでください。
  →「クリープ現象」P. 2-14

目的に合った使い方

J01001700209

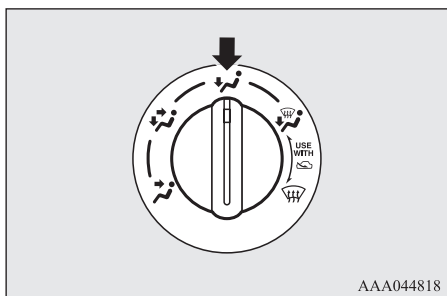
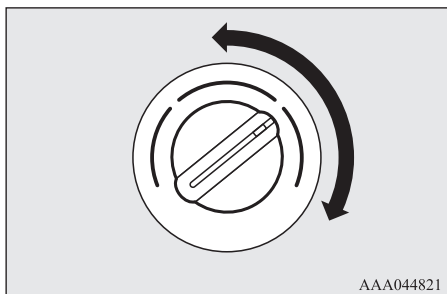
AAJ004994

◆ 暖房したいときは

J01001800284

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをにします。

AAA044818

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA044821

アドバイス

- 急速暖房したいときは，温度を最高に設定し，風量調整ダイヤルを4にしてください。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA044791

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

9

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA044847

◆ 冷房したいときは

J01001900272

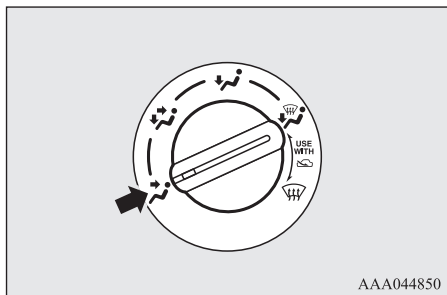
1. 吹き出し口切り換えダイヤルを に
します。

AAA044850

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

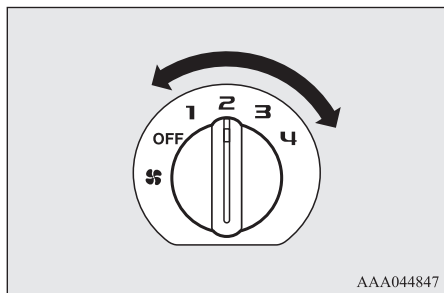
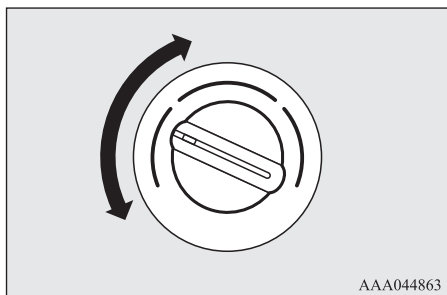
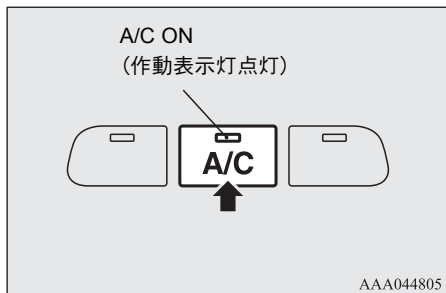
AAA044863

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

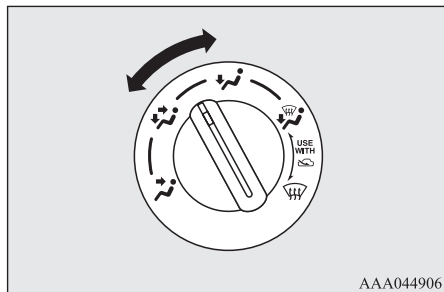
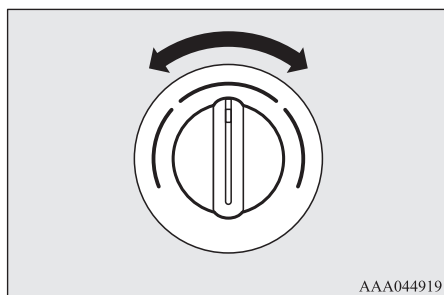
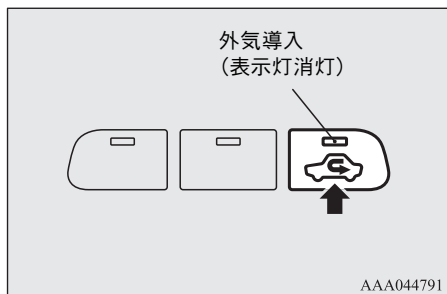
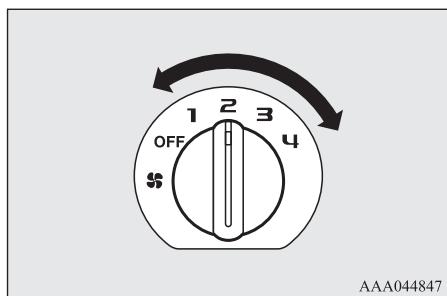
AAA044791

⚠注意

- 内気循環にすると早く冷房されますが，換気のためときどき外気導入に切り換えてください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

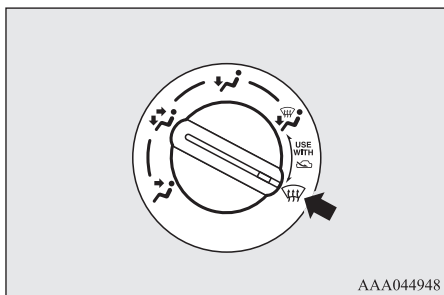
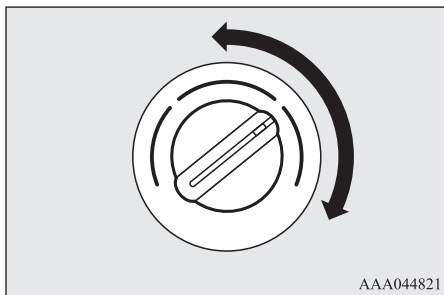
AAA044847

5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。エアコンが作動するとスイッチ内の作動表示灯が点灯します。

◆ 頭寒足熱にしたいときは

J01002000270

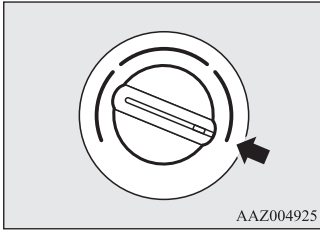
1. 吹き出し口切り換えダイヤルをとの間にします。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

◆ ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは

J01002100330

> **⚠注意**
>
> ● 安全のため，ウインドウガラスの曇りや霜は早めに取り除いて視界確保に努めてください。

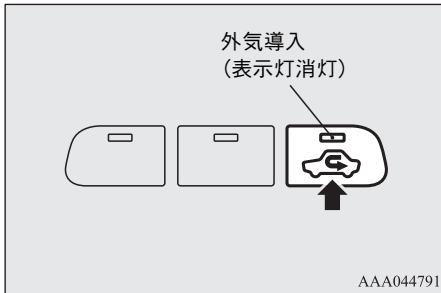
1. 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にします。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

アドバイス

- 早く曇り，霜を取りたいときは温度を最高に設定します。

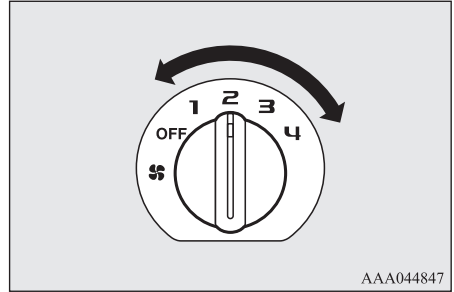
AAZ004925

- 吹き出し口切り換えダイヤルを（曇り取り）にしてエアコンを使用するときは設定温度を最低温度付近にしないでください。
ウインドウガラスの外側に露が付くことがあります。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA044791

⚠注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

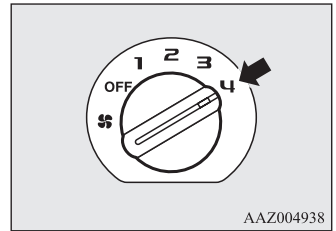
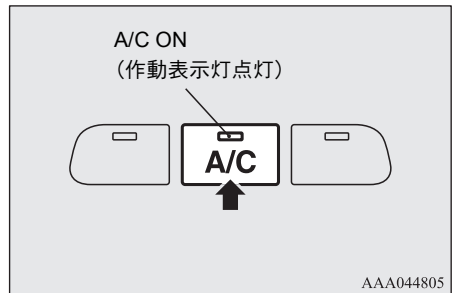
AAA044847

アドバイス

- 早く曇り，霜を取りたいときは風量を最大に設定します。

AAZ004938

5. エアコンスイッチを押してエアコンを作動させます。エアコンが作動するとスイッチ内の作動表示灯が点灯します。

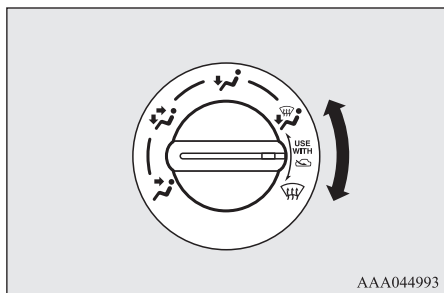
AAA044805

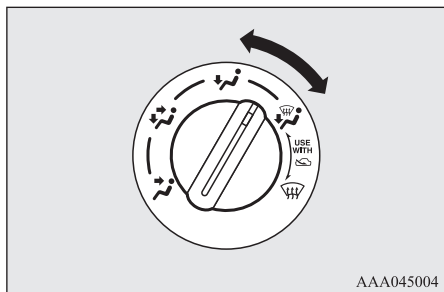
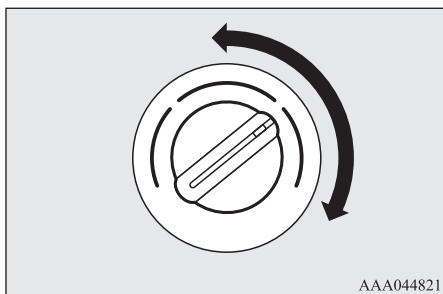
9

◆ 曇り止めと暖房を同時にしたいときは

J01002200298

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをつぎの位置にします。

曇り止めを優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。

暖房を優先するとき

吹き出し口切り換えダイヤルを と の間にします。

2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

⚠ 注意

- 窓の曇りを防止するため外気導入（表示灯消灯）で使用してください。

9

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA044847

アドバイス

- エアコンを使用すると除湿効果があります。

◆ 換気したいときは

J01002300286

1. 吹き出し口切り換えダイヤルをお好みの位置に設定します。

AAA045046

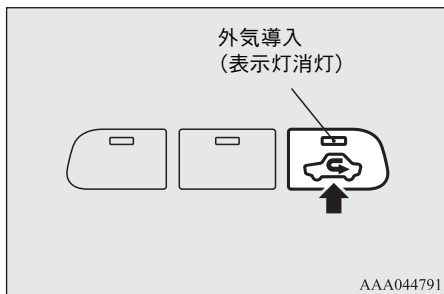
2. 温度調整ダイヤルで温度をお好みに設定します。

AAA044863

3. 内外気切り換えスイッチを押して外気導入にします。

AAA044791

4. 風量調整ダイヤルで風量をお好みに設定します。

AAA044847

◆ 排気ガス，ほこりなどを車室内に入れたくないときは

J01009600015

トンネルや渋滞など外気が汚れているときは内外気切り換えスイッチを押して内気循環にします。

→「内外気切り換えスイッチ」P. 9-6

オゾンセーフマニュアルエアコンの上手な使い方

J01009400635

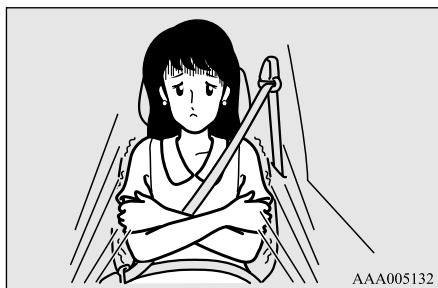
長時間炎天下に駐車したときは

車室内の温度は大変高くなります。
このようなときはドアガラスを開けて車室内の熱気を車外に追い出してください。

AAA005129

冷やしすぎに注意

長時間冷風を直接身体に当てないでください。冷やしすぎは身体によくありませんので，少し涼しいと感じる温度に調整してください。

AAA005132

定期点検を忘れずに

暑い季節になる前に冷媒ガス量の点検を行ってください。冷媒ガスが不足すると冷房効果が悪くなります。

⚠注意

● エアコンの冷媒ガスを充填する場合は，エンジンフード（ボンネット）に貼り付けてあるエアコン冷媒ラベルに記載されている冷媒量をお守りください。規定量を超えて充填した場合，エアコンコンプレッサが故障し，エンジン停止や始動不能になるおそれがあります。

アドバイス

● エアコンの効きが悪い場合は冷媒ガスが不足またはないことが考えられます。日産販売会社で点検を受けてください。

クリーンエアフィルター

J01009500506

花粉やほこり，粉じんなどを取り除くためのフィルターを内蔵しています。フィルターに花粉やほこりなどが付着すると効果が低下しますので，フィルターは定期的に交換することをおすすめします。
→「クリーンエアフィルターの交換のしかた」P. 11-5

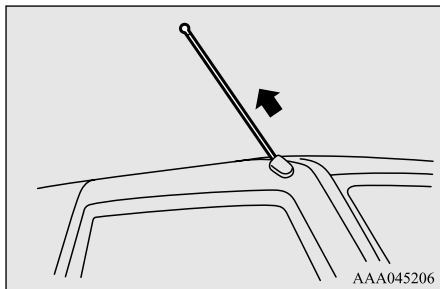
アドバイス

● 使用地域やエアコンの使用頻度によってはフィルターの寿命が短くなります。吹き出し風量が極端に減少したりガラスが曇りやすくなったときは交換時期ですので日産販売会社にご相談ください。
（交換時期の目安：1年または12,000kmのいずれか早いとき）

オーディオ

アンテナ

J01102200550

ラジオを聞くときはアンテナをいっぱいに伸ばしてからお聞きください。

アドバイス

- つぎのようなときは，アンテナを損傷するおそれがあるため，必ずアンテナを格納してください。
  - 天井の低い所へ入るとき
  - 自動洗車機を使用するとき
  - ボデーカバーをかけるとき

簡単な整備・車のお手入れ

簡単な整備

車のお手入れ

エンジンオイルの補給

J01200100572

エンジンオイルはエンジンの性能や寿命，始動性に大きく影響しますので，必ず指定のオイルおよび粘度のものを使用してください。
エンジンオイル量を点検しオイルが不足している場合は，日産純正エンジンオイルまたはオイル缶にILSAC認証マークの入ったエンジンオイルを補給してください。

→「エンジンオイル注入キャップ，エンジンオイルレベルゲージ」P. 1-6
→「オイル類の量と種類」P. 14-3

ILSAC認証マーク

AAA005581

アドバイス

- エンジンオイルは通常走行でも，走行状況に応じて消耗します。
  オイル量を点検しオイルが不足している場合は，補給してください。
- エンジンオイルの点検，補給方法，交換時期については別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。
- 外気温が低いときに，エンジンオイル注入キャップおよび注入口の内側にエンジンオイルが白いクリーム状になって付着することがあります。
  これは，エンジン内部の水蒸気が冷やされて水滴となり，エンジンオイルと混ざることにより発生するもので，外気温の上昇，エンジンの暖機が進むことにより水分は蒸発し解消します。
  この現象によるエンジンオイルの変質はなく，そのまま使用しても問題はありません。

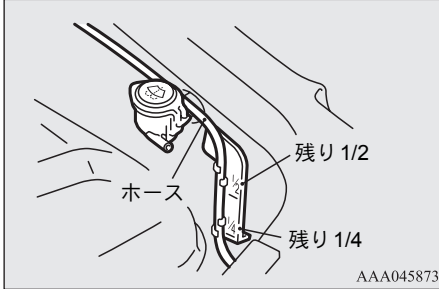
11

ウオッシャー液の点検・補給

J01200200498

フロント・リヤ共用

ホース内の液面の位置で液量を点検します。

AAA045873

ウオッシャー液が不足している場合は，日産純正ウオッシャー液を気温に適した濃度で補給してください。

<希釈割合の目安>

凍結温度	希釈割合
-7℃程度	原液１に水２
-13℃程度	原液１に水１
-38℃程度	原液のまま

⚠注意

- 冬期は，ウオッシャー液を薄めすぎると液がウインドウガラスに凍りついてしまうことがあります。

アドバイス

- ウオッシャー液の代わりに石けん水などを使用すると，ノズルのつまり，塗装のしみなどの原因となることがありますので使用しないでください。

タイヤメンテナンス

J01202100143

タイヤローテーション

J01202400162

タイヤの摩耗を均一にして寿命を延ばすため，タイヤローテーションを 5,000km 走行ごとに行ってください。

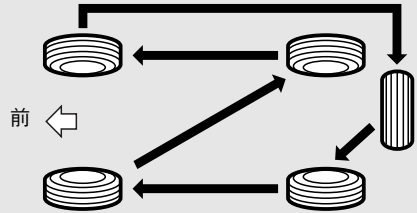
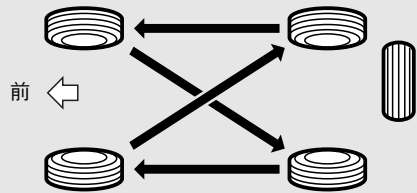
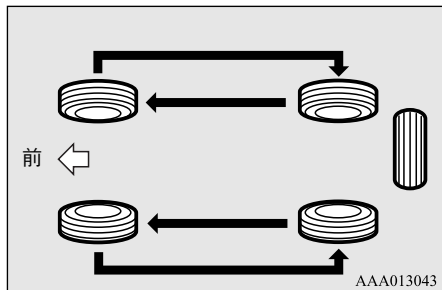
回転方向を示す矢印が付いていない場合

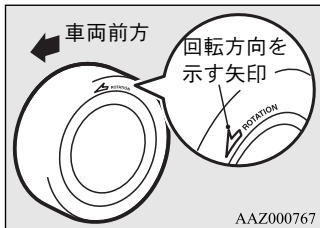
スペアタイヤを使用する場合

AAA013027

スペアタイヤを使用しない場合

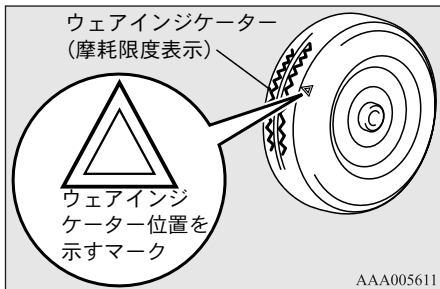
AAA013030

11

回転方向を示す矢印が付いている場合

⚠注意

- タイヤに回転方向を示す矢印が付いているときは，4輪で前後ローテーションを行ってください。
  タイヤを取り付けるときは車両前進時の回転方向と矢印の向きが同じになるように取り付けてください。矢印の向きが異なるとタイヤの性能が十分に活かされません。

- 種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので避けてください。

タイヤの摩耗

J01202500017

ウェアインジケーター（溝の深さ 1.6mm 以下）が現れたら，スリップしやすくなり危険ですのでタイヤを交換してください。

アドバイス

- ウェアインジケーターのマークや位置は，タイヤメーカーによって異なります。

タイヤ空気圧の点検・調整

J01202600018

タイヤの空気圧は定期的に点検し，必ず規定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-9

⚠警告

- **タイヤの空気圧が不足したまま走行すると，タイヤが偏摩耗したり，車の安定性や操縦性を確保できなくなるおそれがあります。また，バースト（破裂）するなど重大な事故につながるおそれがあります。**

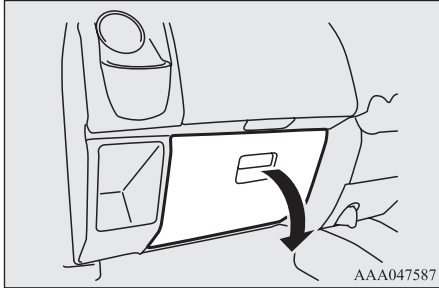
アドバイス

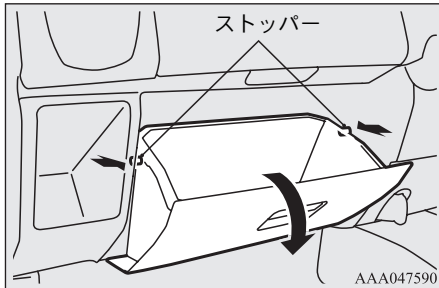
- 点検方法は別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- 規定の空気圧は運転席ドアを開けたボデー側のラベルにも表示しています。

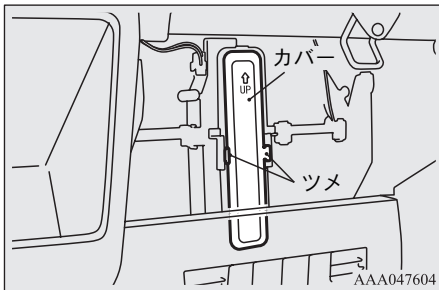
クリーンエアフィルターの交換のしかた

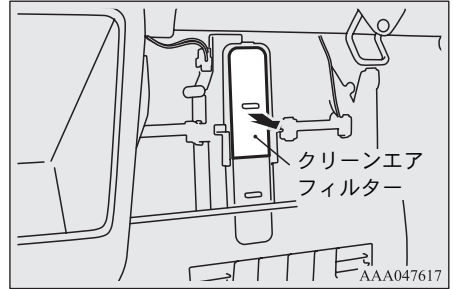
J01202000272

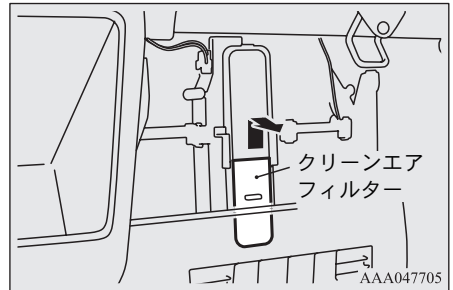
1. エンジンスイッチを LOCK にし，グローブボックスを開けます。

AAA047587

2. 左右にあるストッパーを内側に押し込みながらグローブボックスを手前に引いて取り外します。

AAA047590

3. グローブボックスの奥にクリーンエアフィルターがあります。
カバー左右にあるツメを外し，手前に引いて外します。

AAA047604

4. 上側のクリーンエアフィルターを取り出します。

AAA047617

5. 下側のクリーンエアフィルターを上側にスライドさせて取り出し，新品と交換します。

AAA047705

6. 元に戻すときは，取り外したときと逆の手順で取り付けます。

内装品のお手入れ

J01200600782

1. 電気掃除機などでほこりを取り除きます。
2. ガーゼなどの柔らかい布に，中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，軽くふき取ります。
3. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をきれいにふき取ります。
4. 水分をよくふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

⚠注意

- シリコンやワックスを含むクリーナーや保護剤を使用しないでください。
  使用すると使用箇所がウインドウガラスに映り込み，視界の妨げになるおそれがあります。
- シートの下など，見えにくい場所や狭い場所のお手入れをするときは，手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。

アドバイス

- ベンジン，ガソリンなどの有機溶剤や酸またはアルカリ性の溶剤は使用しないでください。変色やしみ，割れの原因になります。
  また，各種クリーナー類にはこれらの成分が含まれているおそれがありますのでよく確認のうえ使用してください。
- 液体芳香剤は，こぼれないよう容器を確実に固定してください。
  また，インストルメントパネルの上やランプ類，メーターの近くには置かないでください。
  含まれる成分によって樹脂部品や布材の変色，ひび割れをおこすおそれがあります。

本革

タイプ別装備

J01202700136

1. ガーゼなどの柔らかい布に，ウール用中性洗剤の 5% 水溶液を含ませて，汚れをふき取ります。
2. 真水にひたした柔らかい布を固くしぼって，洗剤をふき取ります。
3. 乾いた柔らかい布で水分をふき取り，風通しのよい日陰で乾燥させます。

アドバイス

- 水をこぼしたり，雨などでぬれたときは，乾いた柔らかい布で早めに水分をふき取ってください。
- ナイロンブラシ，合成繊維類で強くこすると表面を傷つけるおそれがあります。
- 本革の汚れはカビなどの原因となります。油汚れなどは，早めに落としてください。
- 直射日光に長時間さらすと表面が日焼けしたり，硬くなって縮むことがあります。できるだけ日陰に駐車してください。

外装品のお手入れ

J01200701142

お車を美しく保つために，走行後は塗装面に付着したほこりを毛ばたきなどではらい落としてください。
つぎのような汚れは，そのままにしておきますと，腐食，変色，しみになるおそれがありますので，できるだけ早く洗車してください。

- 海水や道路凍結防止剤など
- 工場のばい煙，油煙，粉じん，鉄粉，化学物質（酸，アルカリ，コールタールなど）など
- 鳥のふん，虫の死がい，樹液，花粉など

⚠注意

- 下まわりやホイールを洗うときは，厚手のゴム手袋などを使用して，手にけがをしないよう注意してください。
- 外装のお手入れをするときは，ベンジン，シンナーなどの有機溶剤や酸，アルカリ性の溶液を使用しないでください。変色やしみの原因となります。

洗車のしかた

J01202800339

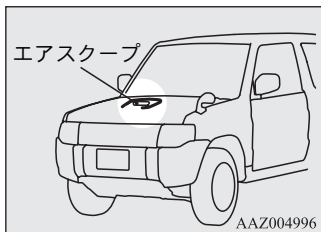
1. 水をかけながら，車体の下まわりを洗います。
2. 車体上部から水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
3. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で完全に洗い落とします。
4. 鳥のふんや虫の死がいなどの汚れは，水で洗い落とし，必要に応じてワックスで汚れを落とします。
5. 柔らかい布またはセーム皮で，塗装面にはん点が残らないよう水分をふき取ります。

⚠注意

- 洗車後は，低速で走行しながら数回ブレーキペダルを軽く踏み，ブレーキを乾かしてください。
  ぬれたままにしておくとブレーキの効きが悪くなったり，凍結やさびによってブレーキが固着し，走行できなくなることがあります。

アドバイス

- 日産純正ワックスの使用をおすすめします。
- エンジンルーム内やエアスクープ内には水をかけないでください。車体の下まわりを洗車するときもエンジンルーム内に水が入らないようにしてください。
  故意に水をかけるとエンジンの始動不良や電気部品の故障などの原因となります。

AAZ004996

- 自動洗車機を使用すると塗装面にブラシの傷がつき，塗装の光沢が失われたり，劣化を早めるおそれがありますので，使用はできるだけひかえてください。
  特に濃彩色車やメタリック車は擦り傷がめだちやすくなります。
- 洗浄機（コイン洗車機など）は機種によって高温，高圧のものがあります。
  車体樹脂部品の熱変形，破損，接着式マーク類のはがれ，室内への水侵入などのおそれがありますので，つぎのことをお守りください。
  - 洗車ノズルと車体との距離を十分離す。（約40cm以上）
  - ドアガラスまわりを洗うときは，洗車ノズルをガラス面に垂直に向け，洗車ノズルとガラスとの距離を十分離す。（約60cm以上）
- 自動洗車機を使用するときは，部品が破損したり，車両を傷つけるおそれがありますので，アンテナ，ドアミラーおよびサイドアンダーミラーを格納してください。
  ルーフレール付き車は，使用する前に必ず係員にご相談ください。係員のいないコイン洗車機などは，操作要領に従って洗車してください。

ワックスのかけ方

J01202900284

月に 1~2 回または，水をはじかなくなったときにかけます。
ワックスかけは，洗車後の塗装面が体温以下のときに直射日光を避けて行ってください。
塗装面が熱いときにワックスをかけると，しみの原因になります。

アドバイス

- 日産純正ワックスの使用をおすすめします。
- コンパウンド（研磨剤）入りのワックスは使用しないでください。
  コンパウンド入りのワックスを使用すると，汚れ落ちはよくなりますが，塗装面やメッキ面を削り取るため光沢が失われる原因になります。
  また，使用した布に色が付着し色落ちするおそれがあります。
  特に濃彩色は変色部分がめだちやすくなります。
- 黒色のつや消し塗装部にワックスをかけると，色むらなどが起こるおそれがありますので，ワックスをかけないでください。
  ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布できれいにふき取ってください。
- 洗車やワックスかけを行うときは，車体の一点に強い力がかからないよう注意してください。
  力のかけ具合や場所によっては，万一の場合，車体がへこむおそれがあります。

TAZ000229

ウインドウガラスのお手入れ

J01203000048

ワイパーのふきが悪くなったときは，ウインドウガラス洗浄剤（ガラスクリーナー等）で清掃してください。

アドバイス

- 日産純正ウインドウガラスクリーナーの使用をおすすめします。
- ガラスの内側を清掃するときは，電熱線を傷つけないよう電熱線に沿って柔らかい布でふいてください。

ワイパーのお手入れ

J01201100016

ワイパーゴムに異物が付着していたり，摩耗しているとふきが悪くなりますので，つぎのように処置してください。

- 異物が付着しているときは，水を含ませた柔らかい布でワイパーゴムを清掃してください。
- ワイパーゴムが摩耗しているときは，早めにワイパーゴムを交換してください。

アドバイス

- ワイパーゴムの交換については，別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

11

樹脂部品のお手入れ

J01201500140

スポンジまたはセーム皮で清掃します。
黒色や灰色系統で表面がざらざらしている部分（バンパーやモールディングなど）およびランプ類にワックスが付着すると白くなることがあります。
ワックスが付着したときは，温水を用い柔らかい布またはセーム皮などできれいにふき取ってください。

アドバイス

- たわしなどの硬いものは，表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りワックスは，樹脂の表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- ガソリン，軽油，ブレーキ液，エンジンオイル，グリース，塗装用シンナー，硫酸（バッテリー液）を付着させると，変色，しみ，ひび割れの原因になりますので，絶対に避けてください。
  万一，付着したときは，すみやかに中性洗剤の水溶液を用い柔らかい布またはセーム皮などでふき取ったあと，多量の水で洗い流してください。

アルミホイールのお手入れ

タイプ別装備

J01201600167

1. 水をかけながら，スポンジなどで汚れを洗い落とします。
2. 水洗いで落ちにくい汚れには，中性洗剤を使用してください。
   洗車後は，中性洗剤を水で洗い落とします。
3. 柔らかい布またはセーム皮で水分をふき取ります。

アドバイス

- ブラシなどの硬いものは，ホイール表面を傷つけるおそれがありますので使用しないでください。
- コンパウンド（研磨剤）入りのクリーナーや，酸性およびアルカリ性のクリーナーは使用しないでください。
  ホイール塗装表面のはがれ，変色，しみの原因になります。
- スチームクリーナーなどで直接熱湯をかけないでください。
- 海水や道路凍結防止剤などが付着したときは，腐食するおそれがありますので早めに洗い落としてください。

塗装の補修

J01201700025

飛び石や引っかき傷などは，腐食の原因になります。
見つけたら早めにタッチアップペイントで補修してください。

アドバイス

- 日産純正タッチアップペイントの使用をおすすめします。

寒冷時の取り扱い

冬期前の点検と準備

J01300100948

エンジンオイル

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものに交換します。
→「メンテナンスデータ：オイル類の量と種類」P. 14-3

冷却水

冷却水が凍結するとエンジンを損傷します。不凍液（純正品）の濃度を50%にします。

ウオッシャー液

ウオッシャー液（純正品）の濃度を 50%以上にします。
→「ウオッシャー液の点検・補給」P. 11-3

バッテリー

気温が下がるとバッテリーに負担がかかりエンジン始動に支障をきたすことがありますので液量，比重の確認をし，必要に応じて液の補給や補充電をしてください。

アドバイス

- バッテリー液の補給は「メンテナンスノート」をお読みください。

タイヤチェーン，または冬用タイヤの準備

冬用タイヤに取り替えるときは, 4輪とも交換します。
→「タイヤ交換のしかた」P. 13-16
地域によってはタイヤチェーン，冬用タイヤの装着が条例で義務づけられています。地域の条例に従ってください。

ワイパー

寒冷地用ワイパーは，雪が付着するのを防ぐために金属部分をゴムでおおってあります。
寒冷地用ワイパーに交換するときは，車にあったものをおすすめします。詳しくは日産販売会社へご相談ください。

走行前の点検

J01300200675

日常点検時につぎの点検を追加してください。

ウインドウガラスの雪や霜を落とす

ウインドウガラスの雪や霜を落として視界を確保してください。また，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りついていないかも確認してください。

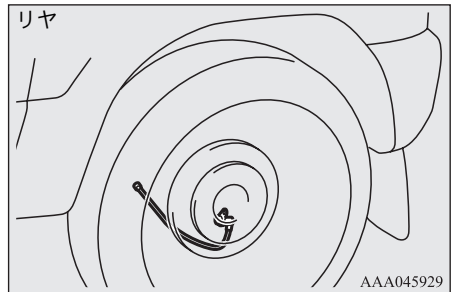
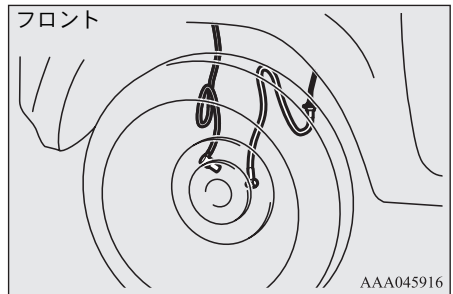
アドバイス

- 冬期はワイパーブレードが凍結しフロントガラスに張り付くことがあります。その場合はヒーターでフロントガラスを暖めてください。
  →「ウインドウガラスの曇り，霜を取りたいときは」P. 9-10
  フロントガラスに張り付いたまま動かすとワイパーブレードを傷めたり，ワイパーモーター故障の原因となります。

足まわりの確認

足まわりに付着した氷塊を取り除いてください。走行中に氷塊が部品を損傷するおそれがあります。

⚠注意

- 足まわりにはブレーキ関連部品が集まっています。部品や配線などを損傷させないように注意して取り除いてください。

ドアの凍結

ドアが凍結したときに無理に開けようとするとドアまわりのゴムがはがれたり，き裂が入るおそれがあります。お湯をかけて氷を溶かしてください。その後すみやかに水分を十分ふき取ってください。

アドバイス

- キー穴部にはお湯をかけないでください。凍結すると，キーが差し込めなくなります。

車に乗る前に

ペダルのすべりや，ウインドウガラスの曇りを防止するため，靴についた雪はよく落としてから乗車してください。

ペダル，ハンドル，ブレーキの効きの確認

- ペダルやハンドルの動きは円滑かどうか確認してください。
- ブレーキ装置に付着した雪や水が凍結し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走り始めの極低速時にブレーキペダルを踏んで，効き具合を確認してください。

雪道，凍結路の走行

J01300300647

暖機運転について

長すぎる暖機運転は，燃料の無駄使いにつながります。
環境保護のためにも暖機運転は 1 分程度を目安として最小限にとどめてください。

雪道や凍結した道路はスリップに注意

- 速度はひかえめにし，タイヤチェーンを後輪に装着，または4輪とも冬用タイヤに交換してください。
- 橋の上，日陰，水たまり，トンネルの出入口付近などは路面が凍結していることがあります。慎重な運転を心がけ，急ブレーキ，急ハンドル，急なアクセル操作は避けてください。

車間距離は十分に

雪道，凍結路は滑りやすいため，ブレーキの効きが悪くなります。走行中は車間距離を十分にとってください。

フェンダー内の雪は早めに取り除く

走行中にはね上げた雪がフェンダー内に着氷しハンドルの切れが悪くなることがあります。氷塊を取り除いてください。

ブレーキの効き具合を確認

雪道走行時にブレーキ装置に着氷し，ブレーキの効きが悪くなることがあります。走行中は前後の車や道路状況に注意し，ときどき軽くブレーキペダルを踏んで効き具合を確認してください。

駐車後の発進は慎重に

ブレーキ装置への着氷により車輪がロックしていることがあります。
車のまわりの安全を十分確認してからゆっくり発進してください。

⚠注意

- 急にアクセルペダルを踏み込まないでください。着氷によるロックが外れたときに急発進し，思わぬ事故につながるおそれがあります。

洗車は早めに

寒冷地では道路に凍結防止剤がまかれていることがあります。さびの原因になりますので早めに洗車してください。特に下まわりを念入りに洗車してください。

寒冷地での駐車

J01300400202

パーキングブレーキが凍結するおそれがあります。パーキングブレーキはかけず，マニュアル車はシフトレバーを❶または Ⓡに，オートマチック車はセレクトレバーをⓅ に入れさらに輪止めをしてください。
また軒下や樹木の下には駐車しないでください。落雪や積雪の重みで車の屋根などがへこむことがあります。

アドバイス

- 車の前方を風下に向けて駐車しておくと，エンジンの冷えすぎを防ぐことができます。
- ワイパーアームを立てておけば，ワイパーブレードがウインドウガラスに凍りつくのを防ぐことができます。
- 輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。
- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

タイヤチェーン

J01300700915

後輪駆動を主とした四輪駆動車ですので，タイヤチェーンは後輪に装着してください。

⚠注意

- タイヤチェーンは前輪に取り付けないでください。

タイヤチェーンは必ず日産純正部品をご使用ください。またタイヤに合ったサイズのものを使用してください。
日産純正部品以外のタイヤチェーンを装着すると，ボデーなどにあたり傷をつけるおそれがあります。詳しくは日産販売会社にご相談ください。
取り付け要領は，タイヤチェーンに添付の取扱説明書をご参照ください。

⚠注意

- 路上でタイヤチェーンをかけるときは，交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所を選びます。また，非常点滅灯や停止表示板（停止表示灯）で後続車に注意を促し同乗者は安全な場所に待機させてください。

アドバイス

- アルミホイールにタイヤチェーンを取り付けるとホイールが傷つくおそれがあります。チェーンや金具がホイールにあたらないように装着してください。
- タイヤチェーンを装着したときは30km/h以下で走行してください。
- 雪道，凍結路以外でのタイヤチェーンの装着はチェーンの寿命を短くしますので，避けてください。

もしものときの処置

13

警告灯が点灯または点滅したときは！

J01400100877

ただちに安全な場所に停車し，最寄りの日産販売会社へ連絡してください。

	充電警告灯	P. 6-9

安全な場所に停車し，まず車を点検してください。点検後も消灯しないときは，最寄りの日産販売会社へ連絡してください。

	ブレーキ警告灯	P. 6-8
	油圧警告灯	P. 6-9
A／T TEMP	A/T油温警告灯	P. 6-10

13

安全な場所に停車し，エンジンを停止してください。
再度エンジンをかけ，その後しばらく走行しても点灯しなければ異常ありません。
消灯しないときやたびたび点灯するときは，できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

ABS	ABS警告灯	P. 7-27

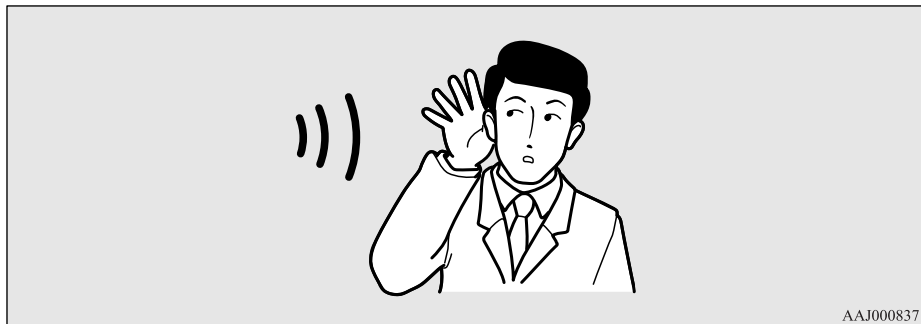
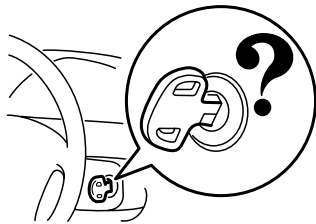
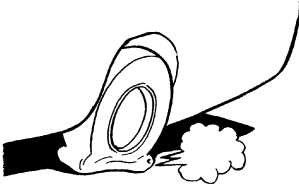
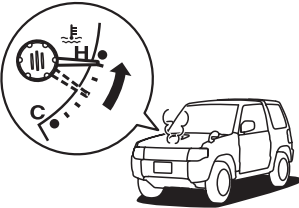
すぐに停車する必要はありませんが，できるだけ早く日産販売会社で点検を受けてください。

	SRSエアバッグ／前席プリテンショナー警告灯	P. 5-21
	エンジン警告灯	P. 6-9
D, 2, L	ATシフトポジションインジケーター（点滅）（オートマチック車）	P. 7-13

参照ページをお読みになり処置してください。

	シートベルト警告灯	P. 5-12
	半ドア警告灯	P. 6-10
	燃料残量警告灯	P. 6-5

こんな音が聞こえたときは!

J01400200650

AAJ000837

現象	処置
運転席ドアを開けたら断続的に音(ピピッ, ピピッ)がする。	「キー抜き忘れ防止機構」→ P. 4-6 キーを抜き忘れています。 エンジンスイッチからキーを抜くと, ブザーは止まります。
運転席ドアを開けたら音(ピー)がする。	「ヘッドランプオートオフ機構(自動消灯)」 → P. 6-11 ライト類を消し忘れています。 ライト類が自動的に消灯し, ブザーは止まります。 (ただし, ライトスイッチをいったん o (OFF) 位置から 位置にするとライトは自動消灯せず, ドアを閉じるまでブザーは鳴り続けます。)
車を後退しようとしたら, 断続的に音(ピーピー)がする。	「マニュアルトランスミッション」→ P. 7-11 「セレクトレバーの位置・働き」→ P. 7-14 シフトレバーまたはセレクトレバーがⓇに入っています。 後退後, レバーの位置を変えればブザーは止まります。
走行中, ブレーキを踏むとタイヤのブレーキ付近から金属摩擦音(キーキー)が鳴る。	「ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは!」 → P. 13-26 ブレーキパッドが使用限度近くまで摩耗しています。 日産販売会社でブレーキパッドを点検してください。

13

現象	処置
●エンジンスイッチをONにしたとき, 音(ピピピッ, ピピピッ)がする。 ●走行中に, 音(ピピピッ, ピピピッ)がする。	「シートベルト警告」→ P. 5-12 運転者にシートベルトの着用を促しています。 シートベルトを着用するとブザーは止まります。

こんなことでお困りのときは!

J01400301401

現象	処置
水たまりに入った後にブレーキの効きが悪い。	前後の車や道路状況に十分注意して低速で走行しながらブレーキの効きが回復するまで数回ブレーキペダルを軽く踏み, ブレーキを乾かしてください。 「雨天時や水たまりを走行するときは」→ P. 2-11
走行中にエンストした。	通常よりブレーキペダルを強く踏み続けてください。 「万一, 走行中にエンストしたときは」→ P. 2-13
キーが回らない。	**LOCKからACCに回らない** ハンドルを軽く左右に動かしながらキーを回してください。 **ACCからLOCKに回らない** 〔オートマチック車〕 セレクトレバーがⓅに入っているか確認してください。 〔マニュアル車〕 ACCの位置でキーを押しながら, LOCKまで回してください。 「キーを抜くときは」→ P. 7-8
セレクトレバーがⓅから動かない。(オートマチック車)	ブレーキペダルを踏んでからセレクトレバーを操作してください。エンジンスイッチが ON になっているか確認してください。 「セレクトレバーの動かし方」→ P. 7-12
雨の日, 湿気の多い日などに窓が曇る。	外気導入になっているか確認してください。 エアコンを入れると効果的です。 「ウインドウガラスの曇り, 霜を取りたいときは」→ P. 9-10

現象	処置
パンクした。	1. あわてずに, ハンドルをしっかり持ち, 安全な場所に車を停止します。 2. スペアタイヤに交換します。 「タイヤ交換のしかた」→ P. 13-16
エンジンがかからない。 ライトが点灯しない, 暗い。 ホーンが鳴らない, 音が小さい。	バッテリー上がりが考えられます。 「バッテリー上がりのときは!」→ P. 13-20
水温計の針が「H」表示部に近づいていたり, エンジンの出力が急に低下する。 エンジンルームから蒸気が出ている。	オーバーヒートが考えられます。 「オーバーヒートしたときは!」→ P. 13-22

現象	処置
タイヤがスリップして発進できない。 (ぬかるみ, 雪道, 凍結路などの発進時)	スリップしているタイヤの前後にある土や雪などを取り除きます。 ● 1. 毛布か布などがあるときは, それをスリップしているタイヤの前に差し入れて滑り止めにします。 2. トランスファーシフトレバーを「4H」または「4L」に切り換えます。 3. ゆっくりとアクセルペダルを踏んで発進します。 ● 何も滑り止めにするものがないときは, 前後進をくり返して車の反動を利用して脱出します。

⚠注意

- 車の反動を利用して脱出するときは, 車の周囲に人がいないことを確認してから行ってください。
- ぬかるみなどにはまったときは，むやみにタイヤを空転させないでください。タイヤがもぐり込み，かえって脱出しにくくなります。また，エンジンの高回転を続けるとオーバーヒートやトランスミッションの故障につながるおそれがあります。数回試して脱出できないときは，専門業者に依頼してください。

現象	処置
オートマチックトランスミッションが変速しない。 発進時の出足が鈍い。	オートマチックトランスミッションに異常が発生し, 安全装置が働いていると考えられます。 そのままお近くの日産販売会社まで運転し, 点検を受けてください。 発進しにくいときは❷に入れて発進し, その後はⒹに戻して走行してください。 (故障の内容によってはこの方法でも効果がない場合もあります。)

13

故障したときは！

J01400400711

故障して動けなくなったときは，同乗者または付近の人に応援を求め，安全な場所まで車を押して移動します。
このとき，シフトレバー（セレクトレバー）をⓃに入れてください。

踏切内で動けなくなったときは

踏切内で脱輪やエンストなどで，すぐに車を動かせないときは，すみやかに同乗者を避難させ，踏切の非常ボタンを押します。

⚠注意

- 電車が近づいているときや，緊急を要するときは，発炎筒で合図してください。

アドバイス

- マニュアル車，オートマチック車ともエンジンスイッチをSTARTの位置で保持して緊急避難的に車を動かすことはできません。

一般道路での故障表示

追突などの事故を防ぐため，車を路肩に寄せ，非常点滅灯を点滅させるか，停止表示板（停止表示灯）などで故障表示します。

高速道路，自動車専用道路での故障表示

高速道路や自動車専用道路では，車両後方に停止表示板（停止表示灯）を置くことが義務づけられています。
人は車内に残らず，路肩を歩いて安全な場所に避難してください。

アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯）は標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

修理の連絡先

別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。

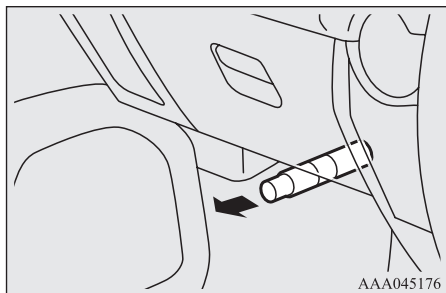
13

発炎筒を使うときは！

J01400500350

発炎筒は，高速道路や踏切などで故障したときに使用します。
使用したときや期限切れのときは，日産販売会社などでお買い求めください。
発炎筒は，助手席足元に備えつけてあります。

AAA045176

⚠警告

- お子さまには，発炎筒をいじらせないでください。
- 人の顔や体に向けて絶対に使用しないでください。やけどをするおそれがあります。
- ガソリンなど燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
  火災をまねくおそれがあります。
- トンネル内では使用しないでください。煙により視界が悪くなり，重大な事故につながるおそれがあります。非常点滅灯など他の方法を用いてください。

アドバイス

- 使い方は発炎筒に記載されています。あらかじめよく読んでおいてください。
- 発炎時間は約5分です。非常点滅灯など他の方法を併用してください。
  →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-14
- 発炎筒には有効期限（発炎筒に記載）があります。

工具とジャッキ

J01400600670

⚠注意

- ジャッキは，タイヤ交換とタイヤチェーンの取り付け以外の目的には使用しないでください。
- 車両に搭載されているジャッキは，お客さまのお車専用です。他の車両に使用したり，他の車両のジャッキをお客さまのお車に使用しないでください。
  車両を損傷したり，思わぬ事故につながるおそれがあります。

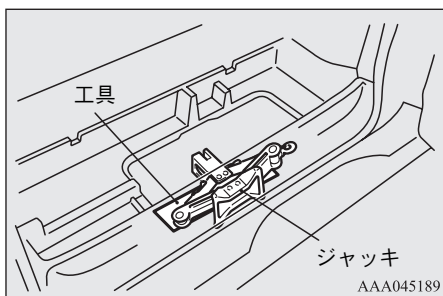
アドバイス

- 工具の種類，ジャッキの使い方は，万一のとき困らないようあらかじめ確認しておきましょう。

格納場所

J01405800169

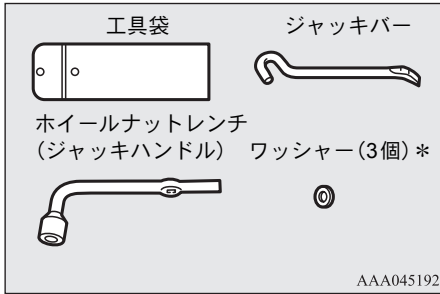
ラゲッジルームに格納されています。

AAA045189

⚠注意

- 工具やジャッキを使用した後は，元の位置に確実に格納してください。
  室内などに放置すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

13

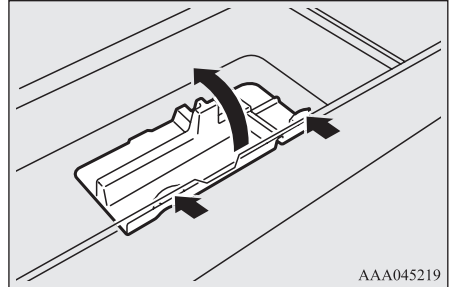
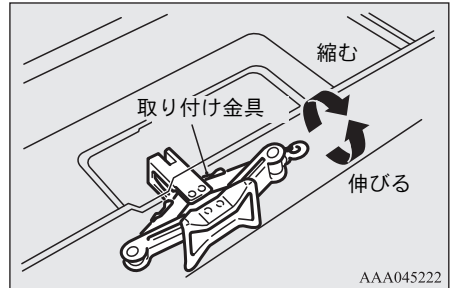
工具の種類

J01404300444

＊：スペアタイヤハンガーにアルミホイールを取り付ける際に使用します。
→「タイヤ交換のしかた」P. 13-16

ジャッキの脱着

J01404200645

◆ 取り出すときは

1. ラゲッジアンダートレイ内のリッドを前方に押して引き上げます。

2. ジャッキを縮めて取り付け金具から取り外します

◆ 格納するときは

1. ジャッキを縮めてから元の位置に戻します。
2. ジャッキを伸ばして取り付け金具に固定します。
3. ラゲッジアンダートレイ内のリッドを元の位置に戻します。

アドバイス

- ジャッキを取り付けるときは，ジャッキのフックを車体側の取り付け金具に引っかかるように取り付けてください。

13

ジャッキアップのしかた

J01400701434

⚠警告

- ジャッキアップしたら車の下には絶対にもぐらないでください。万一ジャッキが外れたとき，重大な傷害を受けるおそれがあります。

⚠注意

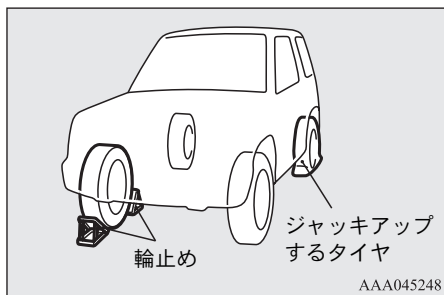
- ジャッキアップするときは安全のため，つぎのことを必ず守ってください。万一の場合，ジャッキが外れ思わぬ事故につながるおそれがあります。
  - エンジンをかけたままにしない。
  - 人や荷物を乗せたままにしない。
  - 地面が平坦で固い場所以外では使用しない。
  - 凍結した路面では使用しない。
  - ジャッキの上や下に物を挟まない。
  - ジャッキアップ中に車をゆすらない。
  - ジャッキアップしたタイヤを回転させない。
  - ジャッキアップしたまま放置しない。

1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーをⓇに入れます。
   オートマチック車はセレクトレバーをⓅに入れて，エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板（停止表示灯）を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯），輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

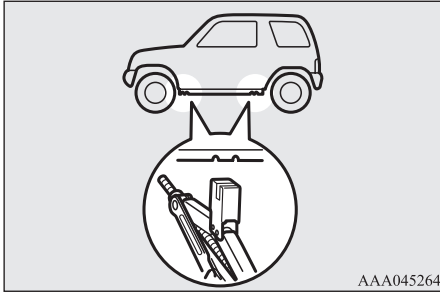
⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

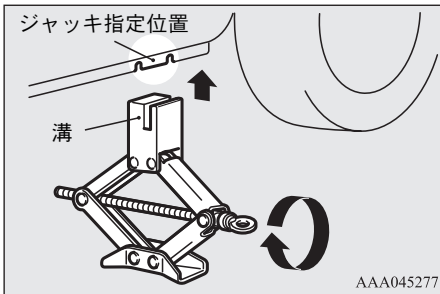
6. 工具とジャッキを取り出します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-10

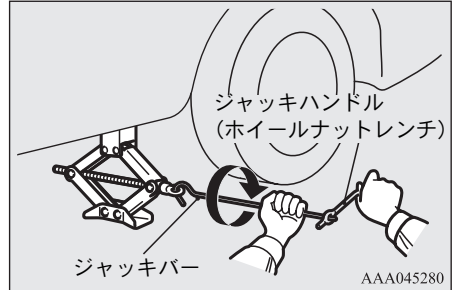
7. ジャッキアップするタイヤに近い指定位置にジャッキをセットします。

AAA045264

8. ジャッキ頭部の溝がジャッキ指定位置にはまるまで，ジャッキを手で右に回して上げます。

AAA045277

⚠警告

- ジャッキ頭部の溝は，指定された位置以外にかけないでください。指定された位置以外にかけると，車体がへこんだり，ジャッキが倒れて，重大な傷害を受けるおそれがあります。

9. ジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）の穴にジャッキバーを差し込み，タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキハンドル（ホイールナットレンチ）を右に回します。

AAA045280

⚠注意

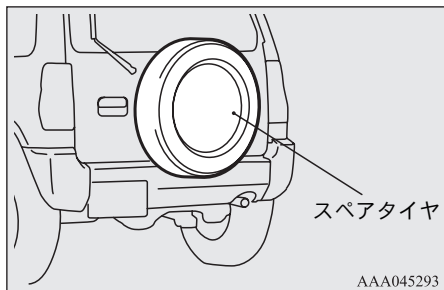
- 地面からタイヤが少し離れた高さ以上にジャッキアップしないでください。必要以上にジャッキアップすると，思わぬ事故につながるおそれがあります。

13

スペアタイヤ

J01400801031

格納場所

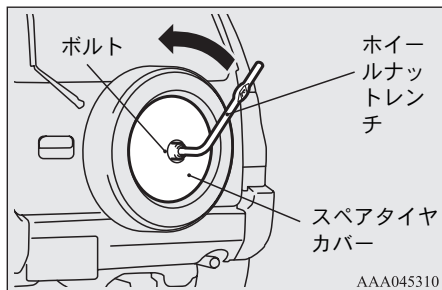
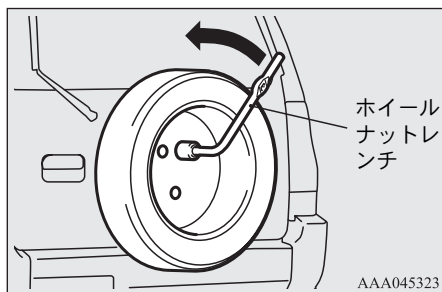
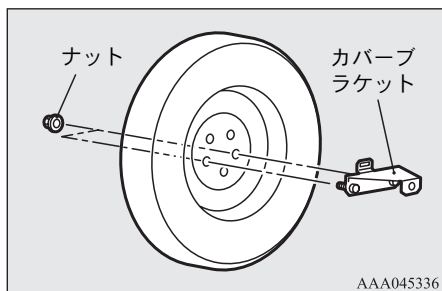
スペアタイヤは，バックドアに取り付けてあります。

⚠注意

- タイヤを降ろすときおよび取り付けるときは，タイヤをしっかりと持ってください。
- ホイールの穴などに手をかけると，エッジでけがをするおそれがありますので手袋などをご使用ください。
- ボルトやナットをゆるめたり締め付けたりするときは，ホイールナットレンチとホイールの間に指を挟まないように注意してください。
- スペアタイヤの空気圧は，定期的に点検してください。空気圧が不足している状態で走行すると，思わぬ事故につながるおそれがあります。空気圧が不足している場合は，最寄りの日産販売会社またはガソリンスタンドまで控えめな速度で走行し，指定の空気圧に調整してください。
→「タイヤの空気圧」P. 14-9

アドバイス

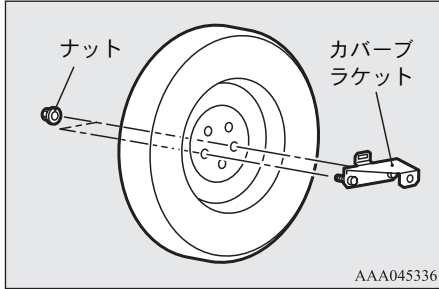
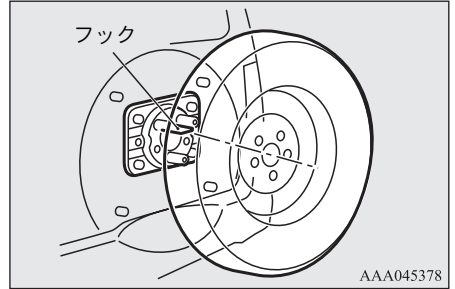
- スペアタイヤに足をかけないでください。

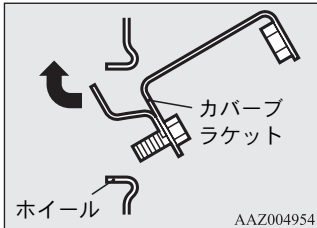
取り外すときは

1. スペアタイヤカバーをホイールナットレンチでボルトをゆるめて取り外します。

2. ホイールナットレンチでボルトをゆるめて外し，スペアタイヤを取り外します。

3. カバーブラケットをホイールナットレンチでナットをゆるめて取り外します。

取り付けるときは

1. スペアタイヤの裏側にカバーブラケットをセットし，表側からホイールナットレンチでナットを確実に締め付けます。

アドバイス

● カバーブラケットを取り付けるときは，先端を先に差し込んでから取り付けます。

2. スペアタイヤを裏側にし，スペアタイヤハンガーのフックにかけます。

3. スペアタイヤを上へ持ち上げながら，ホイールの穴とスペアタイヤハンガーの位置を合わせ，ホイールナットレンチでボルトを確実に締め付けます。

締め付けトルク： 32~48N•m
(3.3~4.9kgf•m)
(車載のホイールナットレンチの先端で130~180N {13~18kgf}の力)

⚠注意

● タイヤを取り付けるときは，足の上などに落とさないように注意して作業してください。

4. スペアタイヤカバーを取り外すときと逆の手順で取り付けます。
   ボルトは確実に締め付けてください。

タイヤ交換のしかた

J01400901524

タイヤを取り外すときは

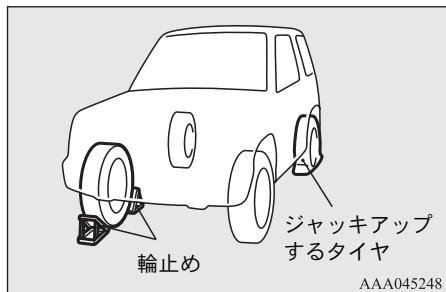
1. 交通のじゃまにならず，安全に作業できる平らで硬い場所に車を止めます。
2. パーキングブレーキを確実にかけます。
3. マニュアル車はエンジンを止めて，シフトレバーを🅡に入れます。
   オートマチック車はセレクトレバーを🅟に入れて，エンジンを止めます。
4. 必要に応じて非常点滅灯を点滅させ，人や荷物を車から降ろし，停止表示板（停止表示灯）を車両後方に置きます。

アドバイス

- 停止表示板（停止表示灯），輪止めは標準で搭載されておりませんので必要に応じて準備してください。

5. ジャッキアップするタイヤと対角の位置にあるタイヤの前後に輪止めをします。

AAA045248

⚠注意

- ジャッキアップするときは，必ず輪止めを使用してください。
  万一，ジャッキアップ中に車両が動いたとき，ジャッキが外れ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

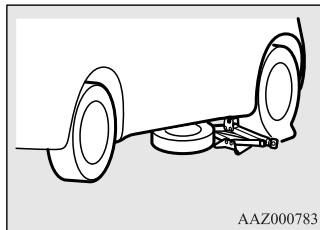
アドバイス

- 輪止めがないときは，タイヤを固定できる大きさの石などで代用できます。

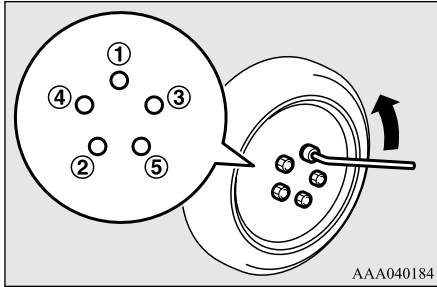
6. 工具，ジャッキを取り出し，スペアタイヤを取り外します。
   →「工具とジャッキ」P. 13-10
   →「スペアタイヤ」P. 13-14

アドバイス

- 取り外したスペアタイヤは，万一ジャッキが外れたときのため，ジャッキ近くの車体の下に置いてください。

AAZ000783

7. アルミホイール付き車は，センターキャップを取り外します。
   →「センターキャップ」P. 13-19
8. ジャッキアップするタイヤに近い指定箇所にジャッキをセットします。
   →「ジャッキアップのしかた」P. 13-12

9. ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に，手で回るくらいまで左に回してゆるめます。

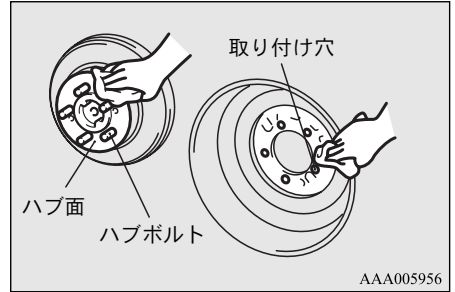
AAA040184

10. タイヤが地面から少し浮くまで静かにジャッキアップします。
11. ホイールナットを外し，タイヤを取り外します。

アドバイス

- タイヤを地面に置くときは，ホイール表面を上にして置いてください。
  下にして置くと，ホイールに傷がつくおそれがあります。

タイヤを取り付けるときは

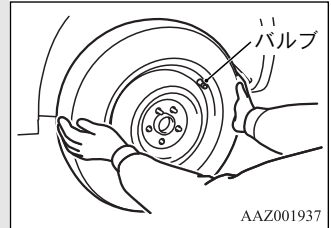
1. ハブ面，ハブボルトおよびホイール取り付け穴の汚れをきれいに取り除きます。

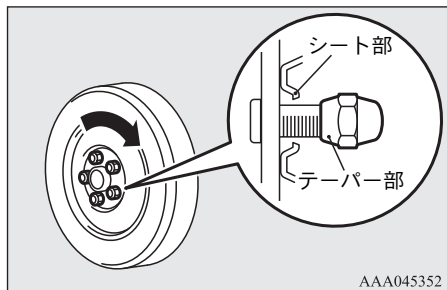
AAA005956

2. タイヤを取り付けます。

⚠警告

- **タイヤを取り付けるときは，タイヤの裏表に注意し，バルブが車体外側を向くように取り付けてください。取り付けた際，バルブが見えなければ，タイヤが裏向きに取り付けられています。**
  タイヤの裏表を間違えて取り付けると，車両に悪影響をおよぼし，思わぬ事故につながるおそれがあります。

AAZ001937

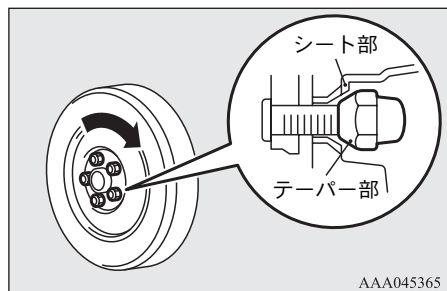
13

3. 手でホイールナットを右へ回して仮締めします。
ホイールナットのテーパー部がホイール穴のシート部に軽く当たり，タイヤががたつかない程度までホイールナットを仮締めします。

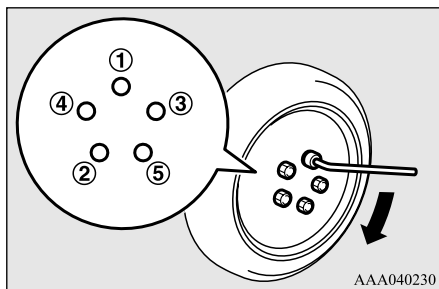
スチールホイール付き車

AAA045352

アルミホイール付き車

AAA045365

⚠注意

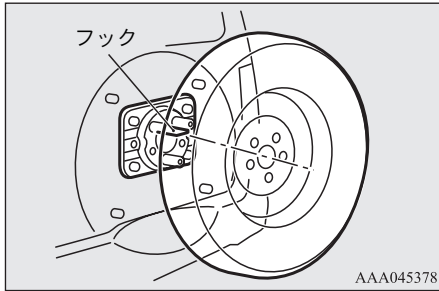
- ハブボルト，ホイールナットには油やグリースを塗らないでください。
必要以上に締め付けられてボルトが破損したり，ホイールが損傷するおそれがあります。また，ナットがゆるんで走行中にタイヤが外れるなど，思わぬ事故につながるおそれがあります。

4. タイヤが地面に接するまでジャッキを降ろし，ホイールナットレンチを使用して，ホイールナットを番号順に2~3回に分けて, 徐々に締め付けます。
最後の締め付けは，確実に行ってください。

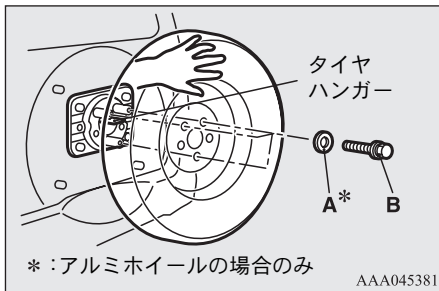
締め付けトルク： 88~108N•m
{9~11kgf•m}
（車載のホイールナットレンチの先端で350~420N {35~42kgf}の力）

AAA040230

⚠注意

- ホイールナットを締め付けるときは，ホイールナットレンチを足で踏んだり，パイプなどを使用して必要以上に締め付けないでください。

5. アルミホイール付き車は，センターキャップを取り付けます。
→「センターキャップ」P. 13-19
6. タイヤの空気圧を点検します。
→「タイヤの空気圧」P. 14-9

7. 交換したタイヤを裏側にし，スペアタイヤハンガーのフックにかけます。

8. 交換したタイヤを上へ持ち上げながら，ホイールの穴とスペアタイヤハンガーの位置を合わせ，ワッシャー (A) とボルト(B)を取り付け，ホイールナットレンチで確実に締め付けます。

締め付けトルク： 32~48N•m {3.3~4.9kgf•m}
(車載のホイールナットレンチの先端で 130~180N {13~18kgf}の力)

⚠注意

- アルミホイールを装着する場合は，工具袋の中にあるワッシャーを使用してください。

9. 工具，ジャッキを元の位置へ戻します。
→「格納場所」P. 13-10

⚠注意

- タイヤ交換後，走行中にハンドルや車体に振動がでたときは，日産販売会社でタイヤバランスの点検を受けてください。
- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。

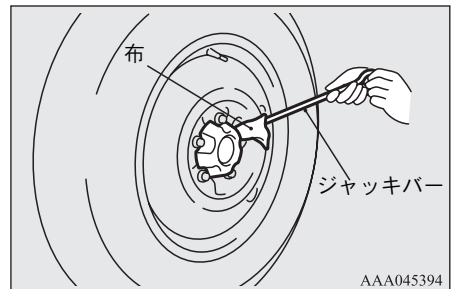
アドバイス

- タイヤ交換したときは，約 1,000km 走行後，再度ホイールナットを締め付けて，ゆるみがないことを点検してください。

センターキャップ

J01402900039

◆ 取り外すときは

工具袋の中のジャッキバーの先に布をかぶせてホイールとセンターキャップの間に差し込み，こじてセンターキャップを取り外します。

◆ 取り付けるときは

センターキャップを手でたたき取り付けます。

バッテリー上がりのときは！

J01401001128

つぎのような状態をバッテリー上がりといいます。

- スターターが回らない。または，回っても回転が弱くてエンジンがかからない。
- ライトが点灯しない。または，点灯してもいつもより暗い。
- ホーンが鳴らない。または，鳴ってもいつもより音が小さい。

AAA006908

ブースターケーブル（別売）を使用し，他車のバッテリーを電源として，エンジンをかけることができます。

⚠警告

- **救援車を依頼し，ブースターケーブルを使用してエンジンをかけるときは，取扱説明書に従って正しい手順で作業してください。取り扱いを誤ると，引火爆発や車両損傷のおそれがあります。**

アドバイス

- ブースターケーブルは，日産販売会社などでお買い求めください。

1. ブースターケーブルが接続でき，かつ自車と接触しない位置に救援車を止めます。

⚠注意

- 救援車は必ず12Vで，自車と同容量以上のバッテリーを装着している車を使用してください。

2. ライトやエアコンなど電装品のスイッチを切ります。
3. 救援車と自車のパーキングブレーキを確実にかけ，マニュアル車はシフトレバーを**Ⓝ**，オートマチック車はセレクトレバーを**Ⓟ**に入れ，エンジンスイッチをLOCKまで回してエンジンを止めます。

⚠警告

- **ブースターケーブルの接続時は，救援車のエンジンも止めてください。ケーブルや衣服などがファンやドライブベルトに巻き込まれて，けがをするおそれがあります。**
- **冷却ファンはエンジン始動後，冷却水の温度により回転，停止をくり返します。エンジン運転中は，ファンに手を近づけないでください。**

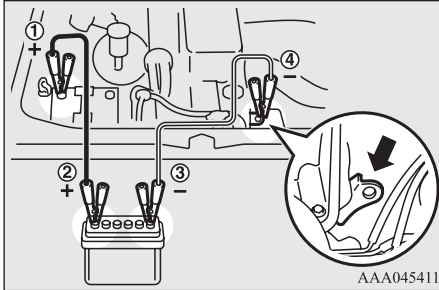
4. バッテリー液量を確認します。

⚠警告

- **バッテリー液量が下限（LOWER LEVEL）以下のままで使用しないでください。バッテリーの劣化を早めたり，発熱や爆発するおそれがあります。**

アドバイス

- バッテリー液の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

5. ブースターケーブルを図の番号順に確実に接続します。
   ①自車のバッテリーの＋端子
   ②救援車のバッテリーの＋端子
   ③救援車のバッテリーの－端子
   ④図で指示の箇所（アースをとる）

⚠警告

- 接続する順番は必ず①→②→③→④の順番で行ってください。
- ④の接続は必ずイラスト矢印の位置にしてください。バッテリーの―端子に直接つなぐと，バッテリーから発生する可燃性ガスに引火爆発するおそれがあります。
- ブースターケーブルを接続するときは，＋と―端子を接触させないでください。火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

- ブースターケーブルのクリップは，確実に接続してください。エンジン始動時の振動で外れると，ケーブルがファンやドライブベルトに巻き込まれ，思わぬ事故につながるおそれがあります。

アドバイス

- バッテリーの＋端子は，カバーを外してからブースターケーブルを接続してください。

アドバイス

- ブースターケーブルは，バッテリーの容量に適したものを使用してください。ケーブル焼損の原因になることがあります。
- ブースターケーブルに破損および腐食などの異常がないことを点検してから使用してください。

6. 接続した後，救援車のエンジンをかけ，エンジン回転数を少し上げます。
7. 自車のエンジンをかけます。
8. エンジンがかかったら，ブースターケーブルを接続したときと逆の手順で取り外します。
9. 最寄りのガソリンスタンドや日産販売会社でバッテリーの点検を受けてください。

⚠警告

- バッテリーを車両に搭載したままでの充電は，引火爆発や車両損傷の原因になることがあります。やむを得ず車両に搭載したままで充電するときは，バッテリーに接続されている車両側の－端子を取り外してください。
- 充電中はバッテリーに火気を近づけないでください。バッテリーからは可燃性ガスが発生しており，爆発するおそれがあります。
- 周囲の囲まれた狭い場所でバッテリーを充電するときは，換気を十分に行ってください。
- 充電するときは，すべてのキャップを外してください。
- バッテリー液は希硫酸です。皮膚についたり，目に入るとやけどや失明の原因になります。すぐに多量の水で洗い，速やかに専門医の治療を受けてください。

⚠注意

- 押しがけやけん引により，エンジンをかけることは行わないでください。
  特にオートマチック車は，マニュアル車と構造が異なるため，この方法ではエンジンはかかりません。

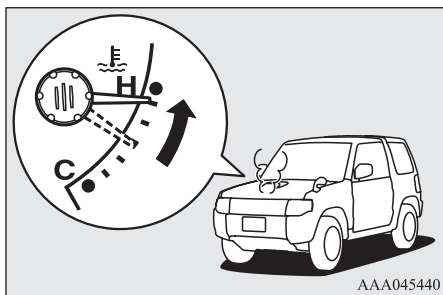
アドバイス

- 充電が不十分のまま車を発進させると，エンジンの回転むらが生じ，ABS 警告灯が点灯することがあります。
  →「走行中に警告灯が点灯したときは」P. 7-27

オーバーヒートしたときは！

J01401101002

つぎのような状態をオーバーヒートといいます。

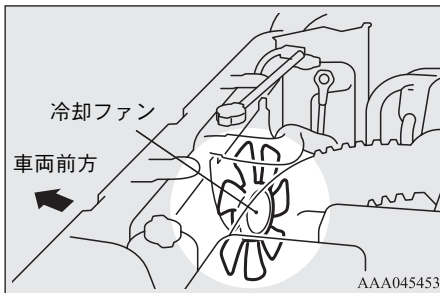
- 水温計の指針が「H」表示部に近づいたり，エンジンの出力が急に低下する。
- エンジンルームから蒸気が出ている。

1. 車を安全な場所に止めます。
2. エンジンルームから蒸気が出ていないかどうかを確認します。

[蒸気が出ていないとき]
エンジンをかけたままでエンジンフード（ボンネット）を開け，風通しをよくします。

[蒸気が出ているとき]
エンジンを止め，蒸気が出なくなったら，風通しをよくするためにエンジンフード（ボンネット）を開け，エンジンをかけます。

⚠警告

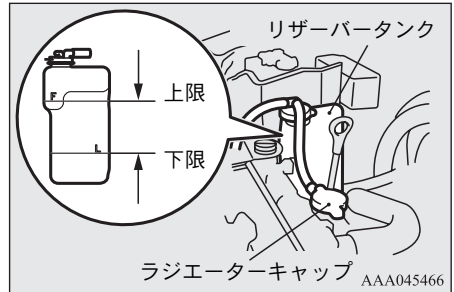
● エンジンルームから蒸気が出ているときは，エンジンフード（ボンネット）を開けないでください。蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。蒸気が出ていないときでも，熱湯が噴き出していたり，高温になっている部分がありますので，エンジンフード（ボンネット）を開けるときは注意してください。

3. 冷却ファンが作動していることを確認してください。

⚠警告

● 冷却ファンに，手や衣服などを巻き込まれないように注意してください。

アドバイス

● ファンが作動していないときは，エンジンを止めて自然冷却します。その後，すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

4. 水温計の指針が下がってきたら，エンジンを止めます。
5. エンジンが十分冷えてから冷却水の有無を点検します。

⚠警告

● 通常はラジエーターキャップを外さないでください。
冷却水には圧力がかかっているため，冷却水の温度が高いときにキャップを外すと，蒸気や熱湯が噴き出し，やけどをするおそれがあります。

アドバイス

● 冷却水の補給は別冊の「メンテナンスノート」をお読みください。

けん引

J01401201029

けん引はできるだけ専門業者に依頼してください。
つぎの場合は，日産販売会社にご連絡ください。

- エンジンが回っているのに車が動かない。または異音がする。
- 下まわりを点検し，オイルなどが漏れている。

また，車輪が溝などにおちたときは無理にけん引せず，日産販売会社または専門業者に依頼してください。

レッカー車に搬送してもらうとき

⚠注意

- 必ず2WD（後輪駆動）に切り換えてけん引してください。また，4WD（4 輪駆動）のまま前輪または後輪だけを持ち上げたけん引はしないでください。駆動装置が損傷したり，車がレッカー（台車）から飛び出すおそれがあります。
2WD（後輪駆動）に切り換わらないときや，駆動系部品が故障したと思われるとき(車輪が動かない，異音がするなど)は，必ず4輪を持ち上げてけん引してください。
- オートマチック車で，駆動輪（後輪）を接地してけん引するときの速度は30km/h 以下，けん引する距離は 30km以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

アドバイス

- レッカー車による搬送は，別冊の「メンテナンスノート」を見て日産販売会社へ依頼してください。

やむを得ず他車にロープでけん引してもらうときは，つぎの要領で行ってください。

他車にけん引してもらうとき

J01403901033

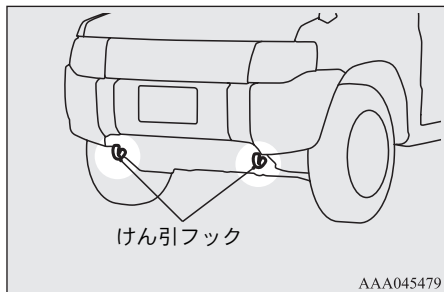
⚠注意

- けん引ロープは必ずけん引フックにかけてください。

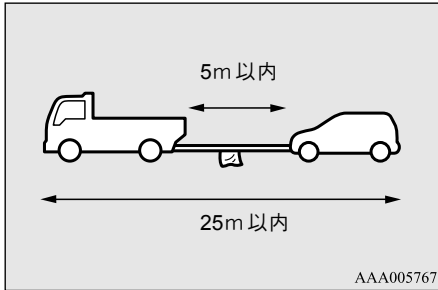
アドバイス

- ワイヤーロープや金属製のチェーンなどを使用すると，車体を傷つけるおそれがあります。ソフトロープを使用するか，車体にあたる部分のチェーンに布をまくなどしてけん引してください。
- けん引ロープは日産販売会社などでお買い求めください。
- けん引ロープは水平にしてけん引してください。水平でない位置にかけると，車体を傷つけるおそれがあります。

前方へけん引してもらうとき

1. けん引ロープをけん引フックにかけます。

アドバイス

- けん引ロープはできるだけ同じ側のフックにかけて斜めけん引とならないようにしてください。

2. けん引ロープには，30cm 平方（タテ 30cm ×ヨコ 30cm）以上の白い布を必ずつけてください。

3. エンジンはできるだけかけておいてください。
   エンジンがかからないときは，エンジンスイッチを ACC または ON にします。

⚠警告

● エンジンが止まっているとブレーキの効きが非常に悪くなります。またハンドル操作が非常に重くなります。

⚠注意

● エンジンスイッチが LOCK 位置にあると，ハンドルがロックされハンドル操作ができなくなり，事故につながるおそれがあります。

4. シフトレバー（セレクトレバー）をⓃに入れます。
5. トランスファーシフトレバーを「2H」に切り換えます。
   →「トランスファーシフトレバー」P. 7-19
6. 後続車に注意をうながすため，けん引される車は非常点滅灯を点滅させます。
   →「非常点滅灯スイッチ」P. 6-14

⚠警告

● けん引される車のエアコンは，内気循環に切り換えてください。排気ガスが車内に侵入して，ガス中毒になるおそれがあります。
● 急ブレーキ，急発進，急旋回など，けん引フックやけん引ロープに大きな衝撃が加わるような運転は避けてください。けん引フックやけん引ロープが破損するおそれがあります。万一の場合，その破片が周囲の人などにあたり重大な傷害をおよぼすおそれがあります。
● 長い下り坂ではブレーキが過熱して，効きが悪くなるおそれがあります。レッカー車に搬送してもらってください。

⚠注意

● けん引される車は，けん引車のブレーキランプに注意して，常にけん引ロープをたるませないようにしてください。
● オートマチック車をけん引するときの速度は30 km/h以下，けん引する距離は30km 以内にしてください。この速度，距離を超えるとトランスミッションの故障の原因になります。

後方へけん引してもらうとき

救助などで一時的に後方へけん引してもらうときは，車両番号標（ナンバープレート）を取り外してけん引フックを使用してください。
けん引後は，必ず車両番号標（ナンバープレート）を取り付けてください。

⚠注意

- タイダウンフックは，車両を輸送するときに使用するものです。けん引には使用しないでください。けん引フック以外にけん引ロープをかけると，車体が破損するおそれがあります。

他車のけん引

J01404100413

この車で他車をけん引することはできません。

アドバイス

- 他車をけん引すると，車両が破損するおそれがあります。

ブレーキから金属摩擦音が聞こえたときは！

J01401300342

ディスクブレーキには，ブレーキパッドの摩耗量が使用限度近くになると走行中に金属摩擦音（キーキー）を発生して警告する装置が設けてあります。

アドバイス

- 金属摩擦音が聞こえたときは，日産販売会社でブレーキパッドを点検してください。

バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは！

J01401400271

エンジン回転数が不安定になったときは，つぎの方法でエンジンの初期調整操作を行ってください。

1. 安全な場所に車を止めます。
2. オートマチック車はセレクトレバーをⓅに，マニュアル車はシフトレバーをⓃに入れて，エンジンを止めます。
3. 再度，エンジンを始動します。
4. エアコンのすべての作動を停止します。
5. 水温計の中間近くで指針が安定するまで暖機運転します。
6. エンジンを一旦停止し，再度エンジンを始動します。
7. 約10分間アイドリングします。
8. エンジン回転数が安定すれば初期調整操作は終了です。

アドバイス

- エンジンの初期調整操作を行ってもエンジン回転数が安定しないときは，日産販売会社で点検を受けてください。

ヒューズが切れたときは！

J01401500953

各種のランプが点灯しないときや，電気系統の装備が作動しないときは，ヒューズが切れているときがありますのでヒューズを点検し，切れているときは交換してください。

アドバイス

- 予備ヒューズは装備されておりません。日産販売会社などでお買い求めください。

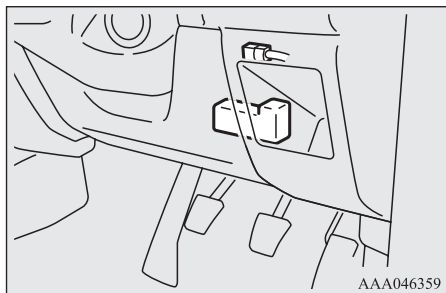
13

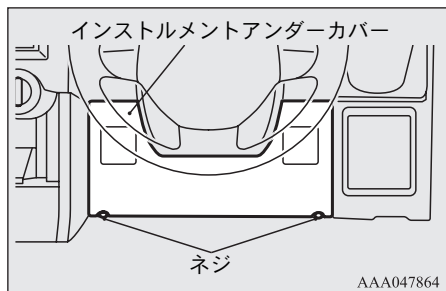
ヒューズボックスの位置

J01407500056

◆ 運転席足元

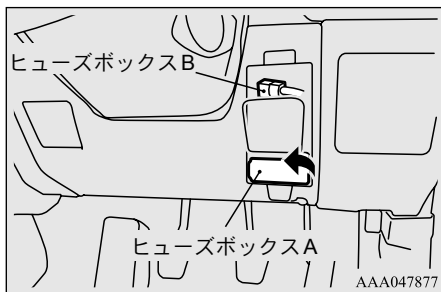
ヒューズボックスは図のように運転席足元に取り付けられています。

AAA046359

1. ネジ（2 本）を取り，手前に引いてインストルメントアンダーカバーを取り外します。

AAA047864

アドバイス

● インストルメントアンダーカバーにスイッチが付いている場合は，ツメを押しながらスイッチのコネクターを引き抜きます。

2. ヒューズボックスAはカバーを取り外します。
ヒューズボックスBはカバーを開けます

AAA047877

3. ヒューズを点検，交換したあと，ヒューズボックスのカバーとインストルメントアンダーカバーを戻すときは，逆の手順で取り付けます。

13

◆ エンジンルーム内

ツメを押し，ロックを外してカバーを取り外します。

AAE002487

ヒューズの交換

J01407600129

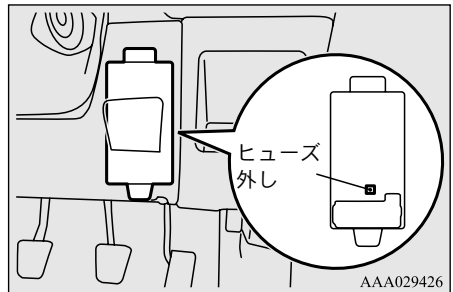
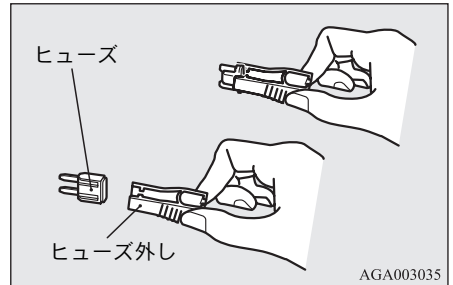
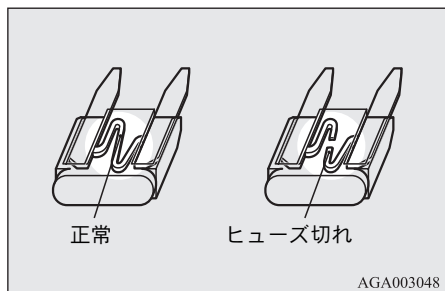
1. エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当する装備を受け持つヒューズおよび容量を確認します。
   →「各ヒューズの受け持つ装備および容量」P. 13-30

アドバイス

- 各ヒューズの受け持つ装備および容量は，ヒューズボックスのふたに記載してあります。

3. ヒューズ外しを使用してヒューズを引き抜きます。ヒューズ外しは，運転席足元のヒューズボックスの上にあります。

AGA003035

AAA029426

4. ヒューズを点検し，切れているときは同じ容量のヒューズと交換します。

⚠警告

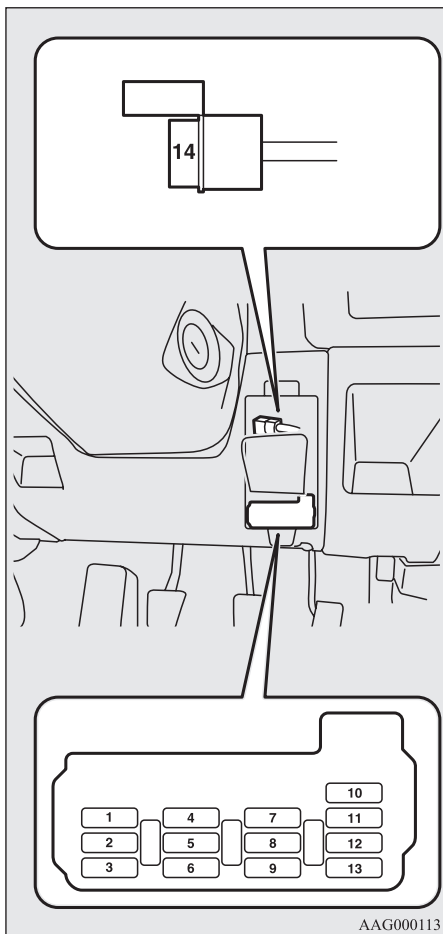
- 取り付けてあるヒューズと同じ容量のヒューズを使用してください。針金，銀紙などを使用すると，電線の過熱により火災のおそれがあります。

アドバイス

- ヒューズを交換しても再び切れるときは，日産販売会社で点検を受けてください。
- ヒューズが正常で該当する装備が作動しないときは，他の原因が考えられます。すみやかに日産販売会社で点検を受けてください。

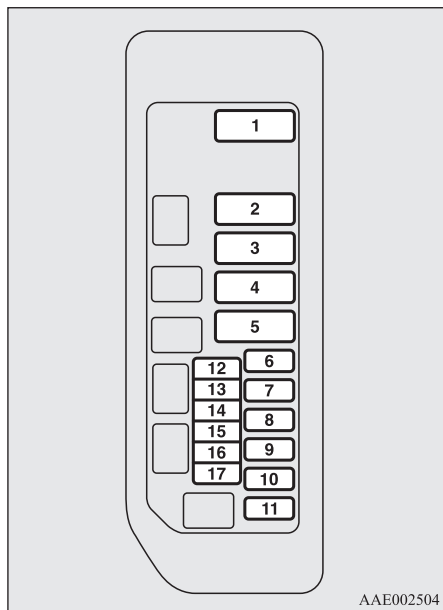
各ヒューズの受け持つ装備および容量

J01403701220

◆ 運転席足元

NO.	表示	装備	容量
1		ドアロック	15A
2		エレクトロニック コントロール ユニット	10A
3		ワイパー	15A
4		ヒーター	20A
5	—	—	—
6		デフォッガー	20A
7		電源ソケット	15A
8		後退灯(バック アップランプ)	10A
9		尾灯 (テールランプ)	10A
10		室内灯 (ルームランプ)	7.5A
11		コントロール ユニットリレー	10A
12		ラジオ	10A
13		メーター	10A
14	—	ヒーター付 ドアミラー	10A

● 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。

● 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

◆ エンジンルーム内

NO.	表示	装備	容量
1	(ABS)	ABS	60A
2		イグニッション スイッチ	40A
3		バッテリー	40A
4		ラジエーター ファンモーター	30A
5		パワーウインドウ	40A
6		フロント フォグランプ	15A
7		エアコン コンプレッサー	15A
8		非常点滅灯	10A
9		エンジン コントロール	20A
10	STOP	制動灯 (ストップランプ)	15A
11		室内灯 (ルームランプ)	10A
12		ホーン	15A
13		ヘッドライト (下向き)(左)	10A
14		ヘッドライト (下向き)(右)	10A
15		ヘッドライト (上向き)(左)	10A
16		ヘッドライト (上向き)(右)	10A
17		ホーン	10A

- 装備仕様の違いにより，ヒューズはない場合もあります。
- 上記の表は，各ヒューズの受け持つ主な装備を表しています。

バルブ（電球）が切れたときは！

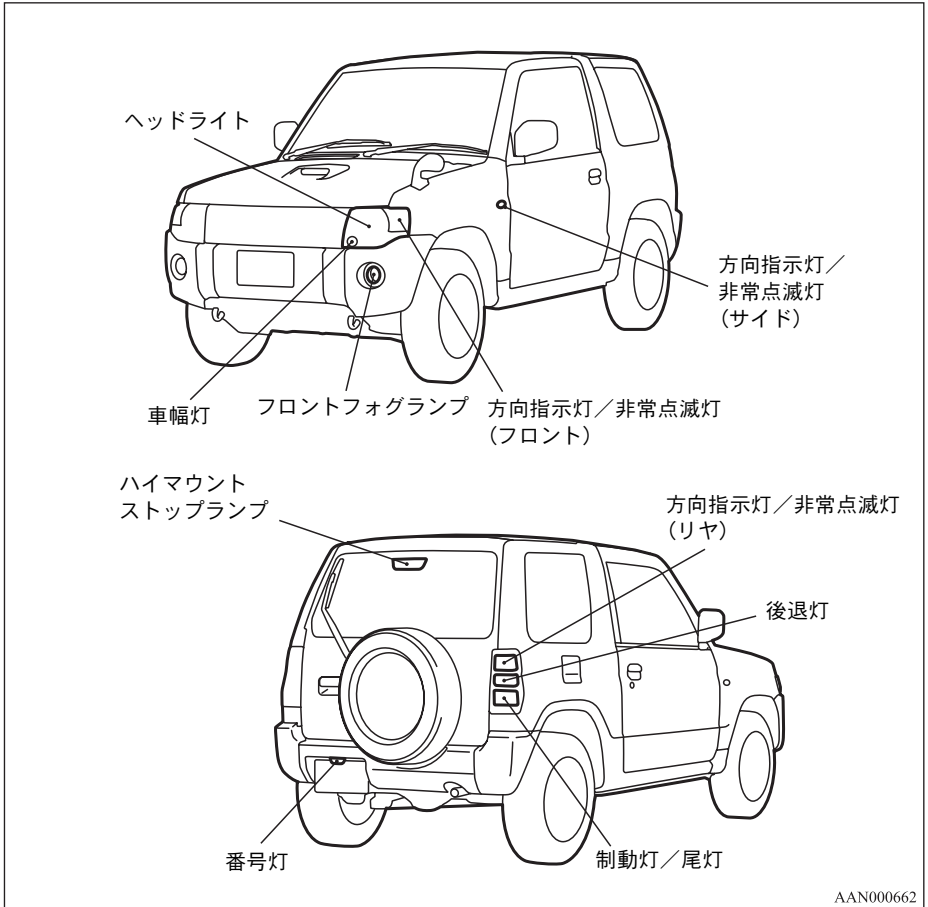
J01401600882

ヒューズが切れていないのにランプが点灯しないときは，バルブ（電球）が切れているときがあります。バルブを点検し，切れているときは交換してください。

バルブ（電球）のワット数

J01406200056

◆ 車外照明

J01406800326

項目		ワット数(型式)
ヘッドライト	ハイビーム／ロービーム〔ハロゲン球〕	60/55W (H4)
車幅灯		5W (W5W)
フロントフォグランプ		55W (H11)
制動灯／尾灯		21/5W (P21/5W)
後退灯		21W (P21W)
番号灯		5W (W5W)
方向指示灯	フロント	21W (WY21W)
	サイド	5W (W5W)
	リヤ	21W (PY21W)
ハイマウントストップランプ		16W (W16W)

● (　)内は電球（バルブ）の型式を示しています。

アドバイス
● 方向指示灯（サイド）の修理・バルブの交換は日産販売会社にご相談ください。

◆ 車内照明

J01406300103

ルームランプ[室内灯]	8W

13

バルブ（電球）の交換

J01401700740

ここではおもなバルブ（電球）の交換方法を記載しています。記載されていないバルブの交換については，日産販売会社にご相談ください。

1. 該当するランプのスイッチを OFF にして，エンジンスイッチをLOCKにします。
2. 該当するランプのワット数を確認します。
   →「バルブ（電球）のワット数」P. 13-33

⚠注意

- 消灯直後はバルブの表面が高温になっているため，やけどをするおそれがあります。
  バルブの表面が十分冷えてから交換してください。

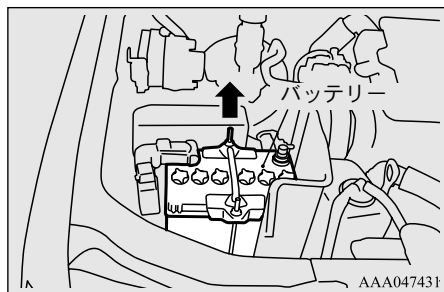
アドバイス

- バルブを交換するときは，同じワット(W)数，同じバルブ色のものを使用してください。
- 新しく交換するバルブの表面に触れないでください。
  油などが付着すると，点灯したときの熱で蒸発して，レンズ内側が曇ることがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。
- ランプ本体やレンズを外すときは，車体を傷つけないよう十分注意してください。
- バルブを交換した後は，ランプが正しく点灯するか確認してください。
- 雨の日や洗車後などに，レンズ内側が曇ることがあります。
  これは湿気が多い日などに窓ガラスが曇るのと同様の現象で，機能上の問題はありません。
  ランプを点灯すると熱で曇りはとれます。
  ただし，ランプ内に水がたまっているときは，日産販売会社で点検を受けてください。

◆ ヘッドライト

J01401901547

1. 運転席側のバルブを交換する場合は，作業スペースを確保するためバッテリーを取り外します。

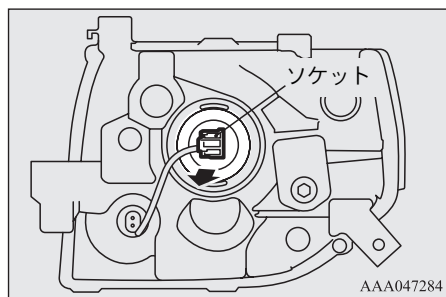
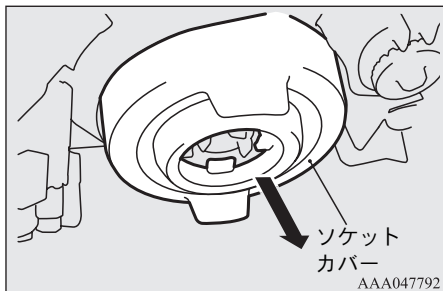
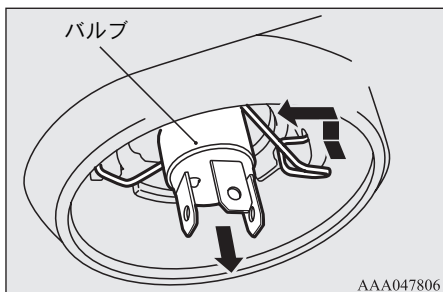
AAA047431

アドバイス

- バッテリーを取り外すときは，－端子から先に外してください。

2. ヘッドライトバルブのソケットを引き抜きます。

AAA047284

3. ソケットカバーを外します。

AAA047792

4. 留め金を外し，矢印方向に引き起こしてバルブを引き抜きます。

AAA047806

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

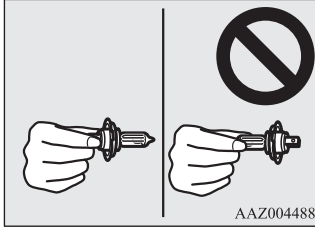
⚠警告

- バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
- バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。

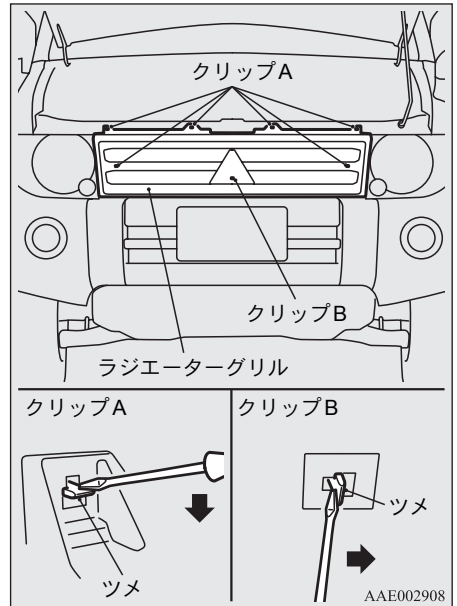
⚠注意

- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

アドバイス

- バッテリー取り外し後は，エンジンなど電子制御システムの学習内容が消去されるため，エンジン回転数が不安定になる場合があります。
  エンジン回転数が不安定になったときは，エンジンの初期調整操作を行ってください。
  →「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは!」P. 13-27
- バッテリー取り外し後は，お客さまが設定した記憶の内容が消去される場合があります。消去されたときは，それぞれの手順でもう一度設定しなおしてください。

◆ 車幅灯

J01402000711

1. 作業スペースを確保するため，ラジエーターグリルを取り外します。
   長めのマイナスドライバーなどを使い，クリップ A（6 箇所）はツメを下方向に，クリップBはツメを右方向に押しながら，ラジエーターグリルを手前に軽く引いてクリップを外します。

アドバイス

- クリップBを取り外すときは，懐中電灯などを使用すると，ツメの位置がわかりやすくなります。
- 車体側に残ったクリップ（7箇所）は左右どちらかに 90 度回転させて取り外します。

AAZ005498

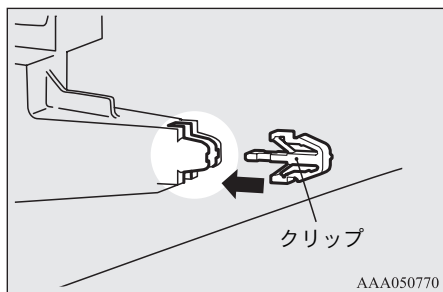
2. ソケットを反時計回りに回して外します。

AAA047675

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA039432

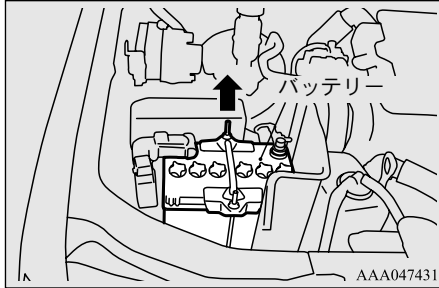
4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。
   ラジエーターグリルを取り付けるときは，はじめに車体側から外したクリップ（7 箇所）をラジエーターグリルに取り付けます。

AAA050770

その後，クリップ部分をパチンと音が鳴るまで押さえつけて，車体に確実に取り付けます。

◆ 方向指示灯（フロント）

J01402100640

1. 運転席側のバルブを交換する場合は，作業スペースを確保するためバッテリーを取り外します。

AAA047431

アドバイス

- バッテリーを取り外すときは，－端子から先に外してください。

2. ソケットを反時計回りに回して外します。

AAA047819

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

AAA039474

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠警告

- **バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。**
- **バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。**

アドバイス

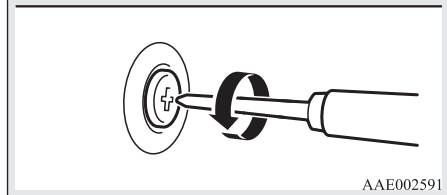
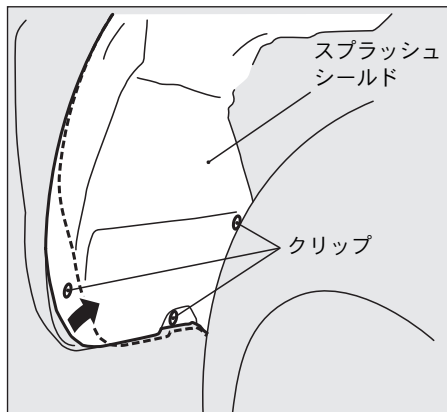
- バッテリー取り外し後は，エンジンなど電子制御システムの学習内容が消去されるため，エンジン回転数が不安定になる場合があります。
  エンジン回転数が不安定になったときは，エンジンの初期調整操作を行ってください。
  →「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは!」P. 13-27
- バッテリー取り外し後は，お客さまが設定した記憶の内容が消去される場合があります。消去されたときは，それぞれの手順でもう一度設定しなおしてください。

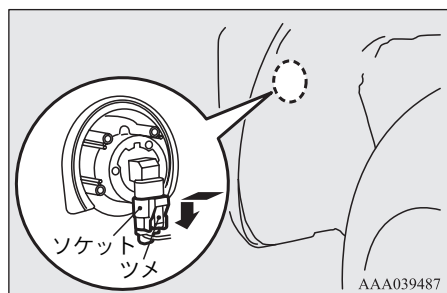
13

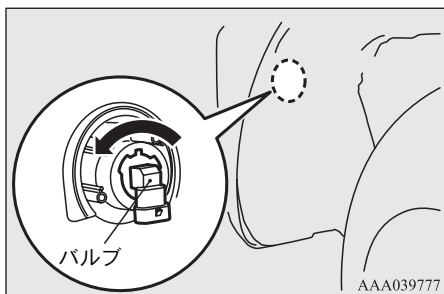
◆ フロントフォグランプ

J01403200752

1. クリップ（3箇所）を図の要領で外し，スプラッシュシールドをめくります。

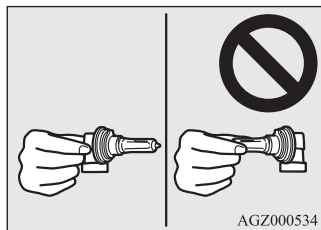
AAE002591

2. ツメを押しながらソケットを引き抜きます。

AAA039487

3. バルブを反時計回りに回して外します。

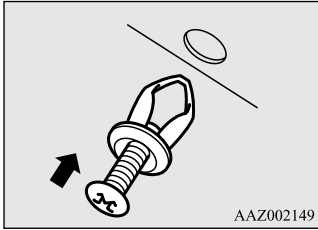
AAA039777

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

⚠注意

- ハロゲンバルブは，バルブ内の圧力が高いため，落としたり，物をぶつけたり，傷をつけると破損して飛び散るおそれがありますので十分注意してください。
- ハロゲンバルブの表面に触れないでください。
  点灯中はバルブの表面が高温になるため，油などが付着すると，点灯したときの熱で破損するおそれがあります。
  バルブの表面に触れたときは，柔らかい布に中性洗剤の 3% 水溶液を含ませて，油をふき取ってください。

AGZ000534

アドバイス

- クリップを取り付けるときは図の状態で穴に差し込み，押さえつけます。

AAZ002149

◆ 方向指示灯（サイド）

J01402200449

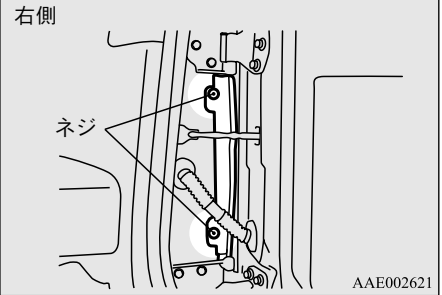
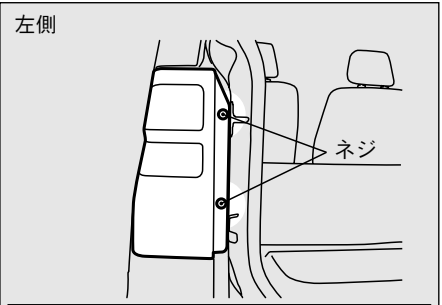
アドバイス

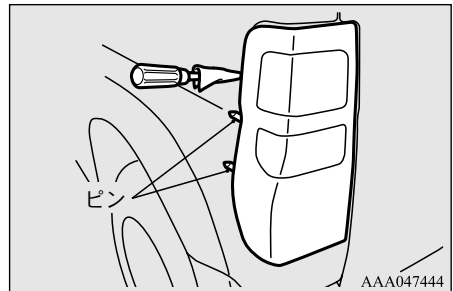
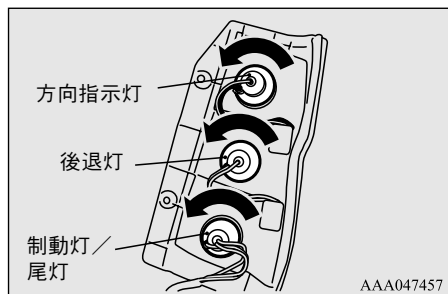
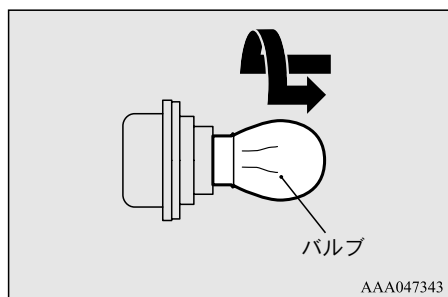
- 方向指示灯（サイド）の修理・バルブの交換は日産販売会社にご相談ください。

◆ リヤコンビネーションランプ

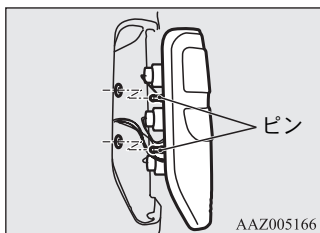
J01403000499

1. ネジ（2箇所）を外します。

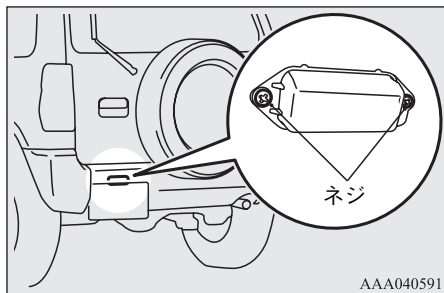
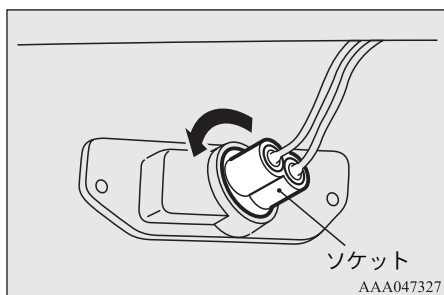
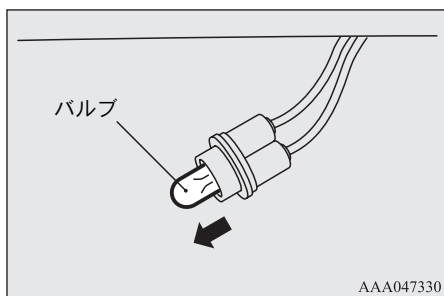
AAE002621

2. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをランプ本体と車体の隙間に差し込み，こじて外します。

AAA047444

3. ソケットを反時計回りに回して外します。

4. バルブを軽く押しながら反時計回りに回してソケットからバルブを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

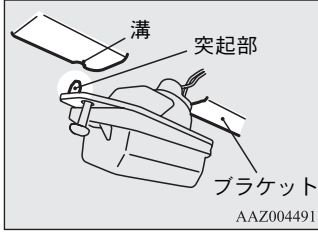
アドバイス

- ランプ本体を取り付ける際はランプ本体のピン（2 箇所）を車体側の穴に合わせ，取り付けます。

◆ 番号灯

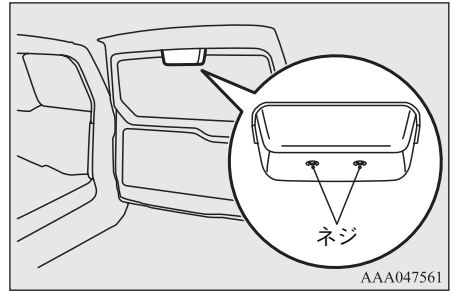
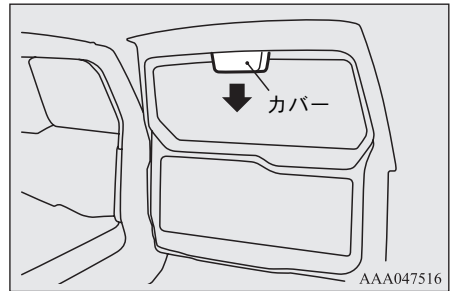
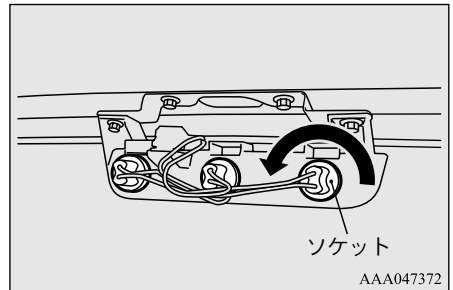
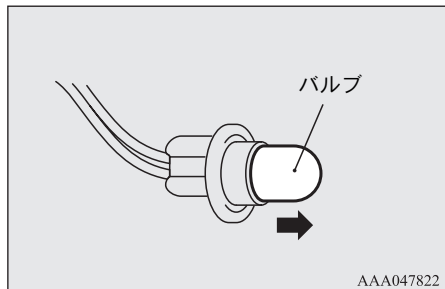
J01402600502

1. ネジ（2 箇所）を外し，ランプ本体を取り外します。

2. ソケットを反時計回りに回して外します。

3. ソケットからバルブを引き抜きます。

4. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

アドバイス

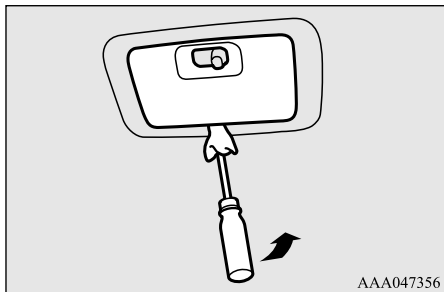
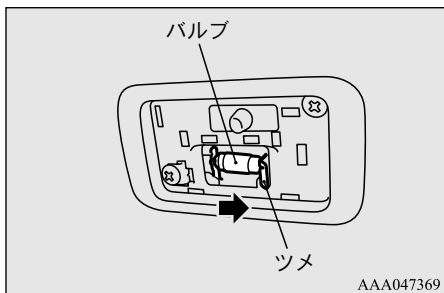
- ランプ本体を取り付けるときは，突起部を車両左側に向け，ブラケットの溝に合わせて取り付けてください。

◆ ハイマウントストップランプ

J01402700460

1. ネジ（2箇所）を外します。

2. カバーの両端を押しながら，下に引いて外します。

3. ソケットを反時計回りに回して外します。

4. ソケットからバルブを引き抜きます。

5. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

◆ ルームランプ

J01403500032

1. 先端に布をかぶせたマイナスドライバーなどをレンズの切り欠きに差し込んで，こじて外します。

2. ツメを押しながらバルブを取り外します。

3. 取り付けるときは，取り外したときと逆の手順で行います。

サービスデータ

14

メンテナンスデータ

J01600101371

- 日常点検，定期点検の内容およびエンジンオイルなど油脂類の交換時期については，別冊の「メンテナンスノート」に詳しく記載してありますのでお読みください。
- 車両寸法（全長，全幅，全高），車両重量，エンジン型式，排気量については車載の「自動車検査証」をご参照ください。

燃料の量と種類

J01600500062

容量	使用銘柄
約43L	無鉛レギュラーガソリン ● 燃料は指定されたものを補給してください。→P. 2-3

オイル類の量と種類

J01601200385

項目	容量	使用銘柄		
		日産純正銘柄	API分類	SAE粘度番号
エンジンオイル	約3.5L（オイルフィルター内約0.2Lを含む）	SJエクストラセーブ･X	SJ	10W—30
	● エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを使用してください。 外 気 温(℃) −30 −20 −10 0 10 20 30 40 SAE 0W−20 SAE 5W−30 SAE 10W−30 AAM001994			

⚠注意

● 0W—20および5W—30を使用しないでください。0W—20および5W—30は低粘度のオイルであるため潤滑不良がおき，エンジンが焼きつくおそれがあります。10W—30をご使用ください。

アドバイス

● 悪路や山道，登降坂路の走行，短距離走行の繰り返しなど厳しい条件（シビアコンディション）での走行は通常走行と比べてエンジンオイルの劣化が早くなります。このような使われ方をしたときは通常より早めに交換してください。

14

オイル類の量と種類

J01600600106

<table>
<tr><th colspan="2">項目</th><th>容量</th><th>使用銘柄</th></tr>
<tr><td colspan="2">マニュアルトランスミッションオイル</td><td>約1.3L</td><td>ダイヤクイーン
マルチギヤオイル　75W-85W (GL-4)</td></tr>
<tr><td colspan="2">オートマチックトランスミッションオイル</td><td>約4.5L</td><td>ダイヤクイーンATF　SPIII</td></tr>
<tr><td colspan="2">トランスファーオイル</td><td>約0.9L</td><td>ダイヤクイーン
マルチギヤオイル　75W-85W (GL-4)</td></tr>
<tr><td rowspan="3">ディファレンシャルオイル</td><td>フロント</td><td>約0.8L</td><td rowspan="2">ダイヤクイーン
スーパーハイポイドギヤオイル
SAE80 (GL-5)</td></tr>
<tr><td>フリーホイールクラッチ</td><td>約0.065L</td></tr>
<tr><td>リヤ</td><td>約1.14L</td><td>ダイヤクイーン
スーパーハイポイドギヤオイル
SAE90 (GL-5)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ブレーキ液</td><td>所要</td><td>純正ダイヤクイーン
ブレーキフルードスーパー4 (DOT4)</td></tr>
<tr><td colspan="2">パワーステアリングオイル</td><td>所要</td><td>ダイヤクイーンパワステフルード</td></tr>
</table>

冷却水の量と種類

J01600700107

項目	容量	使用銘柄
冷却水	約4.0L （リザーバータンク内 約0.55Lを含む）	純正ダイヤクイーン スーパーロングライフクーラント

ウオッシャー液の量と種類

J01600800108

項目	容量	使用銘柄
ウオッシャー液	約2.6L	日産ウインドウオッシャー液 ＊ 外気温に応じて濃度を調整してください

点火プラグの種類

J01600900398

使用銘柄	電極部のすきま
NGK：日本特殊陶業製：IKR7B DENSO：デンソー製：SXU22PR-A9	0.8~0.9mm

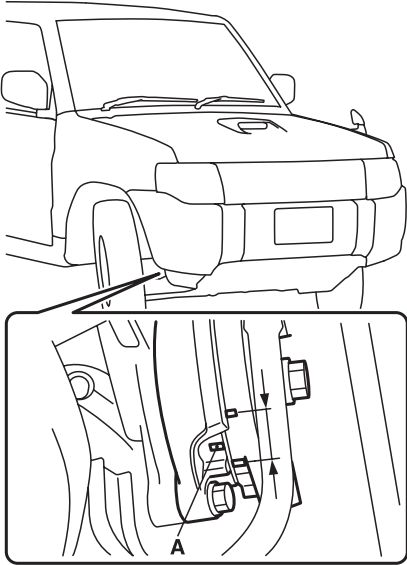
● 点火プラグの点検，交換は日産販売会社に依頼してください。

14

バッテリーの種類

J01601400404

形式
42B19L

⚠警告

- バッテリーの＋端子と－端子を間違えないように取り付けてください。
- バッテリーを取り付けるときは，＋端子から先に接続してください。－端子から先に接続した場合，万一，＋端子が他部品に接触すると火花が発生し，バッテリーが爆発するおそれがあります。

アドバイス

- バッテリー交換後は, エンジンやオートマチックトランスミッションなど電子制御システムの学習内容が消去されるため，エンジン回転数が不安定になったり，シフトショックが発生する場合があります。
  エンジン回転数が不安定になったときは，エンジンの初期調整操作を行ってください。
  →「バッテリー交換後にエンジン回転数が不安定になったときは!」P. 13-27
  シフトショックは，数回変速をくり返せばスムーズに変速するようになります。

整備基準値

J01601000110

項目	サービスデータ	
ブレーキペダル	遊び	3~8mm
	踏み込んだときの床板とのすきま（踏力 約500N{約50kgf}）	125mm以上
クラッチペダル	遊び	15~20mm
	切れたときの床板とのすきま	100mm以上
パーキングブレーキ	引きしろ（操作力 約200N{約20kgf}）	5~7ノッチ
ベルトのたわみ量	A AAM006348	インジケーター(A)が範囲内にあること

14

タイヤ，ホイールのサイズ

J01600201154

タイヤ，ホイールを交換するときは，つぎのことをお守りください。

- 4輪とも同時に交換してください。
- 指定サイズのタイヤ，ホイールを装着してください。

⚠注意

- 指定サイズ以外のタイヤを使用したり，種類の異なったタイヤを混ぜて使用することは，安全走行に悪影響をおよぼしますので，避けてください。
- 4WD車は4輪に駆動力がかかるため，必ず同一指定サイズ，同一種類，同一銘柄および摩耗差のないタイヤを使用してください。サイズ，種類，銘柄や摩耗度合の異なるタイヤを使用すると，駆動系部品に無理がかかり，オイル漏れや焼き付きなどの重大な故障となり，思わぬ事故につながるおそれがあります。
タイヤおよびホイールを交換する際は日産販売会社へご相談ください。
- ホイールは，リムサイズやオフセット（インセット）量が同じでも，車体に干渉するため使えないときがあります。お手持ちのものを使われるときは，日産販売会社にご相談ください。

タイヤサイズ	ロードホイールサイズ		
	リムサイズ	P.C.D*1	オフセット*2（インセット）
175/80R15 90Q	15 x 5 1/2JJ	114.3mm（5穴）	46mm

*1: P.C.D（ホイール取り付け穴のピッチ円直径）

*2: オフセット（インセット）（ホイールの取り付け面とリムの中心との距離）

冬用タイヤなどについても表中のサイズのものをご使用ください。

タイヤの空気圧

J01600300800

タイヤサイズ	空気圧 (kPa {kgf/cm²})
175/80R15 90Q	180 {1.8}

カスタマイズ（機能の設定変更）

J01600400755

つぎの機能をお好みの設定に変更することができます。

装備	調整機能	設定項目	出荷時の設定
リモートコントロールエントリーシステム	リモコンスイッチで施錠・解錠したときの非常点滅灯による作動確認 →P. 4-3	施錠時：1回点滅 解錠時：2回点滅	○
		施錠時：1回点滅 解錠時：点滅しない	
		施錠時：点滅しない 解錠時：2回点滅	
		点滅しない	
	リモコンスイッチでできるパワーウインドウの開閉操作 →P. 4-3	閉じるのみ	○
		開ける，閉じる	
		開閉しない	
カーアラーム*	システムの設定 →P. 4-9	警報作動する	
		警報作動しない	○
ヘッドランプ	ヘッドランプオートオフ機構（自動消灯） →P. 6-11	作動する	○
		作動しない	
	降車後照明として利用するときのライトスイッチの位置 →P. 6-11	≣Dのみ	○
		≡D0≡と≣D	
方向指示灯	方向指示灯の点灯に合わせて断続的に鳴るブザー音 →P. 6-14	標準	○
		音色を変更する	
ルームランプ	すべてのドアおよびバックドアを閉じたときに消灯するまでの時間（遅延消灯） →P. 8-4	約30秒	○
		時間を短くする	
		遅延消灯機能を働かなくする	

*： お客様自身でもカスタマイズ（機能の設定変更）可能です。
→「システム作動の設定変更のしかた」P. 4-11

A

O

S

T

ア

ウ

エ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

オ

カ

キ

ク

ケ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

コ

サ

シ

ス

セ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

タ

チ

テ

ト

ナ

ニ

ネ

ハ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ヒ

フ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ヘ

ホ

マ

ミ

メ

ユ

ヨ

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。

ラ

リ

ル

レ

ワ

15

M 別冊の『メンテナンスノート』をお読みください。
S 車載の『自動車検査証』をご参照ください。